

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<電気配線工事について>

**警告**

- 接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって、確実にこなしてください。
- 本製品には専用のトランス電源ユニットと電源ケーブルが必要です。AC100Vと直接接続しないでください。
- トランス電源ユニットの設置方法および取扱い方法は、別途トランス電源ユニット取扱説明書（UZ261）を参照してください。
- 家屋から通電金具までの配線は、別の100Vおよび200Vの配線と平行に配線しないでください。
- 平行に配線する場合は、500mm以上離してください。また、埋込配線の部分は、100Vまたは200V電源とは別配管にしてください。

<施工の前に>

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 本製品は、地上階設置用です。2階以上には設置しないでください。
- 本製品は躯体取付け専用のため、躯体から独立して設置しないでください。
- 屋根材へ接触する部品へシリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を現場で手配してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
東レ・ダウコーニング（株）	SE960

- 母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損するおそれがあります。
- 屋根材は、弊社指定品を使用してください。指定品以外を使用した場合、強風による屋根材の飛散や強度低下の原因になります。
- スプレー式シリコン系潤滑剤およびアルコール系シーリング材は、現場で手配してください。
- 寒冷地では凍結破損を防ぐため、壁面に排水路ヒーター等を取付けてください。
- 必要に応じて、「呼びφ40排水パイプ」、「コンクリートブロック（腰壁タイプの場合）」、「柱固定用カイモノ」は現場で手配してください。

<施工の前に つづき>

⚠ 注意

- 照明を取付ける場合は、必要に応じて、「防水コンセント」、「連結コネクタ」、「PF管」を現場で手配してください。
- 入隅の場合は、「φ4.5×65丸木ネジ」を現場で手配してください。

🔑 ポイント

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆりみがないか確認してください。

🔑 ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事についてのご注意>

⚠ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

🔑 ポイント

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

<電源ケーブル（12V）工事について>

⚠ 注意

- PF管は現場で別途手配してください。

INDEX

1	施工の前の重要確認事項	4
1	1. 本製品の施工について	4
2	梱包明細表	10
3	基本寸法と各部名称	22
1	1. 基本寸法	22
2	2. 各部名称	34
3	3. 断面納まり図	36
4	柱の位置出し	40
1	1. 柱の位置出し	40
5	本体の施工	41
1	1. 水盛遺方・水系張り	41
2	2. 基本仕様の配線工事 オプション	42
3	3. 腰壁仕様の配線工事 オプション	44
4	4. 垂木掛けの取付け	45
5	5. 連棟の場合の垂木掛けの取付け	47
6	6. 柱の加工	48
7	7. 桁組付金具の取付け	50
8	8. 基本仕様 柱の建込み	51
9	9. 腰壁仕様 柱の建込み ベースの取付け	58
10	10. 桁の組立て	68
11	11. 桁の取付け	69
12	12. 桁カバー枠の取付け	71
13	13. 妻垂木・垂木の取付け	72
14	14. 中骨の取付け	73
15	15. 屋根材の取付け	74
16	16. 垂木カバーの取付け	75
17	17. 垂木化粧材の取付け	78
18	18. 垂木フタの取付け	81
19	19. 垂木掛けキャップの取付け	82
20	20. 垂木掛けカバーの取付け	83
21	21. テラス用上枠の取付け	84
22	22. 柱フタの取付け	85
23	23. パネル下枠カバーの取付け	86
24	24. 腰壁笠木キャップの取付け	86
25	25. 腰壁笠木の取付け	87
26	26. 連棟の場合の腰壁笠木の取付け	87
27	27. 雨樋受け部品の取付け	88
28	28. 丸樋の取付け	89
29	29. コンクリートブロックの表面仕上げ	91
6	妻梁上部フィックスパネルの取付け	92
1	1. 垂木掛け-上部方立取付金具の取付け	92
2	2. 上部方立の取付け	92
3	3. オープンテラスタイプへの妻梁の取付け	93
4	4. 妻梁上部フィックスパネルの取付け	95

1 施工の前の重要確認事項

1. 本製品の施工について ※施工時には下記の事項を厳守してください。

1-1 柱、垂木掛けの取付け

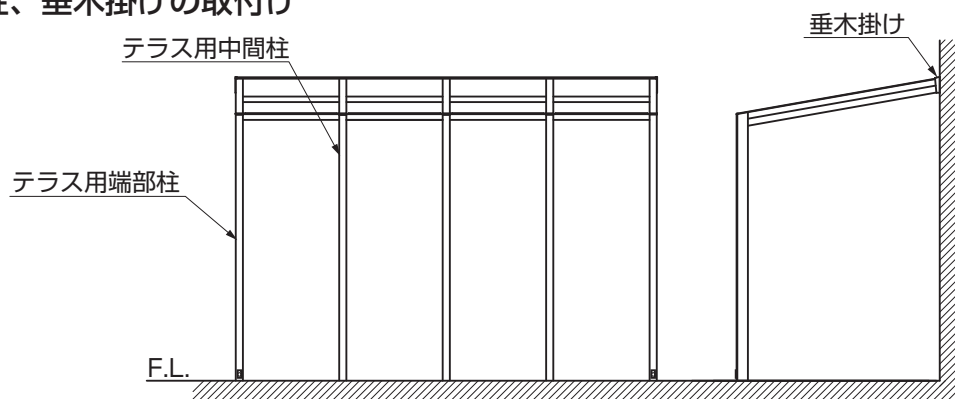


図1-1

ポイント

- 「3 基本寸法と各部名称 1. 基本寸法」を参照して柱、垂木掛け等の位置出しを行なってください。

1-2 ベースの取付け

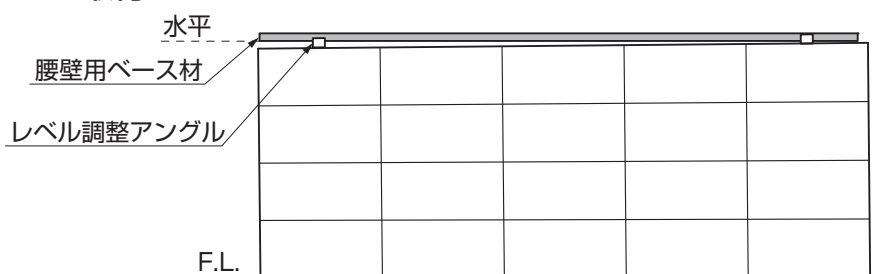


図1-2

ポイント

- 腰壁用ベース材は水平になるように取付けてください。
- 腰壁仕様の場合、F.L.仕上り面からの腰壁ベース材の高さを変更すると、垂木掛け等の部品全ての取付け寸法を修正する必要があります。

1-3 腰壁の施工

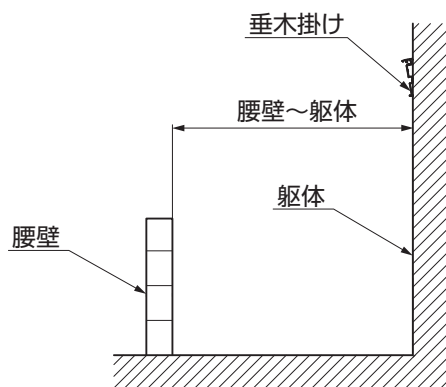


図1-3

ポイント

- 腰壁を施工する場合は、躯体（垂木掛け取付け面）との距離に注意して施工してください。
腰壁から躯体の距離が離れて施工している場合は10mm程度なら、腰壁用ベース材で位置調整が可能です。
腰壁から躯体の距離が近付いて施工された場合は、腰壁用ベース材での距離調整もできません。

1-4 シーリング処理

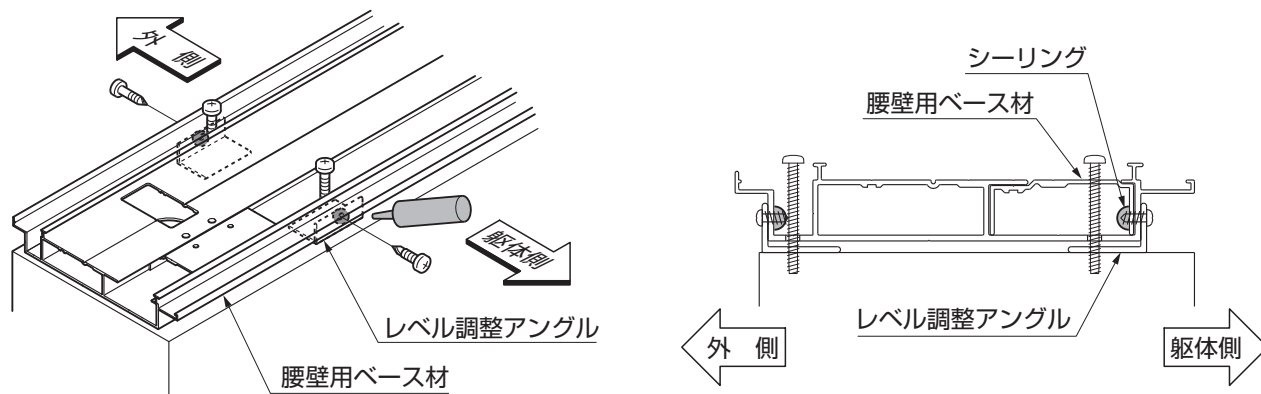


図1-4 腰壁用ベース材とレベル調整アングルの固定穴

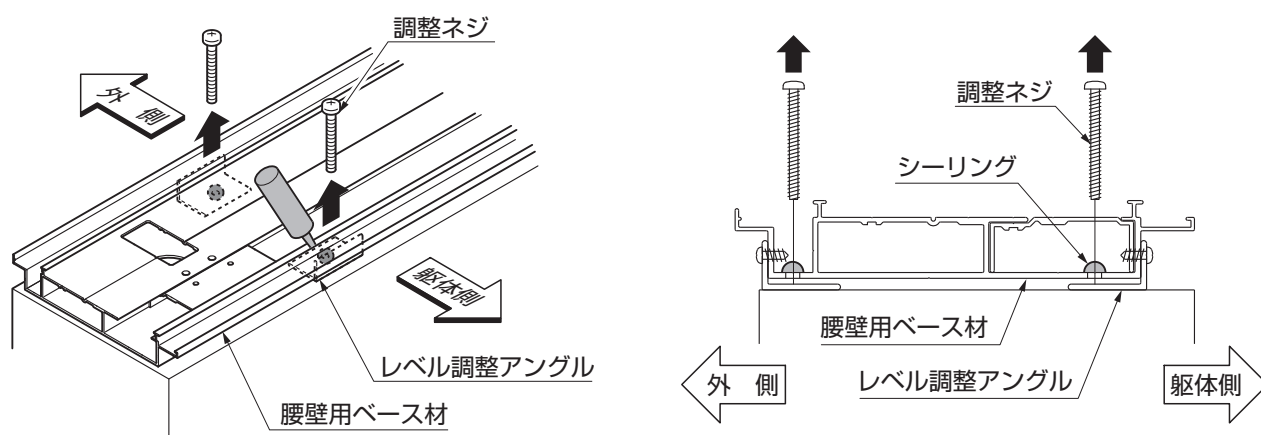


図1-5 調整ネジ取外し後のネジ穴

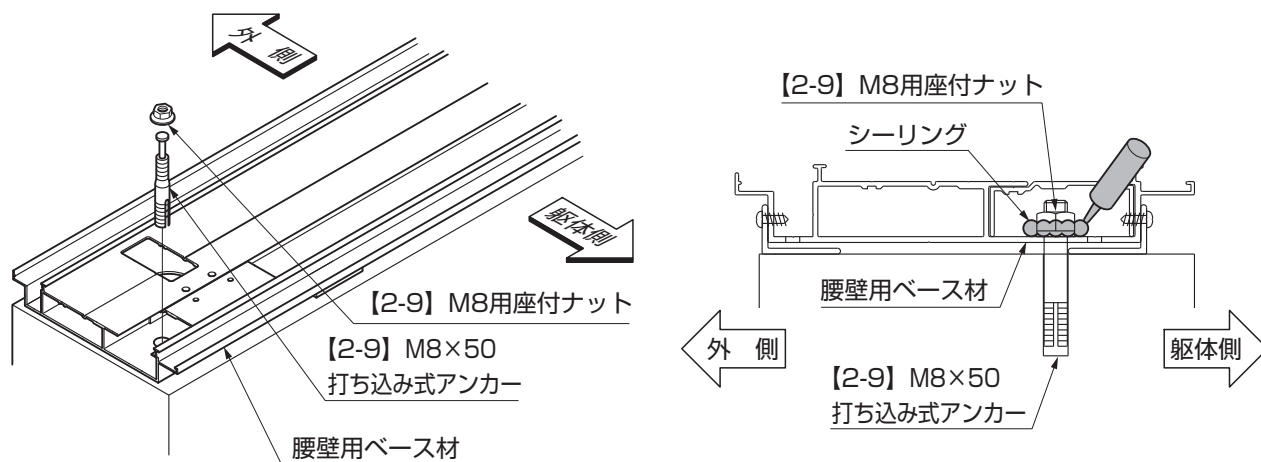


図1-6 打ち込み式アンカーのナット部

ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

1. (つづき)

1 施工の前の
重要確認事項

1-4 つづき

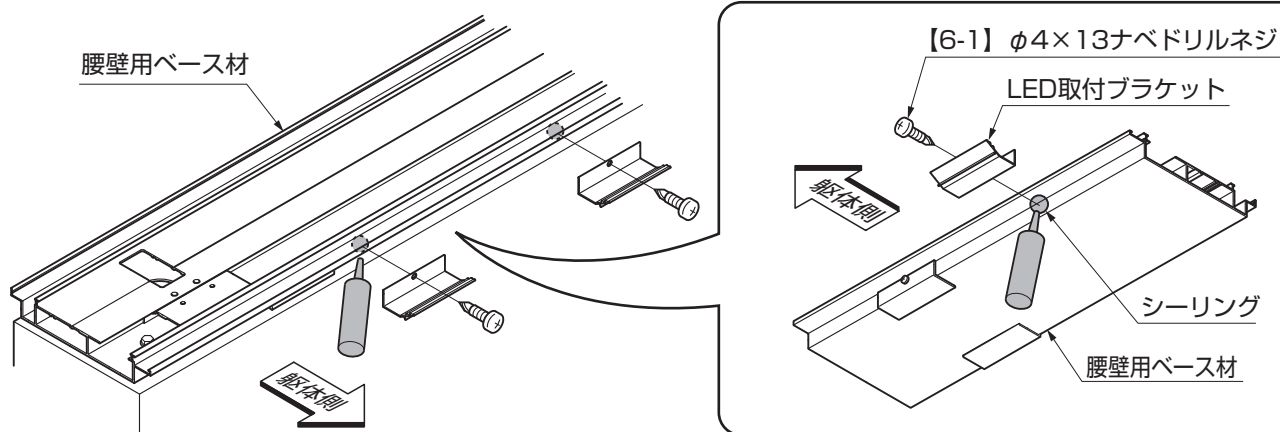


図1-7 LED取付けブラケット 取付け穴

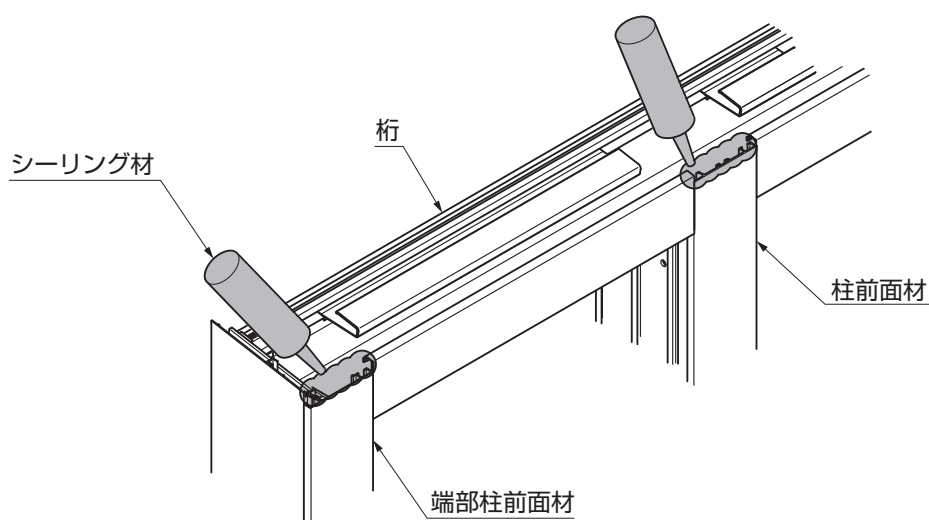


図1-8 柱前面材上部

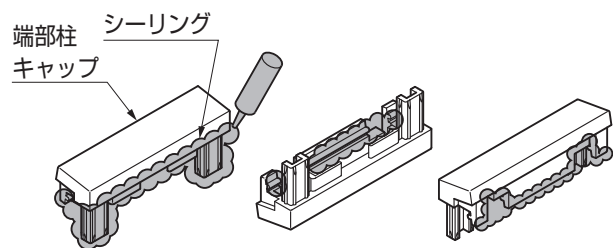


図1-9 端部柱キャップ

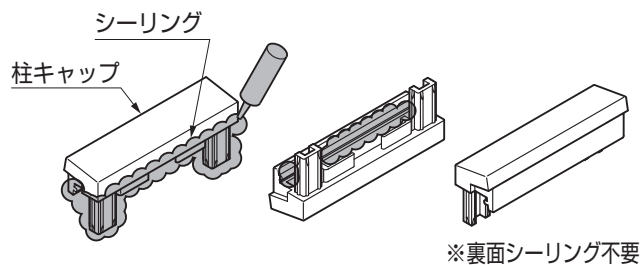


図1-10 柱キャップ

ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

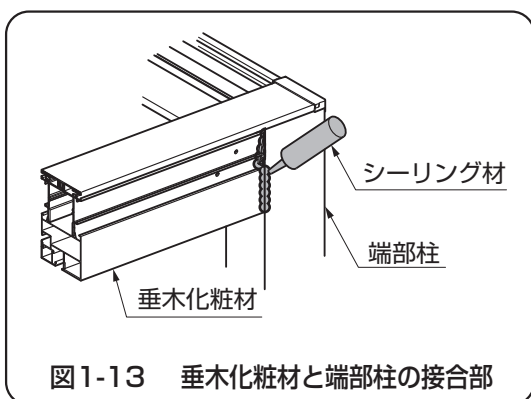
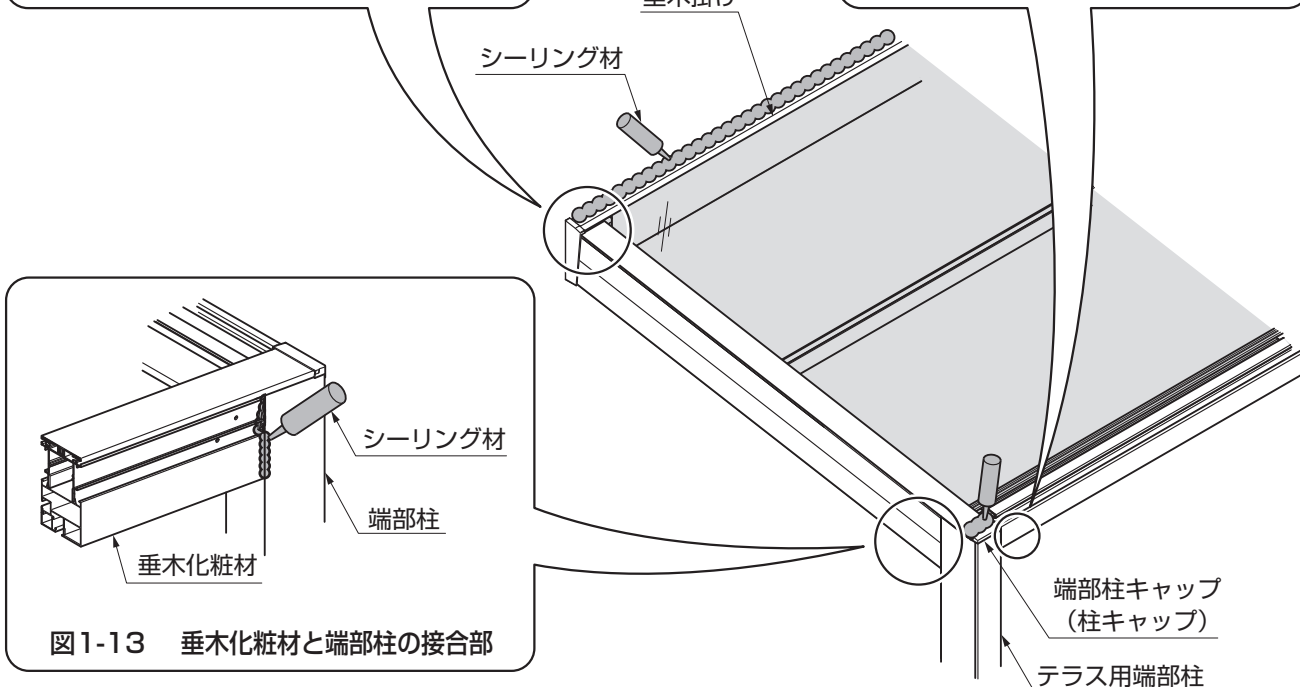
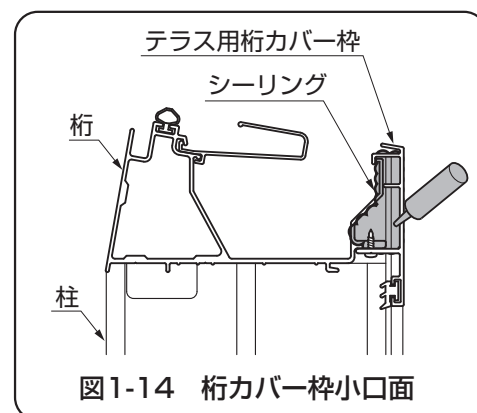
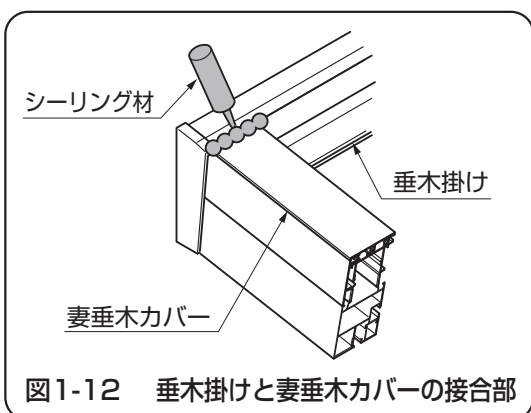


図1-11 シーリング箇所

表1-1 その他のシーリング箇所

ページ	タイトル	図番	シーリング箇所
P.55	8-2 柱を埋込まない場合の柱の建込み (4) LED照明を取付ける場合 オプション	図8-20	電源ケーブル配線穴
P.59	9-4 連棟用腰壁用ベース材の組立て	図9-6	腰壁用ベース材連棟部
P.62	9-7 腰壁用ベース材の調整 (2) LEDを取付ける場合の腰壁ベース材の調整	図9-15、図9-16	配線穴
P.64	9-10 LED取付ブラケットの取付け	図9-26	LED取付ブラケットの取付け穴
P.66	9-13 柱の建込み	図9-30、図9-32	樋の接合部
P.86	23. パネル下枠カバーの取付け	図23-1、図23-2	端部柱内側
P.86	24. 腰壁笠木キャップの取付け	図24-3、図24-4	腰壁端部カバープレート

ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

1. (つづき)

1-5 垂木カバーの取付け

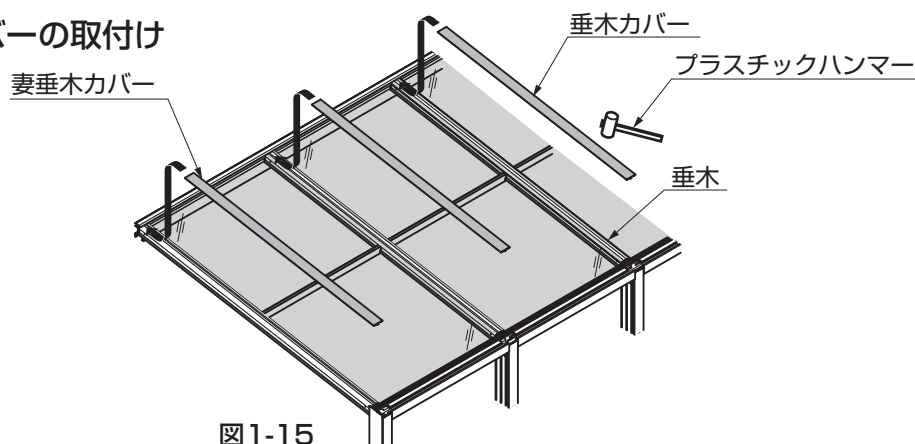


図1-15

ポイント

●垂木カバー、妻垂木カバーは部材が凹まないように注意しながら、プラスチックハンマー等で押込んでください。

1-6 テラス用上枠の取付け

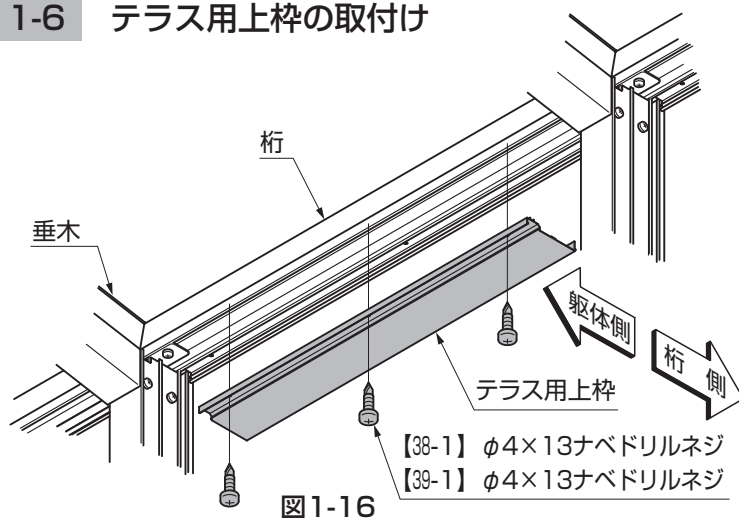


図1-16

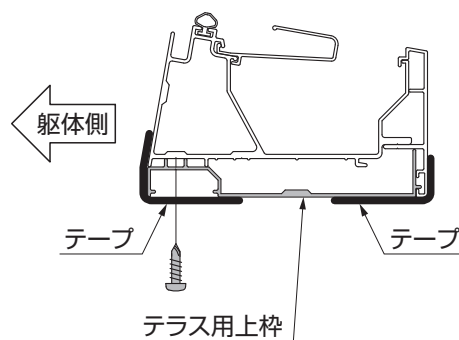


図1-17

ポイント

●テラス用上枠を取付ける際は、テープ等で仮止めして取付けてください。(図1-17参照)

1-7 腰壁笠木の取付け

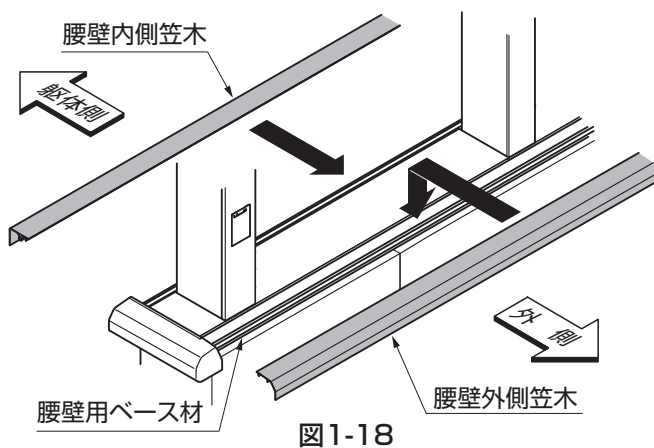


図1-18

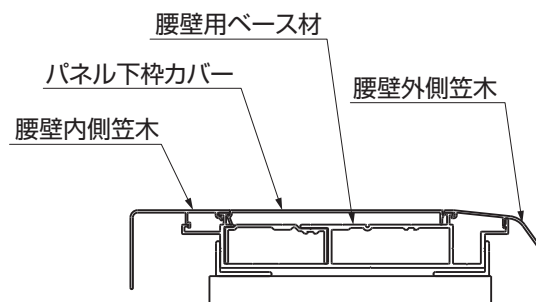


図1-19

ポイント

●腰壁戸当り枠スペーサーを使用する場合は、腰壁内側笠木は切断が必要です。

1-8 後付けビート材の取付け

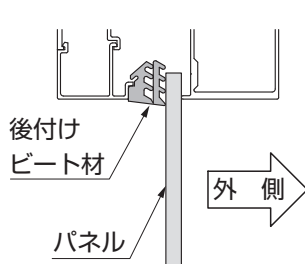


図1-20

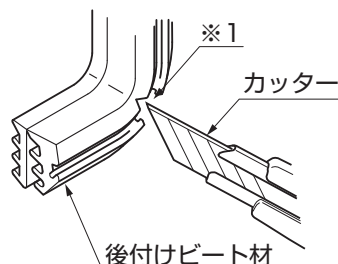


図1-21

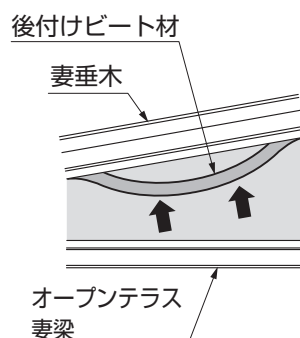


図1-22

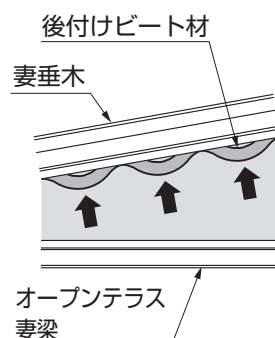


図1-23

ポイント

- 後付けビート材には取付ける向きがあります。(図1-20参照)
- 後付けビート材を折曲げる箇所(※1)にカッター等で切欠きを入れてください。(図1-21参照)
- 後付けビート材を取付ける際は、図1-22のように取付ける面の中心部分をたるませた状態で、両端部分および中間の1~2箇所を先に押込み、図1-23のようにたるみ部分の中心から広げるように押込んでいきます。
- 後付けビート材は、薄めた中性洗剤で濡らすとはめ込みやすくなります。

1-9 LEDユニットの取付け オプション

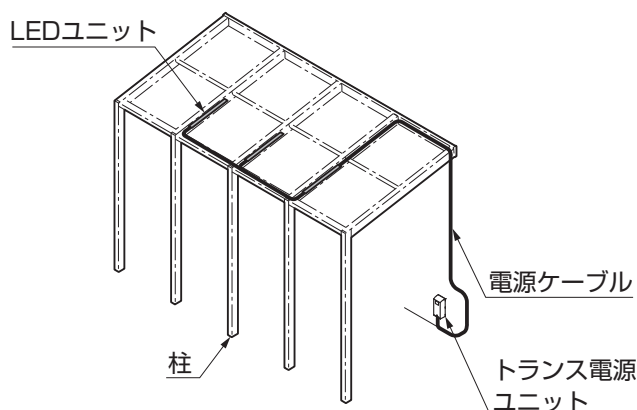


図1-24

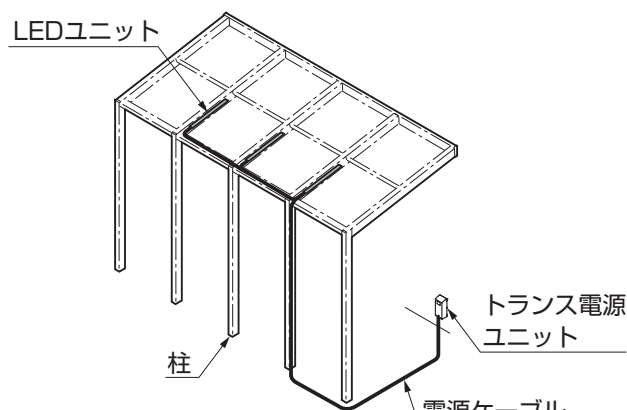


図1-25

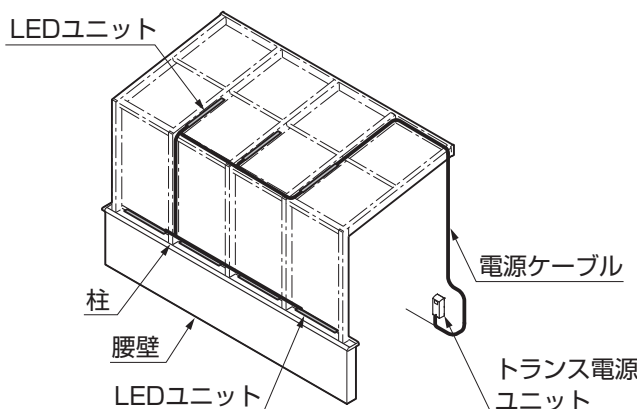


図1-26

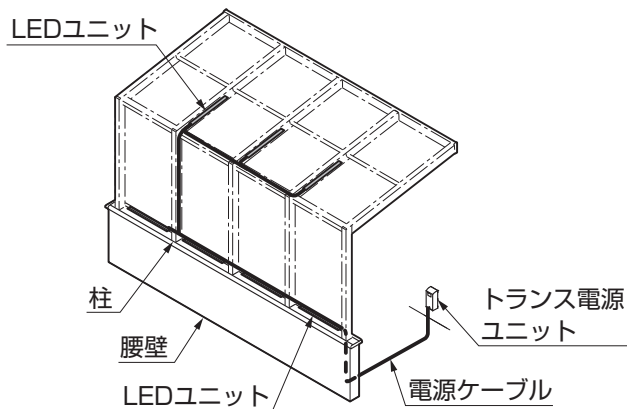


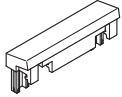
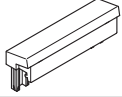
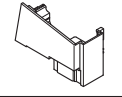
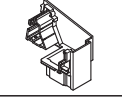
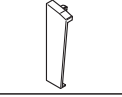
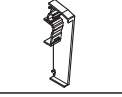
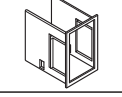
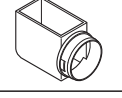
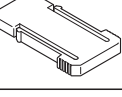
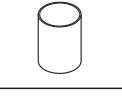
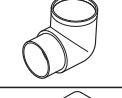
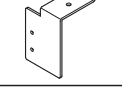
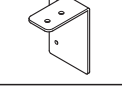
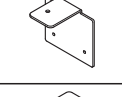
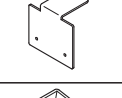
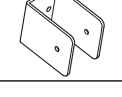
図1-27

ポイント

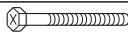
- LEDユニットの配線は、躯体側から上部へ周す場合の図1-24、図1-26と柱側、腰壁側から下部へ周す場合の図1-25、図1-27の方法があります。

2 梱包明細表

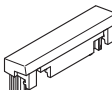
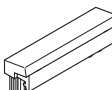
【1】 部品箱 オープンテラス用

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
端部柱キャップ		2	2	2	2	2
柱キャップ		1	2	3	4	5
桁キャップ L		1	1	1	1	1
桁キャップ R		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ L		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ R		1	1	1	1	1
雨樋受けエッジカバー		2	2	2	2	2
雨樋受け部品 B		2	2	2	2	2
雨樋受け部品 C		2	2	2	2	2
丸樋		1	1	1	1	1
92° エルボ		2	2	2	2	2
端部柱-桁組付金具 L		1	1	1	1	1
端部柱-桁組付金具 R		1	1	1	1	1
中間柱-桁組付金具 L		1	2	3	4	5
中間柱-桁組付金具 R		1	2	3	4	5
垂木金具		6	8	10	12	14

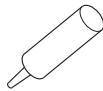
【1】 部品箱 オープンテラス用 (つづき)

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
ブチルコーキング		1	1	1	1	1
接着剤		1	1	1	1	1
アンカー棒		3	4	5	6	7
【1-1】 φ4×10トラスタッピンネジ3種 D=8		2	2	2	2	2
【1-2】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		38	52	69	83	97
【1-3】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		37	50	63	76	89
【1-4】 φ4×12トラスタッピンネジ2種 D=8 (PW+ゴムパッキン付き)		48	64	92	108	124
【1-5】 φ4×12サラタッピンネジ3種 D=6		2	2	2	2	2
【1-6】 φ6×70六角コーチスクリュー		6	8	10	12	14
【1-7】 M6平座金		6	8	10	12	14
取付説明書-オープンテラスタイプ、オープンテラス腰壁タイプ編-〈E233〉	—	1	1	1	1	1
取扱説明書-ココマ-〈UE061〉	—	1	1	1	1	1
取扱説明書-内部日除け-〈UE076〉	—	1	1	1	1	1
取付説明書-内部日除け-〈E269〉	—	1	1	1	1	1
取付説明書-ロールスクリーン-〈E302〉	—	1	1	1	1	1
取付説明書-デッキ編 (ウェスタン・レッドシダー、イペセレクト) -〈E220〉	—	1	1	1	1	1
取付説明書-デッキ編 (樹の木Ⅲ) -〈E221〉	—	1	1	1	1	1

【2】 部品箱 腰壁オープンテラス用

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
端部柱キャップ		2	2	2	2	2
柱キャップ		1	2	3	4	5
桁キャップ R		1	1	1	1	1
桁キャップ R		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ L		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ R		1	1	1	1	1
92° エルボ		2	2	2	2	2

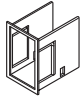
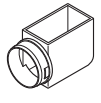
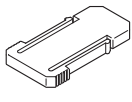
【2】 部品箱 腰壁オープンテラス用 (つづき)

名 称	略 図					
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
端部柱-桁組付金具 L		1	1	1	1	1
端部柱-桁組付金具 R		1	1	1	1	1
中間柱-桁組付金具 L		1	2	3	4	5
中間柱-桁組付金具 R		1	2	3	4	5
垂木金具		6	8	10	12	14
中間柱スリーブ		1	2	3	4	5
端部柱スリーブ		2	2	2	2	2
ブチルコーキング		1	1	1	1	1
接着剤		1	1	1	1	1
でんでん		2	2	2	2	2
でんでん用スペーサー		2	2	2	2	2
【2-1】 φ4×75ナベタッピンネジ1種 D=7		6	8	10	12	14
【2-2】 φ4×10トラスタッピンネジ3種 D=8		6	6	6	6	6
【2-3】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		38	52	69	83	97
【2-4】 φ4×40ナベタッピンネジ3種		6	6	6	6	6
【2-5】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		53	74	95	116	137
【2-6】 φ4×12トラスタッピンネジ2種 D=8 (PW+ゴムパッキン付き)		48	64	92	108	124
【2-7】 φ6×70六角コーチスクリュー		6	8	10	12	14
【2-8】 M6平座金		6	8	10	12	14
【2-9】 M8×50打ち込み式アンカー+M8用座付ナット		4	6	8	10	12
【2-10】 φ4.1×45丸木ネジ		2	2	2	2	2
【2-11】 S6フィッシャープラグ		2	2	2	2	2
【2-12】 φ4×25ナベドリルネジ		4	4	4	4	4

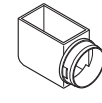
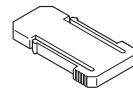
【2】 部品箱 腰壁オープンテラス用 (つづき)

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
取付説明書-オープンテラスタイプ、オープンテラス腰壁タイプ編-〈E233〉	—	1	1	1	1	1
取扱説明書-ココマ-〈UE061〉	—	1	1	1	1	1
取扱説明書-内部日除け-〈UE076〉	—	1	1	1	1	1
取付説明書-内部日除け-〈E269〉	—	1	1	1	1	1
取付説明書-ロールスクリーン-〈E302〉	—	1	1	1	1	1

【3】 端部柱Fセット (腰壁オープンテラス用) 右

名 称	略 図	員数
腰壁テラス用端部柱		1
腰壁用端部柱前面材		1
腰壁用柱端部フタ 右		1
雨樋受けエッジカバー		1
雨樋受け部品 B		1
雨樋受け部品 C		1

【4】 端部柱Fセット (腰壁オープンテラス用) 左

名 称	略 図	員数
腰壁テラス用端部柱		1
腰壁用端部柱前面材		1
腰壁用柱端部フタ 左		1
雨樋受けエッジカバー		1
雨樋受け部品 B		1
雨樋受け部品 C		1

【5】 端部柱セット (オープンテラス用)

名 称	略 図	員数
テラス用端部柱		2
端部柱前面材		2

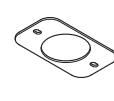
【5】 端部柱セット (オープンテラス用) (つづき)

名 称	略 図	員数
柱端部フタ L		1
柱端部フタ R		1

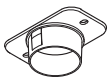
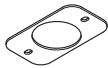
【6】 端部柱Sセット (腰壁オープンテラス用) 左

名 称	略 図	員数
腰壁側面排水テラス用端部柱		1
腰壁用端部柱前面材 (側面排水用)		1
腰壁用柱端部フタ 左		1

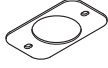
【6】 端部柱Sセット (腰壁オープンテラス用) 左 (つづき)

名 称	略 図	員数
ドレンエルボ (φ40)		1
ドレンエルボキャップ (φ40)		1
ドレンエルボパッキン (φ40)		1

【6】 端部柱Sセット（腰壁オープンテラス用） 左（つづき）

名 称	略 図	員数
雨樋アタッチメント		1
雨樋パッキン		1
【6-1】 φ4×12 トラスタッピンネジ3種 D=8		2

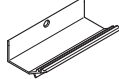
【7】 端部柱Sセット（腰壁オープンテラス用） 右

名 称	略 図	員数
腰壁側面排水テラス用端部柱		1
腰壁用端部柱前面材（側面排水用）		1
腰壁用柱端部フタ 右		1
ドレンエルボ（φ40）		1
ドレンエルボキャップ（φ40）		1
ドレンエルボパッキン（φ40）		1
雨樋アタッチメント		1
雨樋パッキン		1
【7-1】 φ4×12 トラスタッピンネジ3種 D=8		2

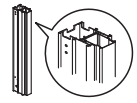
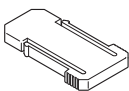
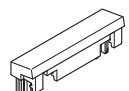
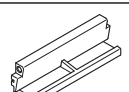
【9】 中間柱セット（オープンテラス用）

名 称	略 図	員数
テラス用中間柱		1

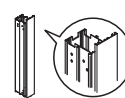
【11】 腰壁用LED取付ブラケット

名 称	略 図	員数
LED取付ブラケット		2
【11-1】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		2

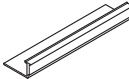
【8】 連棟柱セット（オープンテラス用）

名 称	略 図	員数
テラス用連棟柱		1
端部柱前面材		1
雨樋受けエッジカバー		1
雨樋受け部品B		1
雨樋受け部品 C		1
端部柱-桁組付金具 L		1
端部柱-桁組付金具 R		1
端部柱キャップ		1
連棟用桁キャップ		1
アンカー棒		1
連棟垂木掛け部品		1
【8-1】 φ4×12 トラスタッピンネジ3種 D=8		12

【10】 中間柱セット（腰壁オープンテラス用）

名 称	略 図	員数
腰壁テラス用中間柱		1

【12】 妻垂木化粧材溝カバー

名 称	略 図	員数
妻垂木化粧材溝カバー		1
【12-1】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		4

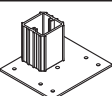
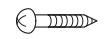
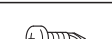
【13】 端部柱固定ベースセット

名 称	略 図	員数
端部柱固定ベース		1
【13-1】 φ4.5×63丸木ネジ		6
【13-2】 φ5×35 セルフタップアンカー		6
【13-3】 φ4×13 ナベドリルネジ D=8.2		2

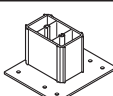
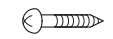
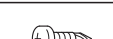
【14】 中間柱固定ベースセット

名 称	略 図	員数
中間柱固定ベース		1
【14-1】 φ4.5×63丸木ネジ		6
【14-2】 φ5×35 セルフタップアンカー		6
【14-3】 φ4×13 ナベドリルネジ D=8.2		4

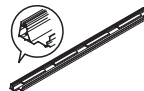
【15】 端部柱外固定ベースセット

名 称	略 図	員数
端部柱外固定ベース		1
【15-1】 φ4.5×63丸木ネジ		6
【15-2】 φ5×35 セルフタップアンカー		6
【15-3】 φ4×13 ナベドリルネジ D=8.2		2

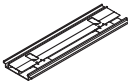
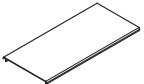
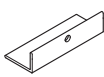
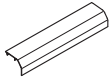
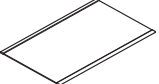
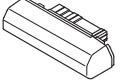
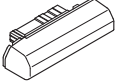
【16】 中間柱外固定ベースセット

名 称	略 図	員数
中間柱外固定ベース		1
【16-1】 φ4.5×63丸木ネジ		6
【16-2】 φ5×35 セルフタップアンカー		6
【16-3】 φ4×13 ナベドリルネジ D=8.2		2

【17】 桁・垂木掛けセット

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
桁		1	1	1	1	1
垂木掛け		1	1	1	1	1
垂木掛け後付けビート		2	3	4	5	6

【18】 腰壁用笠木セット

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
腰壁用ベース材		1	1	1	1	1
パネル下枠カバー		2	2	2	2	2
レベル調整アングル		8	12	16	20	24
腰壁外側笠木		1	1	1	1	1
腰壁端部カバープレート		2	2	2	2	2
腰壁ベース材隙間塞ぎ A		1	1	1	1	1
腰壁ベース材隙間塞ぎ B		1	1	1	1	1
腰壁ベース材隙間塞ぎ C		1	1	1	1	1
腰壁内側笠木		1	1	1	1	1
丸樋		1	1	1	1	1
腰壁笠木キャップL		1	1	1	1	1
腰壁笠木キャップR		1	1	1	1	1

【19】 中間柱セット (腰壁用) 3本入

名 称	略 図	員数
腰壁用中間柱		3

【20】 中間柱セット (腰壁用) 1本入

名 称	略 図	員数
腰壁用中間柱		1

【21】連棟柱セット（腰壁オープンテラス用）

名 称	略 図	員数
腰壁テラス用連棟柱		1
腰壁用端部柱前面材		1
端部柱スリーブ		1
92° エルボ		1
でんでん		1
でんでん用スペーサー		1
雨樋受けエッジカバー		1
雨樋受け部品 B		1

【21】連棟柱セット（腰壁オープンテラス用）（つづき）

名 称	略 図	員数
雨樋受け部品 C		1
笠木連結材		2
端部柱-桁組付金具 L		1
端部柱-桁組付金具 R		1
端部柱キャップ		1
連棟用桁キャップ		1
連棟垂木掛け部品		1
【21-1】φ4.1×45丸木ネジ		1
【21-2】S6フィッシャープラグ		1
【21-3】φ4×75ナベタッピンネジ1種 D=7		2
【21-4】φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		8
【21-5】φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		2

【22】垂木掛けカバーセット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
垂木掛けカバー		2	3

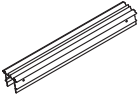
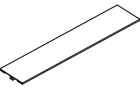
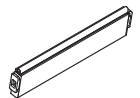
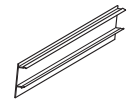
【23】垂木セット 1本入

名 称	略 図	員 数		
		4尺	6尺	8尺
垂木		1	1	1
垂木カバー		1	1	1

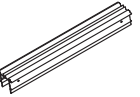
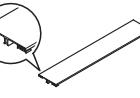
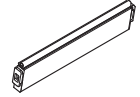
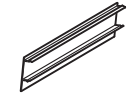
【23】垂木セット 1本入（つづき）

名 称	略 図	員 数		
		4尺	6尺	8尺
中骨		1	1	2
垂木フタ		4	4	6

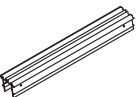
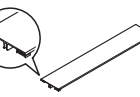
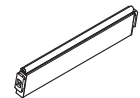
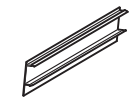
【24】垂木セット 3本入

名 称	略 図	員数		
		4尺	6尺	8尺
垂木		3	3	3
垂木カバー		3	3	3
中骨		3	3	6
垂木フタ		12	12	18

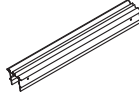
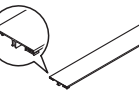
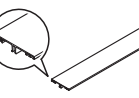
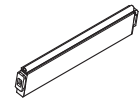
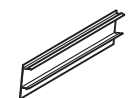
【26】積雪用垂木セット 1本入

名 称	略 図	員数		
		4尺	6尺	8尺
垂木		1	1	1
垂木カバー		1	1	1
中骨		2	2	4
垂木フタ		6	6	10
【26-1】φ4×13 ナベドリルネジ D=8.2		5	7	9

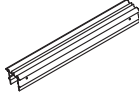
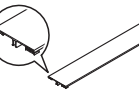
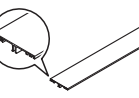
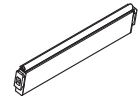
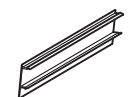
【28】積雪用垂木セット 3本入

名 称	略 図	員数		
		4尺	6尺	8尺
垂木		3	3	3
垂木カバー		3	3	3
中骨		6	6	12
垂木フタ		18	18	30
【28-1】φ4×13 ナベドリルネジ		15	21	27

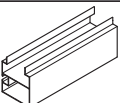
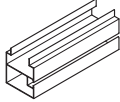
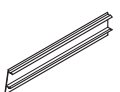
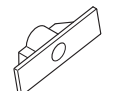
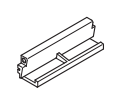
【25】妻垂木セット (2本入)

名 称	略 図	員数		
		4尺	6尺	8尺
妻垂木		2	2	2
妻垂木カバー L		1	1	1
妻垂木カバー R		1	1	1
中骨		1	1	2
垂木フタ		4	4	6
雪下ろし指示シール (600タイプ)		1	1	1

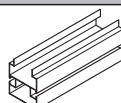
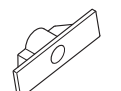
【27】積雪用妻垂木セット 2本入

名 称	略 図	員数		
		4尺	6尺	8尺
妻垂木		2	2	2
妻垂木カバー L		1	1	1
妻垂木カバー R		1	1	1
中骨		2	2	4
垂木フタ		6	6	10
雪下ろし指示シール (1500タイプ)		1	1	1
【27-1】φ4×13 ナベドリルネジ D=8.2		5	7	9

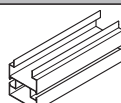
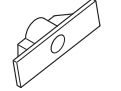
【29】妻垂木化粧材セット 2本入

名 称	略 図	員数
サイドスルータイプ 妻垂木化粧材 右		1
サイドスルータイプ 妻垂木化粧材 左		1
妻垂木フタ R		1
妻垂木フタ L		1
内部日除けレールエンドピース		1
連棟用垂木掛け部品		2

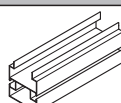
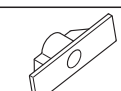
【30】垂木化粧材セット 1本入

名 称	略 図	員数
垂木化粧材		1
内部日除けレールエンドピース		2

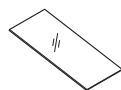
【31】垂木化粧材セット 3本入

名 称	略 図	員数
垂木化粧材		3
内部日除けレールエンドピース		6

【32】垂木化粧材セット (照明付)

名 称	略 図	員数
垂木化粧材照明付		1
渡り配線ケーブル		1
内部日除けレールエンドピース		2

【33】屋根材セット

名 称	略 図	員 数	
		2枚入	3枚入
屋根材		2	3

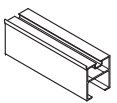
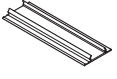
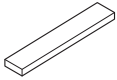
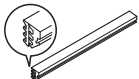
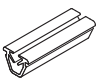
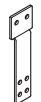
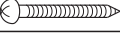
【34】妻梁上部フィックスパネルセット 右

名 称	略 図	員数
妻梁上部フィックスパネル		1

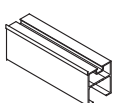
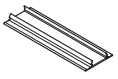
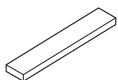
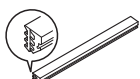
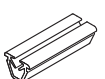
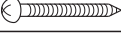
【35】妻梁上部フィックスパネルセット 左

名 称	略 図	員数
妻梁上部フィックスパネル		1

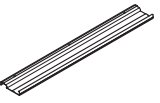
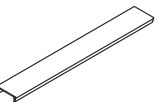
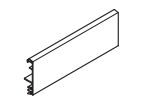
【36】 妻梁セット (オープンテラス用) 右

名 称	略 図	員数
オープンテラス妻梁		1
オープンテラス妻梁フタ		1
上部方立		1
上部方立押え縁		1
前面上部フィックス枠 R		1
前面上部フィックス枠 押え縁 R		1
パッキン		1
後付けビート材 (妻梁上部FIX用)		1
妻梁取付金具		2
妻梁用グレチャン		1
垂木掛け-上部方立取付金具		1
【36-1】 $\phi 4 \times 12$ トラスタッピンネジ3種 D=8		4
【36-2】 $\phi 4 \times 16$ ナベドリルネジ D=8.2		4
【36-3】 $\phi 4.5 \times 63$ 丸木ネジ		6

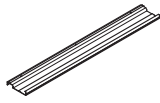
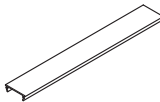
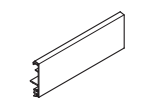
【37】 妻梁セット (オープンテラス用) 左

名 称	略 図	員数
オープンテラス妻梁		1
オープンテラス妻梁フタ		1
上部方立		1
上部方立押え縁		1
前面上部フィックス枠 L		1
前面上部フィックス枠 押え縁 L		1
パッキン		1
後付けビート材 (妻梁上部FIX用)		1
妻梁取付金具		2
妻梁用グレチャン		1
垂木掛け-上部方立取付金具		1
【37-1】 $\phi 4 \times 12$ トラスタッピンネジ3種 D=8		4
【37-2】 $\phi 4 \times 16$ ナベドリルネジ D=8.2		4
【37-3】 $\phi 4.5 \times 63$ 丸木ネジ		6

【38】 前面テラス横枠セット

名 称	略 図	員数
テラス用上枠		1
パネル枠フタ (上枠用)		1
桁カバー枠		1
【38-1】 φ4×13 ナベドリルネジ D=8.2		8

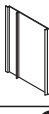
【39】 前面テラス横枠セット (腰壁用)

名 称	略 図	員数
テラス用上枠		1
パネル下枠カバー		1
パネル枠フタ (上枠用)		1
桁カバー枠		1
【39-1】 φ4×13 ナベドリルネジ D=8.2		6

【40】 前面テラス縦枠セット

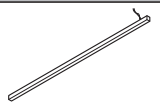
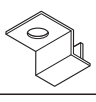
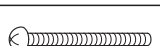
名 称	略 図	員数
テラス用柱フタ 右		1
テラス用柱フタ 左		1

【41】 前面テラス縦枠セット (腰壁用)

名 称	略 図	員数
腰壁用テラス柱フタ 右		1
腰壁用テラス柱フタ 左		1

【42】 LED照明ユニット

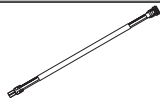
オプション

名 称	略 図	員数
LED照明ユニット本体		1
取付け金具		2
【42-1】 φ4×13 ナベドリルネジ		2
【42-2】 φ4×50トラス タッピンネジ1種		2
【42-3】 φ4×50トラス タッピンネジ1種		2
取付説明書〈Z217〉※1	—	1
取扱説明書〈UC015〉	—	1

※1の取付説明書は使用しません。

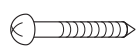
【43】 電源ケーブル

オプション

名 称	略 図	員数
電源ケーブル 20m		1

【44】 トランス電源ユニット25W (屋外用)

オプション

名 称	略 図	員数
トランス電源ユニット25W (屋外用) 本体		1
【44-1】 φ4.1×38 十字穴付きフランジ付き丸木ネジ		2 (※)
【44-2】 カールPCプラグ7.5×35		2 (※)
取付説明書〈Z453〉	—	1
取扱説明書〈UZ261〉	—	1

※ トランス電源ユニットのカバー内に同梱しています。

3 基本寸法と各部名称

1. 基本寸法

1-1 基本仕様

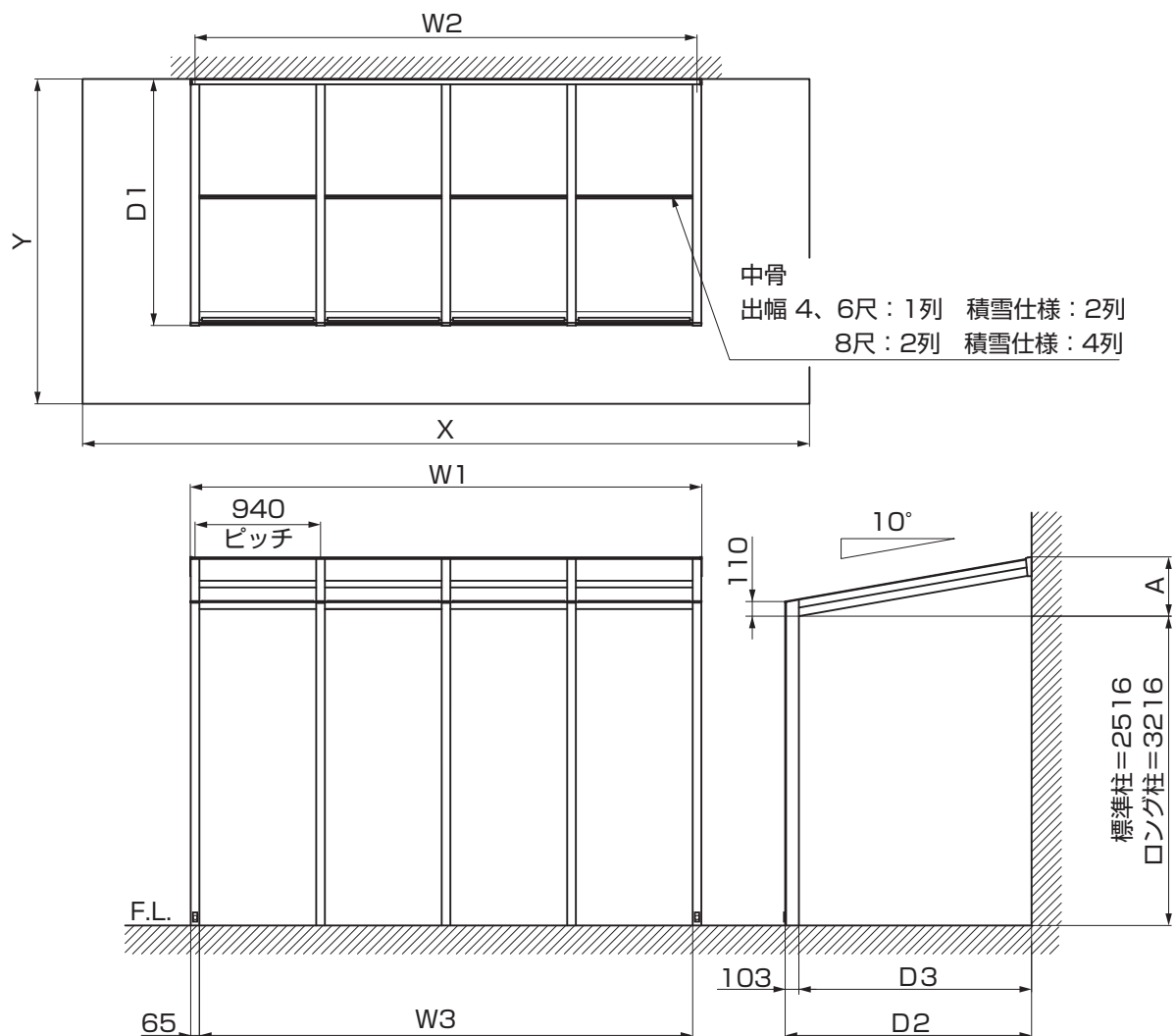


図1-1

表1-1 間口寸法

間口	W1	W2	W3	正面部 柱間隔数	屋根材 枚数	X 対応デッキ間口		
	垂木掛け外寸	端部柱芯々	端部柱内寸			ウェスタン・レッドシダー	イベセレクト	樹の木Ⅲ
1.0間	1952	1880	1815	2		3733	3711	3620
1.5間	2892	2820	2755	3		4579	4557	4520
2.0間	3832	3760	3695	4		5425	5403	5420
2.5間	4772	4700	4635	5		6412	6390	6320
3.0間	5712	5640	5575	6		7258	7236	7220

表1-2 出幅寸法

出幅	D1	D2	D3	A	Y 対応デッキ出幅		
	躯体～前枠外寸	躯体～柱外寸	躯体～柱内寸		ウェスタン・レッドシダー	イベセレクト	樹の木Ⅲ
4尺	1246		1143	337	1836	1825	1812.5
6尺	1846		1743	444	2436	2425	2412.5
8尺	2446		2343	548	2936	2925	2912.5

※樹の木Ⅲ対応デッキ寸法は、幕板Bを使用してください。幕板A使用時は、上記値の間口+40mm／出幅+20mmです。

1-2 基本連棟仕様

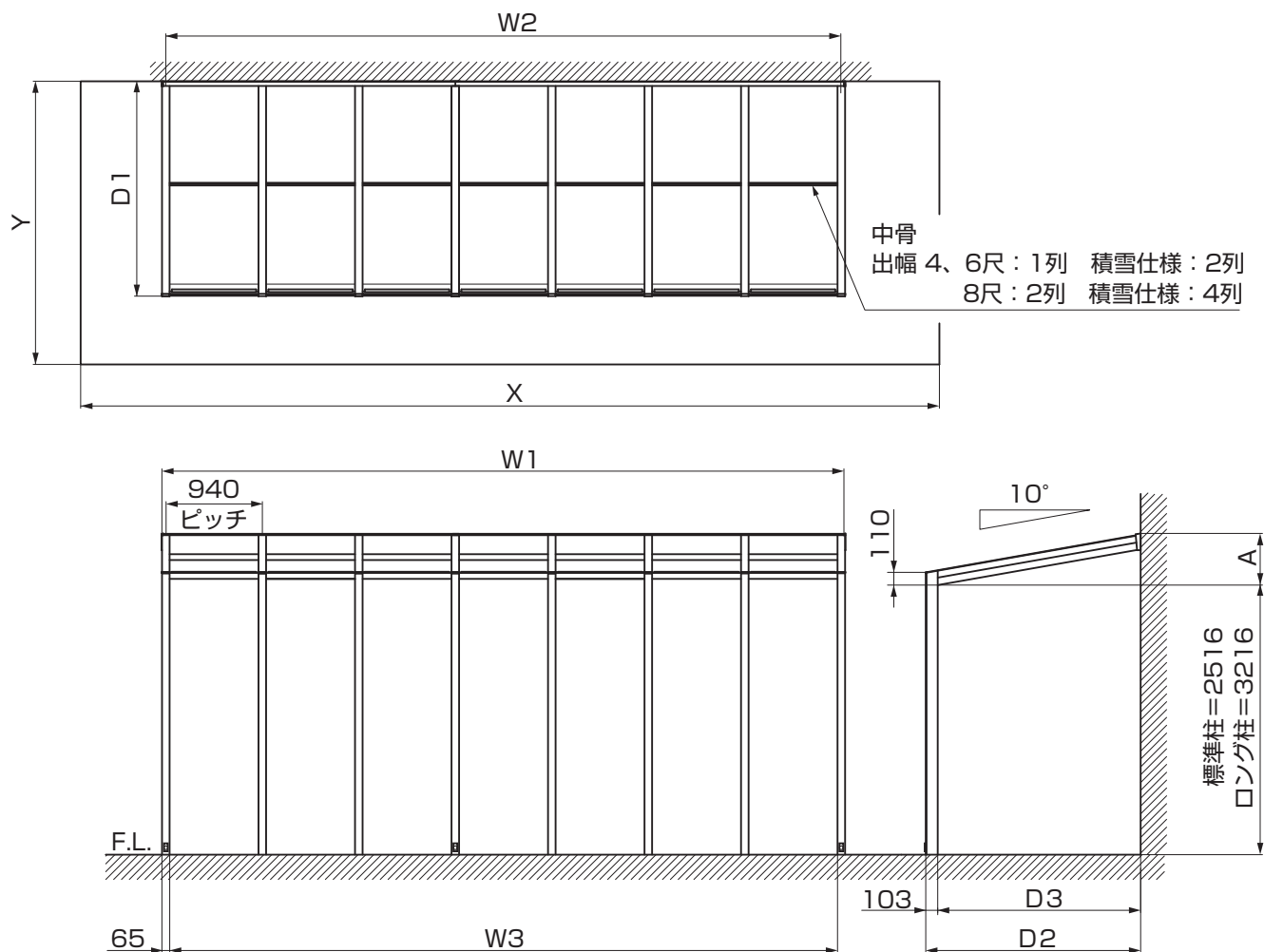


図1-2

表1-3 間口寸法

間口	W1	W2	W3	正面部	屋根材	X 対応デッキ間口		
	垂木掛け外寸	端部柱芯々	端部柱内寸	柱間隔数	枚数	ウェスタン・レッドシダー	イペセレクト	樹の木Ⅲ
2.0間+1.5間=3.5間	6652	6580	6515	7		8246	8224	8120
2.5間+1.5間=4.0間	7592	7520	7455	8		9092	9070	9200
3.0間+1.5間=4.5間	8532	8460	8395	9		10079	10057	10100
2.5間+2.5間=5.0間	9472	9400	9335	10		11066	11044	11000
3.0間+2.5間=5.5間	10412	10340	10275	11		11912	11890	11900
3.0間+3.0間=6.0間	11352	11280	11215	12		12899	12877	12980

表1-4 出幅寸法

出幅	D1	D2	D3	A	Y 対応デッキ出幅		
	躯体～前枠外寸	躯体～柱外寸	躯体～柱内寸		ウェスタン・レッドシダー	イペセレクト	樹の木Ⅲ
4尺	1246	1143	337	1836	1825	1812.5	
6尺	1846	1743	444	2436	2425	2412.5	
8尺	2446	2343	548	2936	2925	2912.5	

※樹の木Ⅲ対応デッキ寸法は、幕板Bを使用してください。幕板A使用時は、上記値の間口+40mm／出幅+20mmです。

1. (つづき)

1-3 腰壁仕様

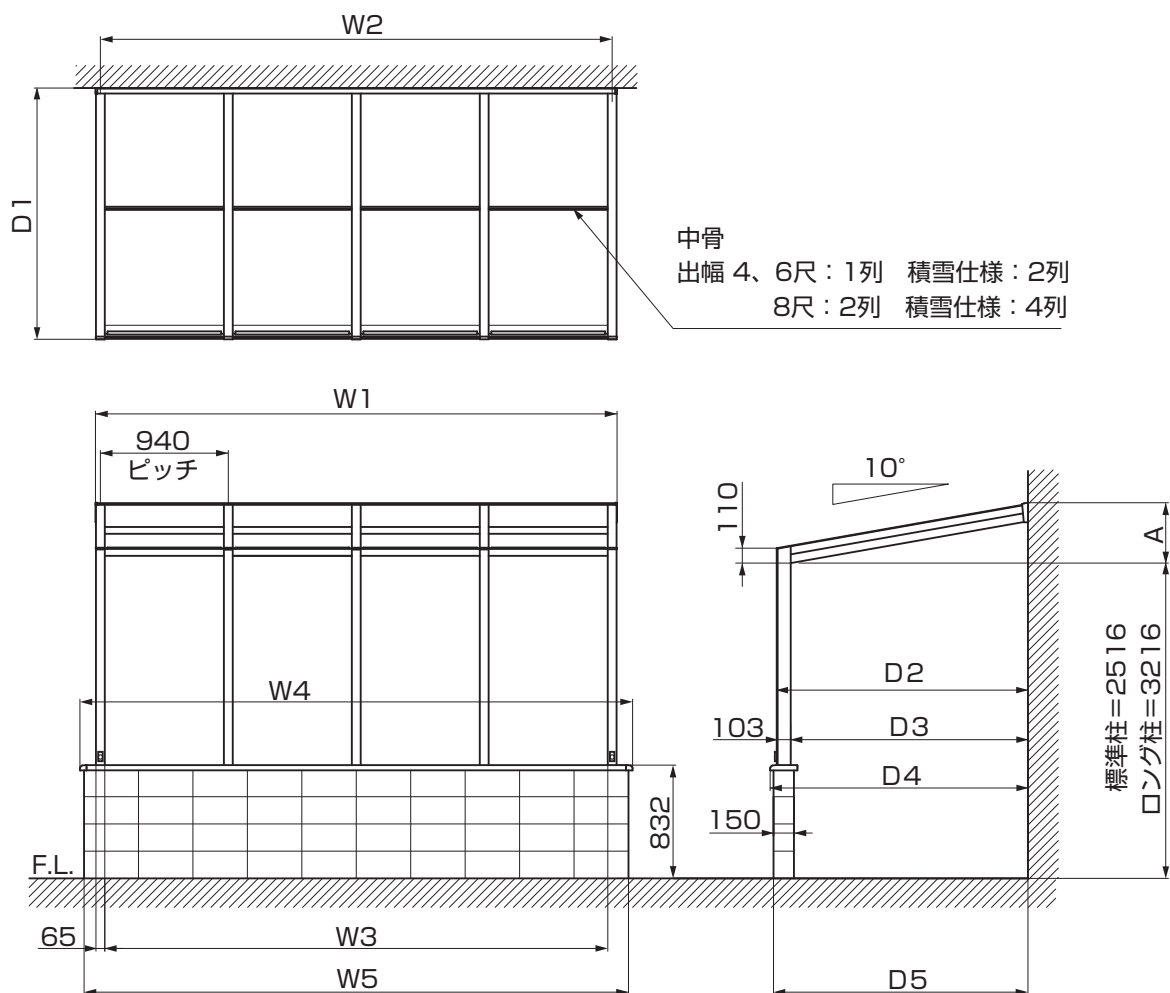


図1-3

表1-5 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁笠木外寸	W5 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	正面部 柱間隔数	屋根材 枚数
1.0間	1952	1880	1815	2460	2400	2	
1.5間	2892	2820	2755	3260	3200	3	
2.0間	3832	3760	3695	4060	4000	4	
2.5間	4772	4700	4635	5260	5200	5	
3.0間	5712	5640	5575	6060	6000	6	

表1-6 出幅寸法

出幅	D1 躯体～前枠外寸	D2 躯体～柱外寸	D3 躯体～柱内寸	D4 躯体～腰壁 笠木外寸	D5 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	A
4尺	1246		1143	1294	1269	337
6尺	1846		1743	1894	1869	444
8尺	2446		2343	2494	2469	548

1-4 腰壁連棟仕様

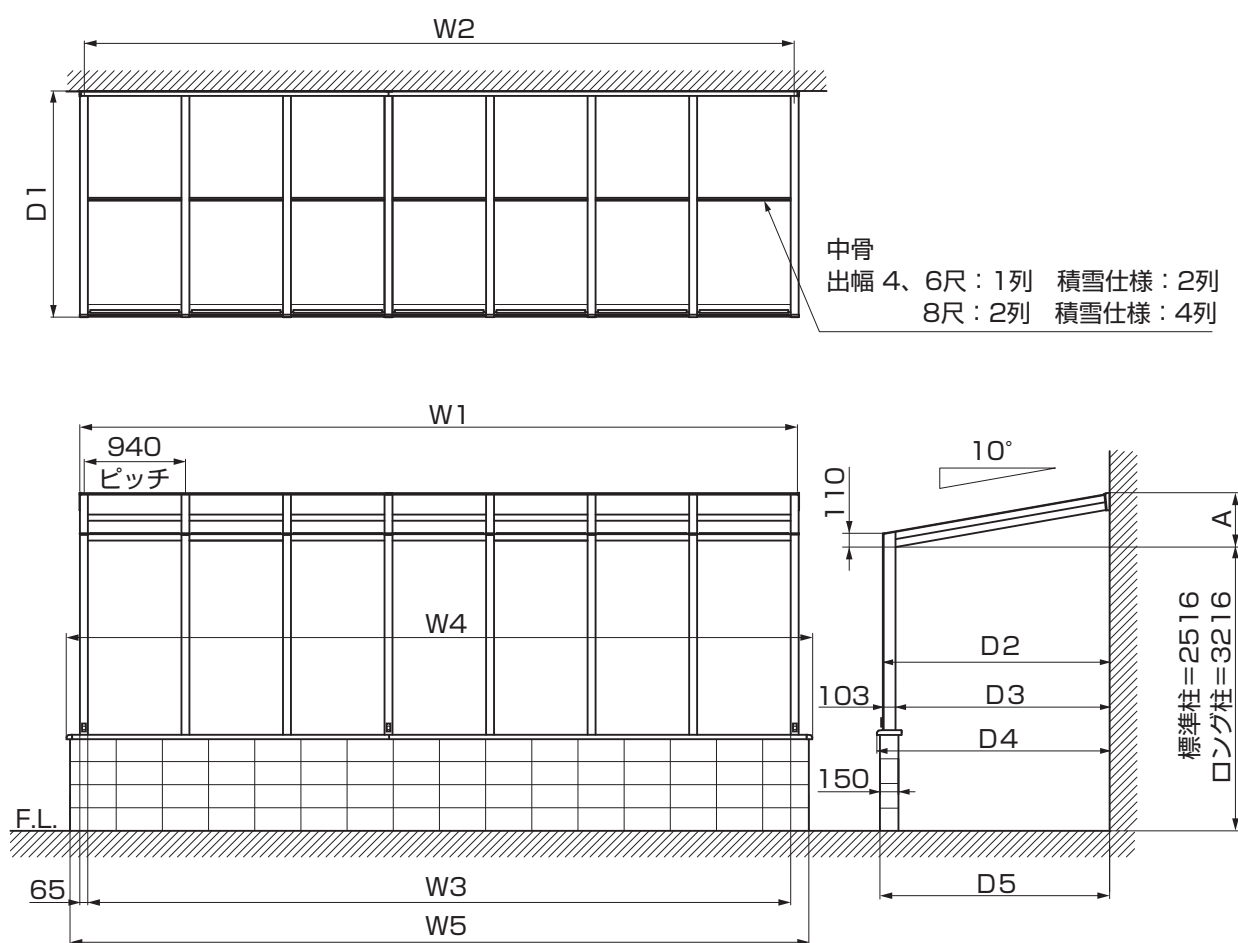


図1-4

表1-7 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁笠木外寸	W5 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	コンクリート ブロック 列数	正面部 柱間隔数	屋根材 枚数
2.0間+1.5間=3.5間	6652	6580	6515	6860	6800	17	7	
2.5間+1.5間=4.0間	7592	7520	7455	7860	7800	19.5	8	
3.0間+1.5間=4.5間	8532	8460	8395	8860	8800	22	9	
2.5間+2.5間=5.0間	9472	9400	9335	9860	9800	24.5	10	
3.0間+2.5間=5.5間	10412	10340	10275	10660	10600	26.5	11	
3.0間+3.0間=6.0間	11352	11280	11215	11660	11600	29	12	

表1-8 出幅寸法

出幅	D1 躯体～前枠外寸	D2 躯体～柱外寸	D3 躯体～柱内寸	D4 躯体～腰壁 笠木外寸	D5 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	A
4尺	1246		1143	1294	1269	337
6尺	1846		1743	1894	1869	444
8尺	2446		2343	2494	2469	548

1. (つづき)

1-5 樹の木皿基礎伏図（フラットデッキ仕様の場合）

(1) 基本仕様 1.0間、1.5間

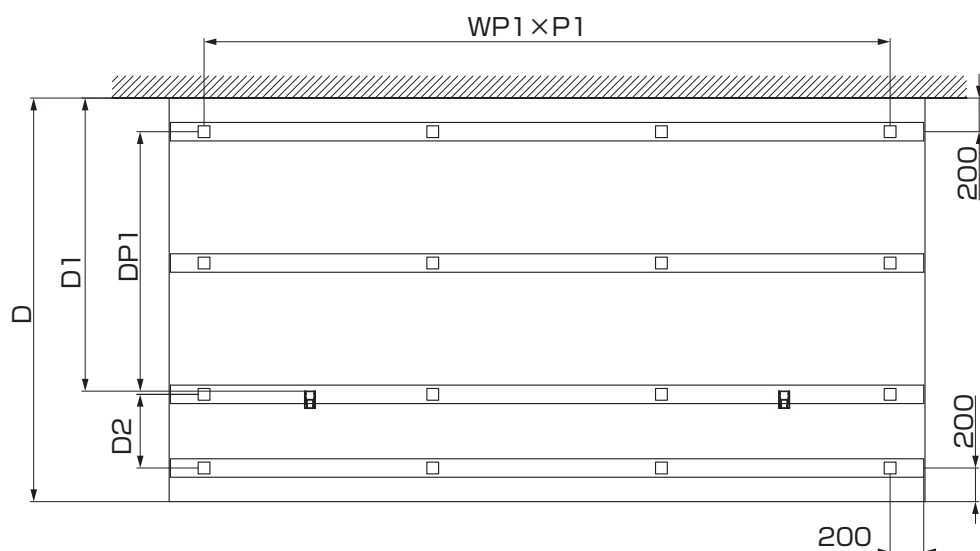


図1-5

表1-9 出幅寸法

	D	D1	D2	DP1 (ピッチ)
4尺	1800	1143	438	2：躯体側から481、481
6尺	2400	1743	438	2：躯体側から781、781
8尺	2900	2343	339	3：躯体側から720、720、721

表1-10 間口寸法

	WP1 (ピッチ)	P1
1.0間	2	1590
1.5間	3	1360

ポイント

●ベース材の下に大引がくるようにしてください。

(2) 基本仕様 2.0間～3.0間

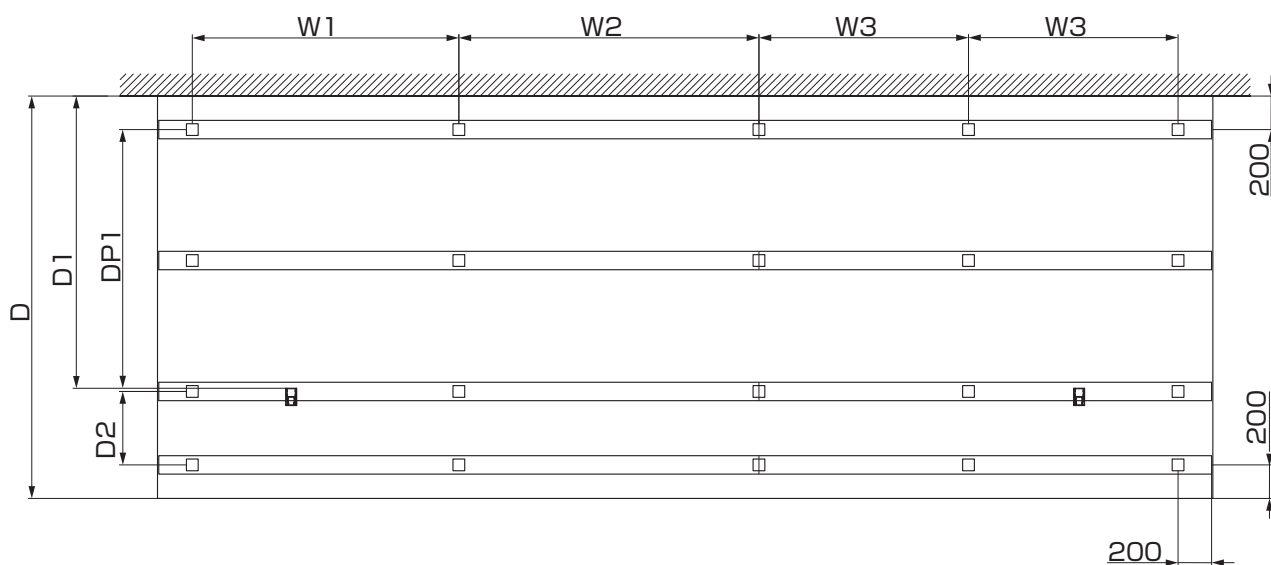


図1-6

表1-11 出幅寸法

	D	D1	D2	DP1(ピッチ)
4R	1800	1143	438	2：躯体側から481、481
6R	2400	1743	438	2：躯体側から781、781
8R	2900	2343	339	3：躯体側から720、720、721

表1-12 間口寸法

	W1	W2	W3
2.0間	1140	1340	1250
2.5間	1590	1790	1250
3.0間	1590	1790	1700

ポイント

- ベース材の下に大引がくるようにしてください。

1. (つづき)

1-5 つづき

(3) 入隅仕様 1.0間、1.5間 ※図は右入隅の場合を示します。

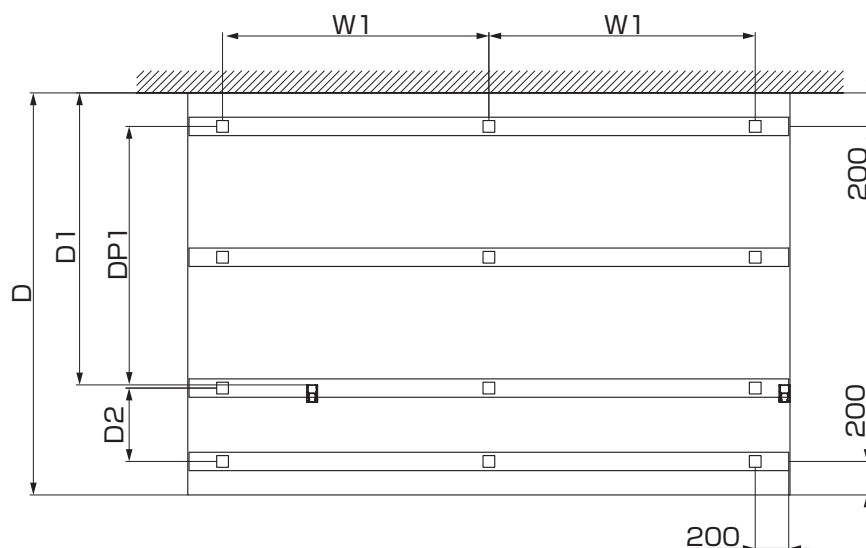


図1-7

表1-13 出幅寸法

	D	D1	D2	DP1(ピッチ)
4尺	1800	1143	438	2：躯体側から481、481
6尺	2400	1743	438	2：躯体側から781、781
8尺	2900	2343	339	3：躯体側から720、720、721

表1-14 間口寸法

	W1
1.0間	1140
1.5間	1590

ポイント

- ベース材の下に大引がくるようにしてください。

(4) 入隅仕様 2.0間～3.0間 ※図は右入隅の場合を示します。

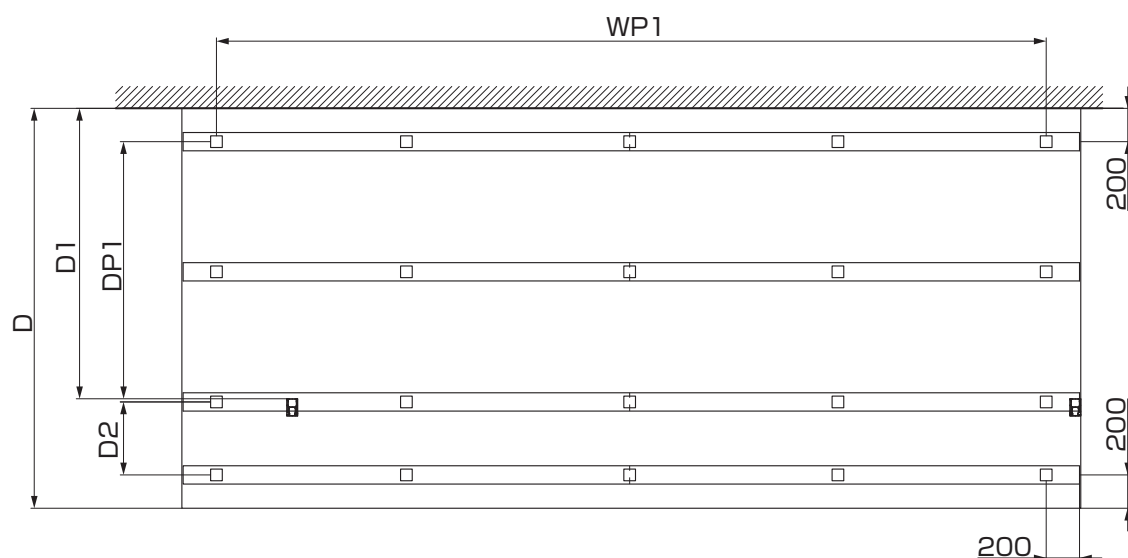


図1-8

表1-15 出幅寸法

	D	D1	D2	DP1(ピッチ)
4尺	1800	1143	438	2：躯体側から481、481
6尺	2400	1743	438	2：躯体側から781、781
8尺	2900	2343	339	3：躯体側から720、720、721

表1-16 間口寸法

	WP1(ピッチ)
2.0間	3：正面左側から 1360、1360、1360
2.5間	4：正面左側から 1140、1340、1250、1250
3.0間	4：正面左側から 1590、1790、1250、1250

ポイント

- ベース材の下に大引がくるようにしてください。

1. (つづき)

1-6 ウェスタン・レッドシダー、イペセレクト基礎伏図(フラットデッキ仕様の場合)

(1) 基本仕様 1.0間、1.5間

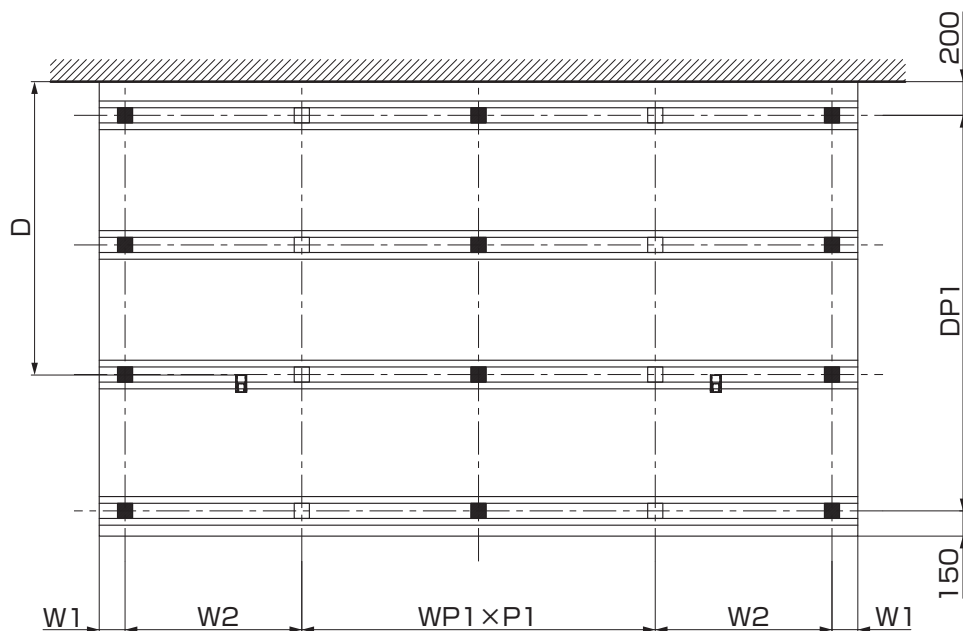


図1-9

表1-17 出幅寸法

	D	DP1 (ピッチ)
4尺	1143	2：射体側から 940、510
6尺	1743	3：射体側から 770、700、810
8尺	2343	4：射体側から 720、720、700、410

表1-18 間口寸法

	W1	W2	WP1 (ピッチ)	P1
1.0間	130.5	1100	1	1200
1.5間	153.5	1050	2	1050

ポイント

- ベース材の下に大引がくるようにしてください。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。

(2) 基本仕様 2.0間～3.0間

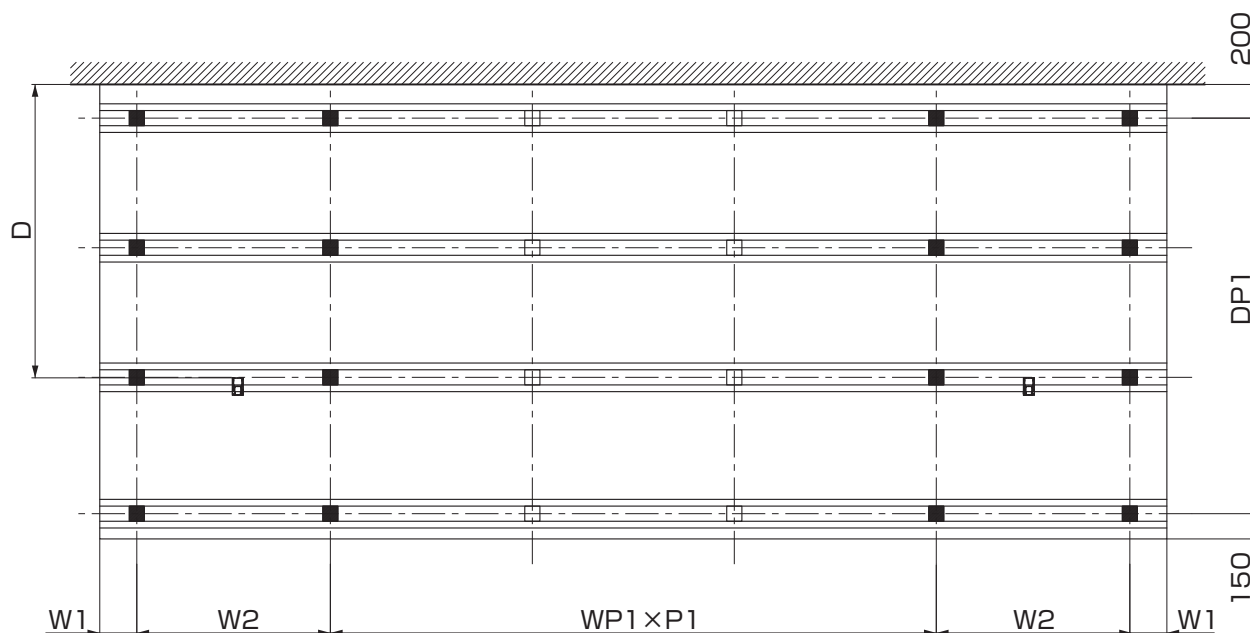


図1-10

表1-19 出幅寸法

	D	DP1 (ピッチ)
4R	1143	2 : 射体側から 940、510
6R	1743	3 : 射体側から 770、700、810
8R	2343	4 : 射体側から 720、720、700、410

表1-20 間口寸法

	W1	W2	WP1 (ピッチ)	P1
2.0間	276.5	1200	2	1200
2.5間	220	1150	3	1200
3.0間	193	1000	4	1200

ポイント

- ベース材の下に大引がくるようにしてください。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。

1. (つづき)

1-6 つづき

(3) 入隅仕様 1.0間、1.5間 ※図は右入隅の場合を示します。

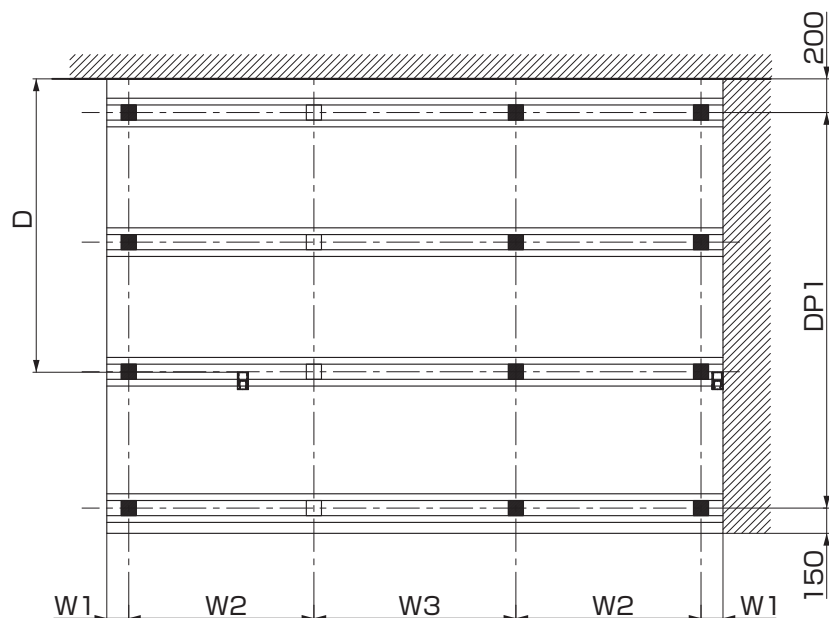


図1-11

表1-21 出幅寸法

	D	DP1 (ピッチ)
4尺	1143	2: 射体側から 940、510
6尺	1743	3: 射体側から 770、700、810
8尺	2343	4: 射体側から 720、720、700、410

表1-22 間口寸法

	W1	W2	W3
1.0間	137	1200	0
1.5間	130.5	1100	1200

ポイント

- ベース材の下に大引がくるようにしてください。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。

(4) 入隅仕様 2.0間～3.0間 ※図は右入隅の場合を示します。

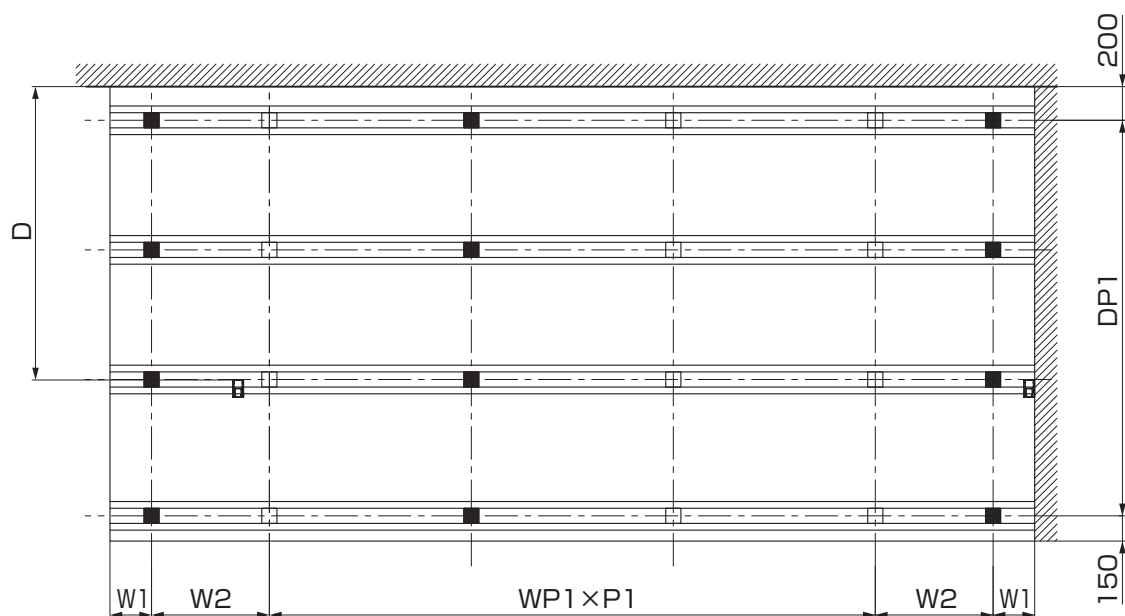


図1-12

表1-23 出幅寸法

	D	DP1 (ピッチ)
4尺	1143	2 : 射体側から 940、510
6尺	1743	3 : 射体側から 770、700、810
8尺	2343	4 : 射体側から 720、720、700、410

表1-24 間口寸法

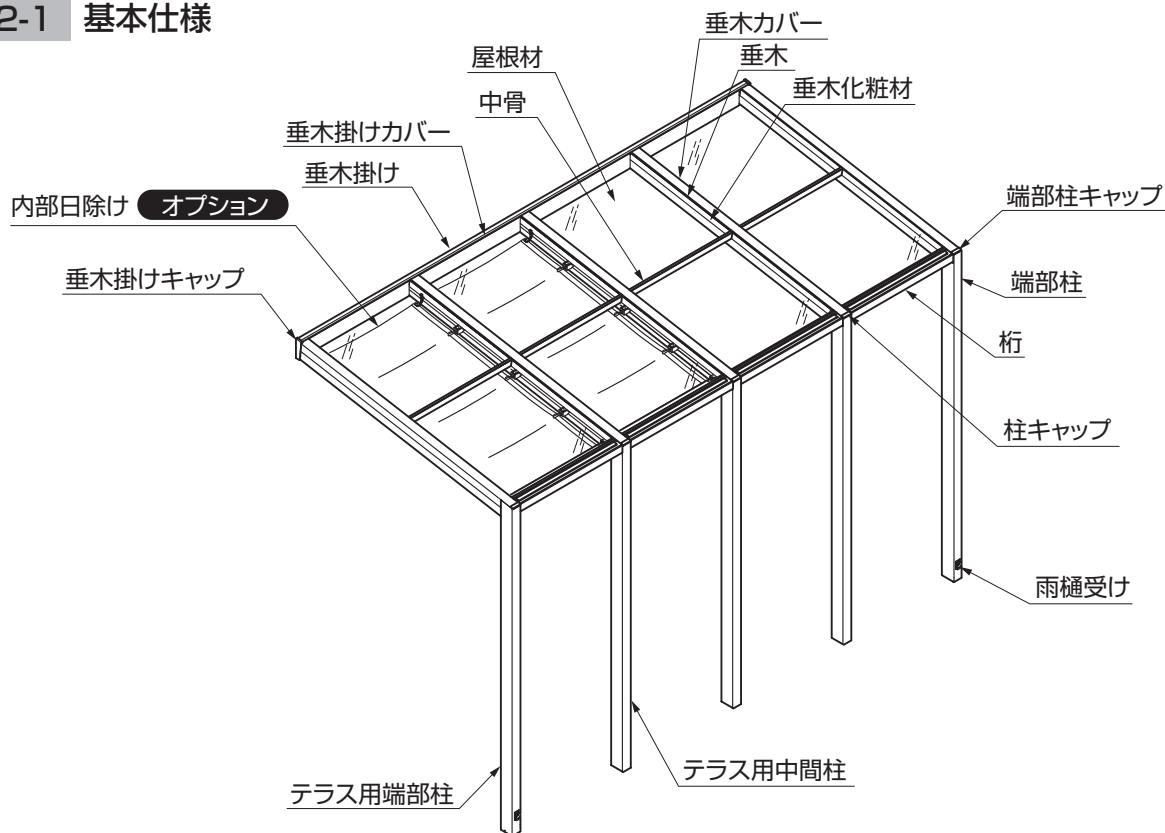
	W1	W2	WP1 (ピッチ)	P1
2.0間	203.5	850	2	1200
2.5間	247	700	3	1200
3.0間	220	220	3	1200

ポイント

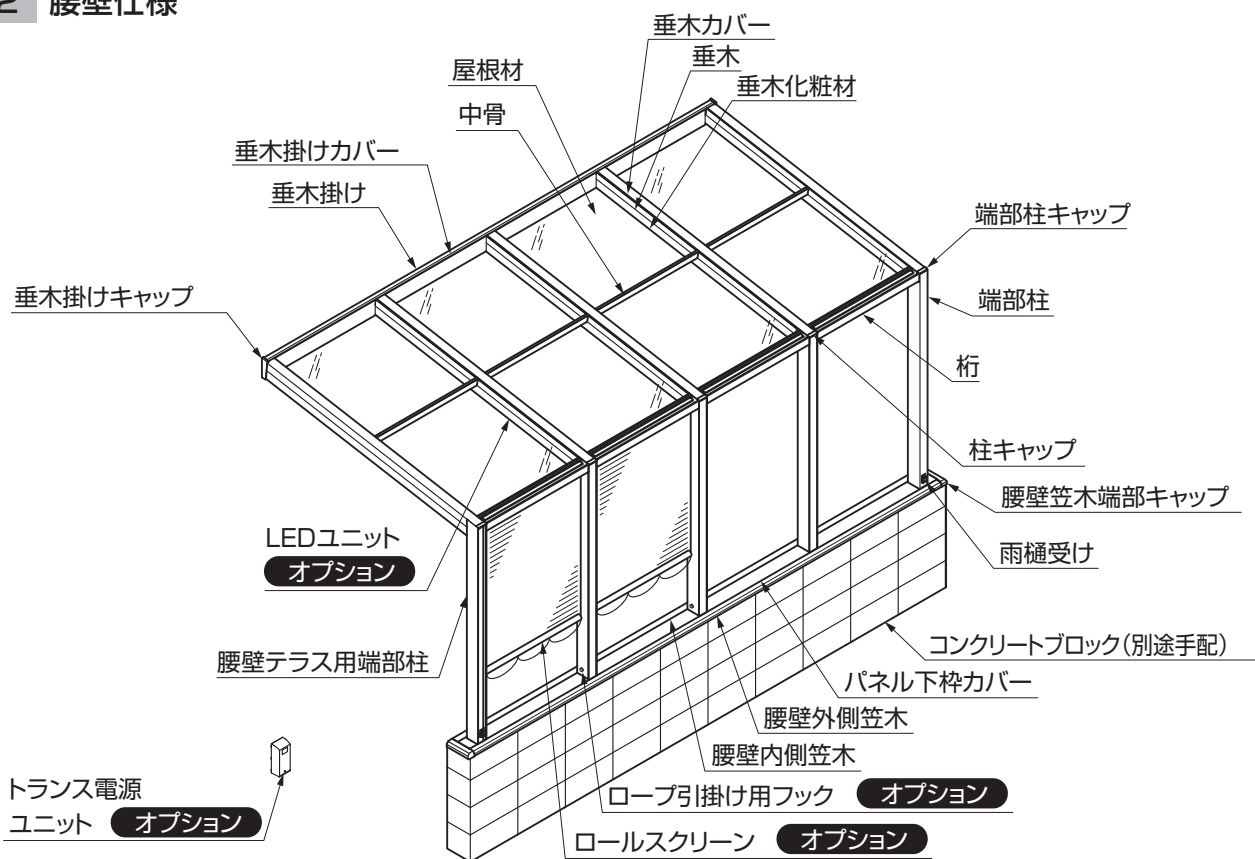
- ベース材の下に大引がくるようにしてください。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。

2. 各部名称 ※積雪仕様の場合は1スパンあたりの中骨の本数が倍になります。

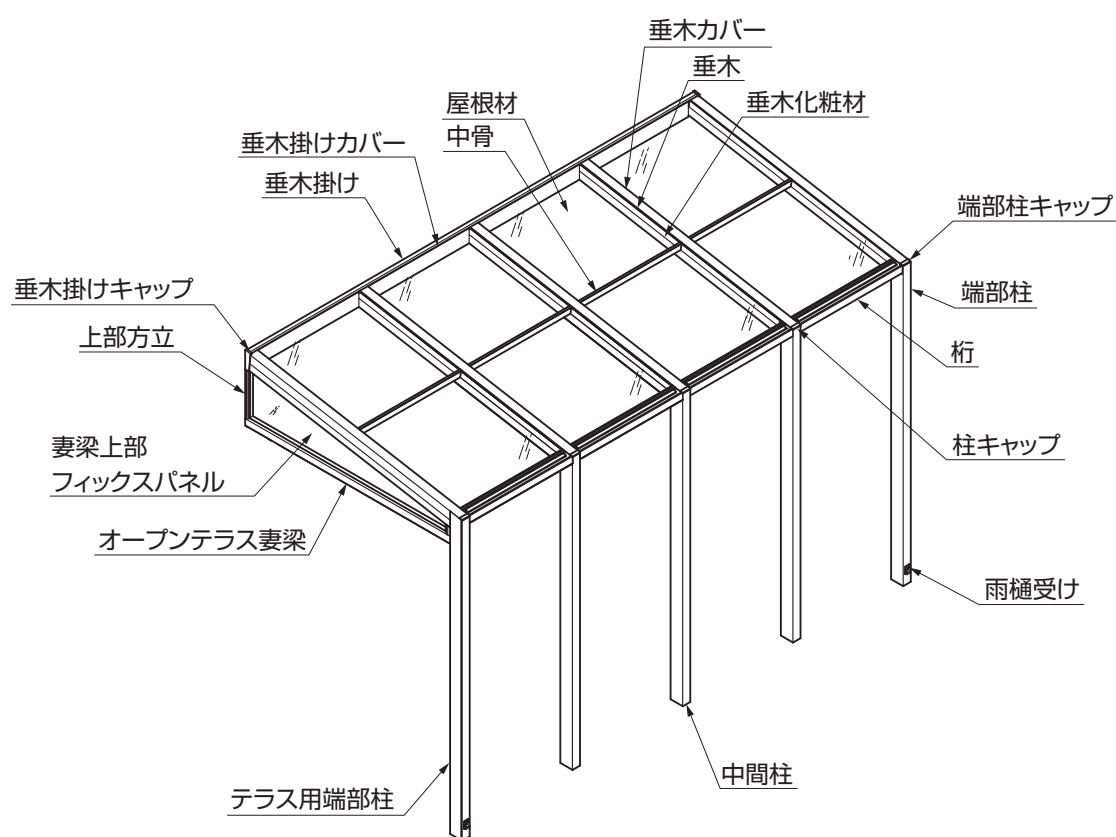
2-1 基本仕様



2-2 腰壁仕様

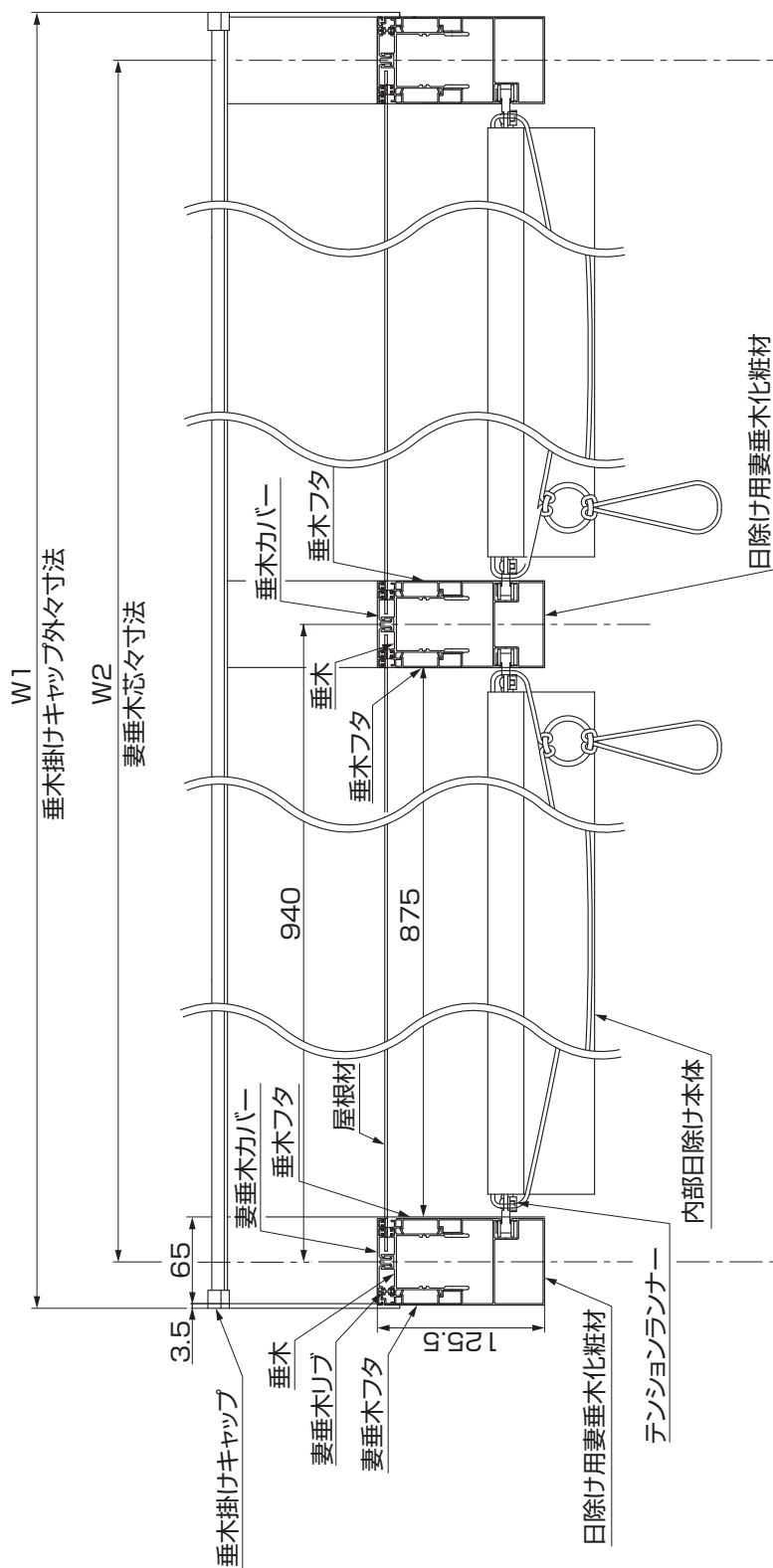


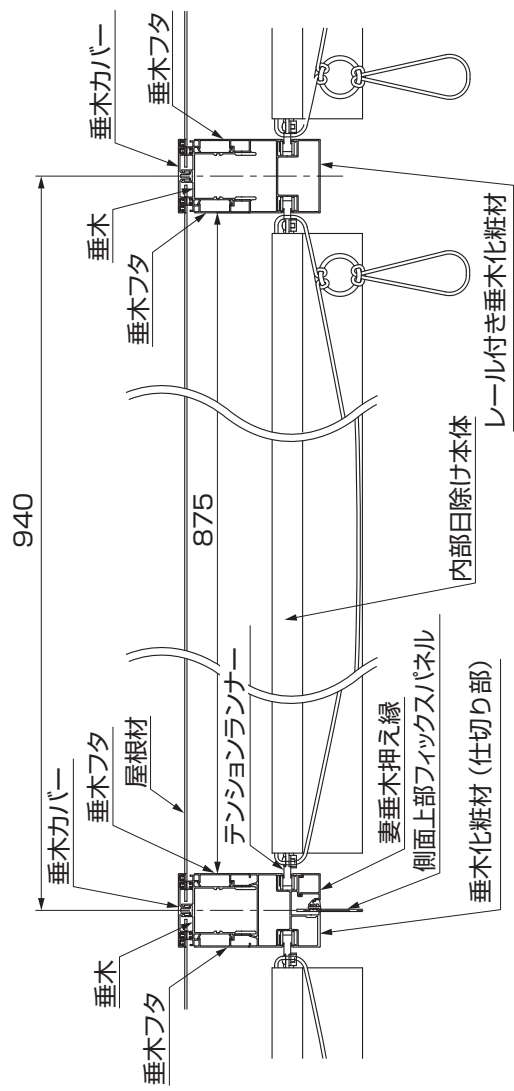
2-3 妻梁上部フィックスパネルを取付けた場合



3. 断面納まり図

3-1 オープンテラス間口断面納まり図





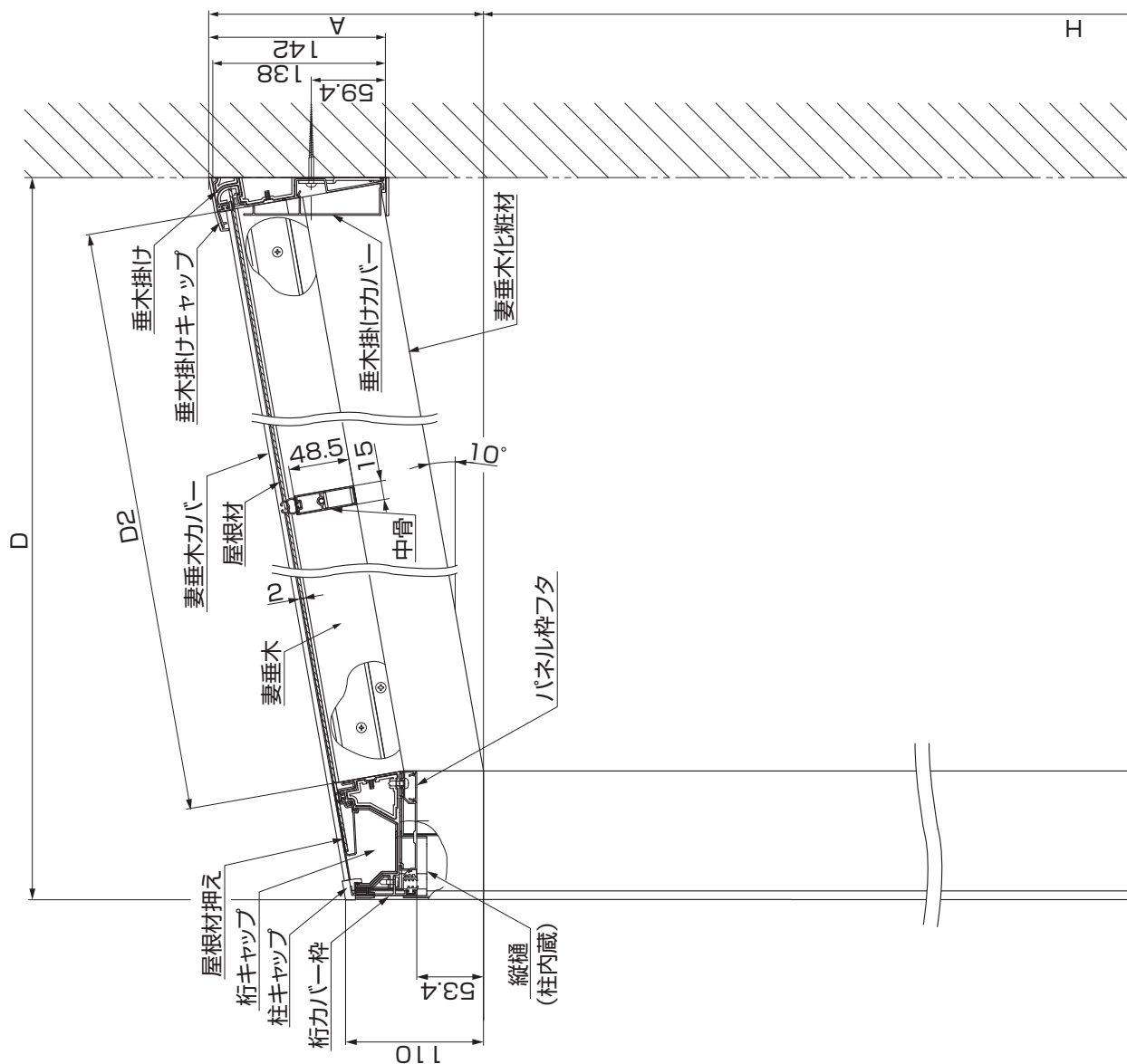
ガーデンスループラスの場合

表3-1

間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
間口寸法					
W1	1952	2892	3832	4772	5712
W2	1880	2820	3760	4700	5640

3. (つづき)

3-2 オープンテラスタイプ出幅断面納まり図



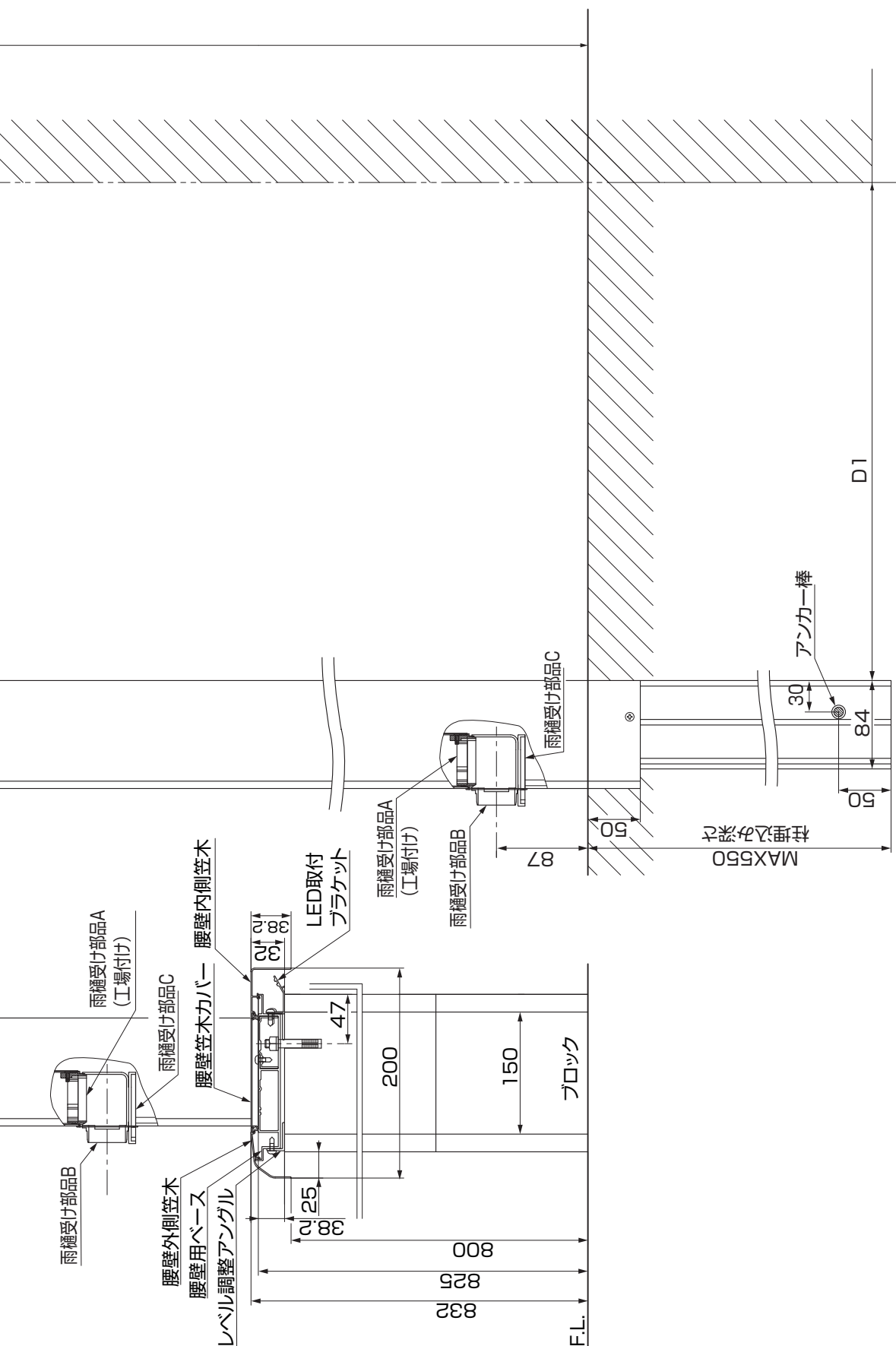


表3-2

高さ呼称	H
標準柱	2516
ロング柱	3216

表3-3

出幅	4尺	6尺	8尺
D	1246	1846	2446
D1	1143	1743	2343
D2	1145	1754	2363

表3-4

出幅	4尺	6尺	8尺
A	337	444	548

4 柱の位置出し

1. 柱の位置出し

1-1 基本仕様

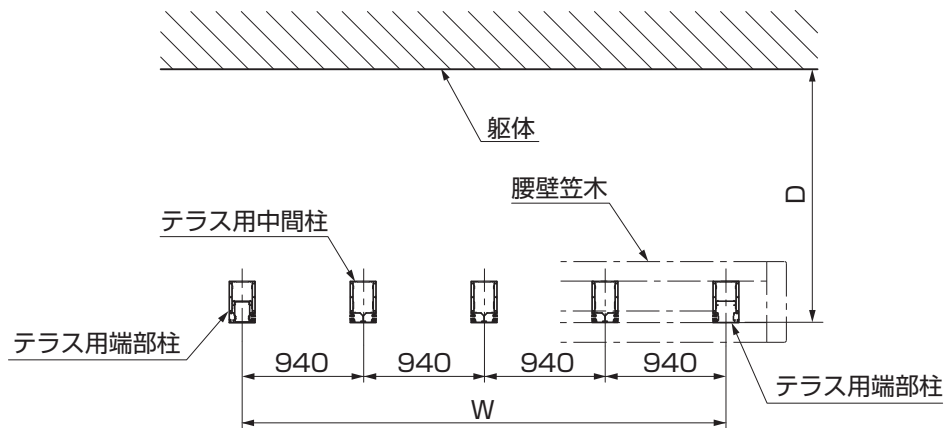


図1-1

表1-1 出幅寸法

出幅	4尺	6尺	8尺
D	1246	1846	2446

表1-2 間口寸法

間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
柱間隔数	2	3	4	5	6
W	1880	2820	3760	4700	5640

1-2 連棟仕様

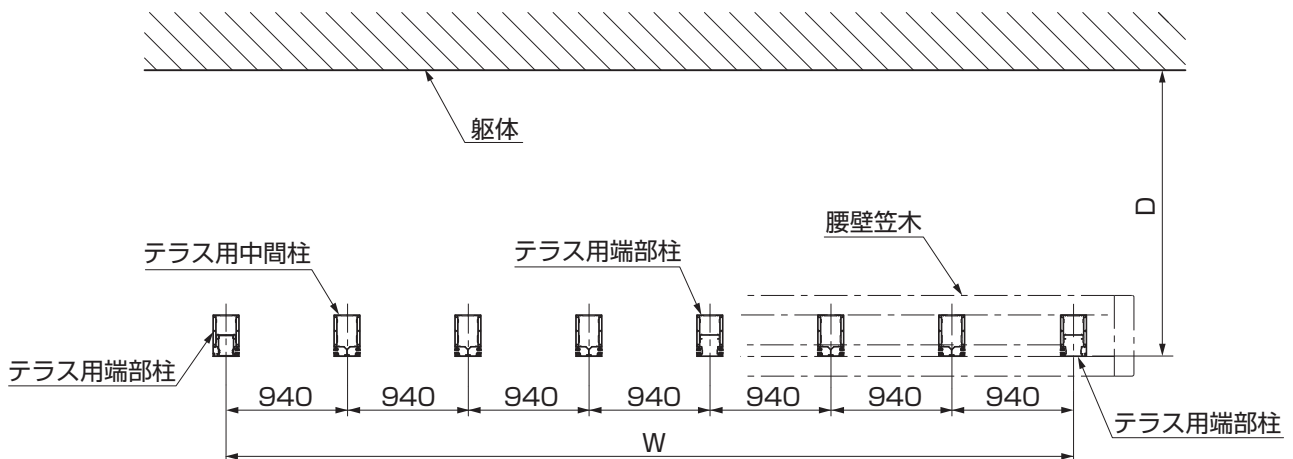


図1-2

表1-3 出幅寸法

出幅	4尺	6尺	8尺
D	1246	1846	2446

表1-4 間口寸法

間口	3.5間	4.0間	4.5間	5.0間	5.5間	6.0間
柱間隔数	7	8	9	10	11	12
W	6580	7520	8460	9400	10340	11280

5 本体の施工

1. 水盛遣方・水系張り

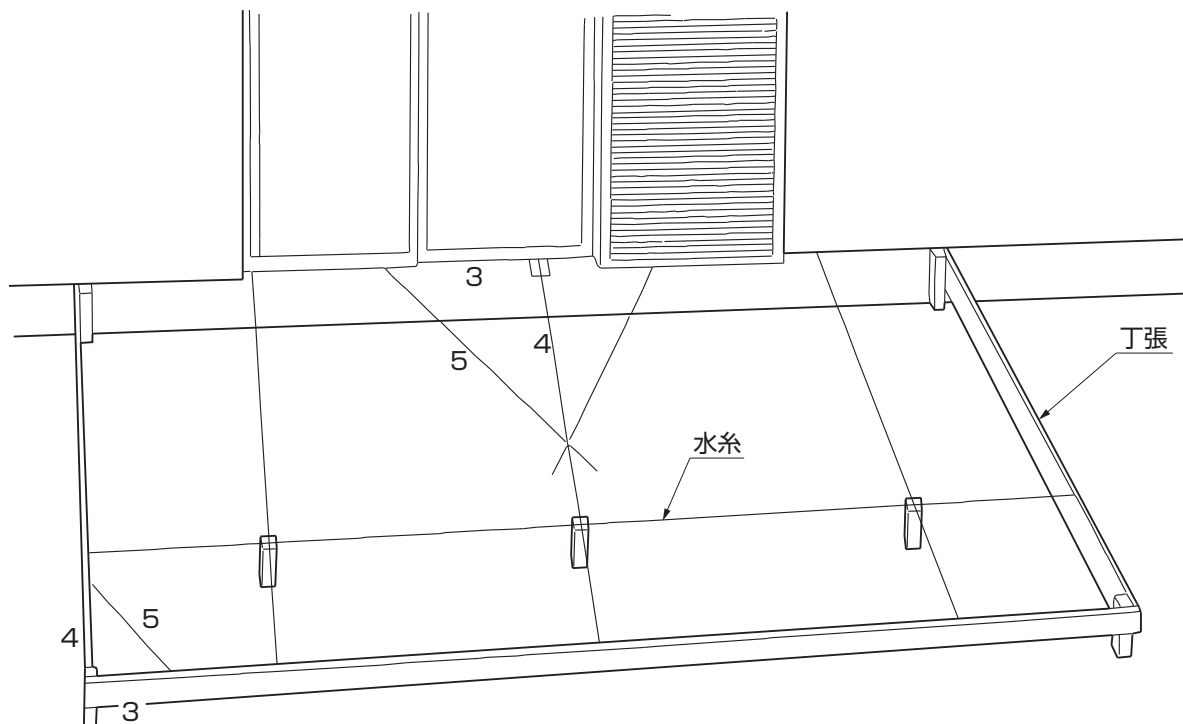


図1-1

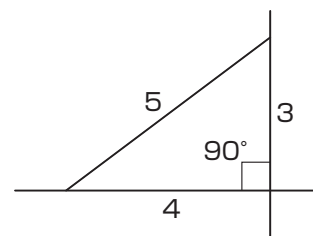


図1-2 直角出し寸法

- ①「3 基本寸法と各部名称」を参照して本体の取付位置およびフロアの高さを決めてください。
- ②前面・両側面に丁張を組んでください。
- ③躯体に柱寸法の印をつけ、図1-2の方法で直角をだし、束柱の位置を出してください。
- ④束柱の位置から、両側の柱位置を決めてください。

ポイント

- 丁張の位置は本体外寸より前面・両側面ともにやや大きめに決めてください。
- 丁張は水準器等で水平を取ってください。
- 各コーナーの直角を定規、図1-2の方法等で割り出してください。

2. 基本仕様の配線工事 **オプション**

※LED照明を取付ける場合の作業です。

※LEDユニットに同梱されている取付説明書〈Z217〉は使用しません。

2-1 LEDユニット配線のとりまわし

(1) 上部から配線する場合

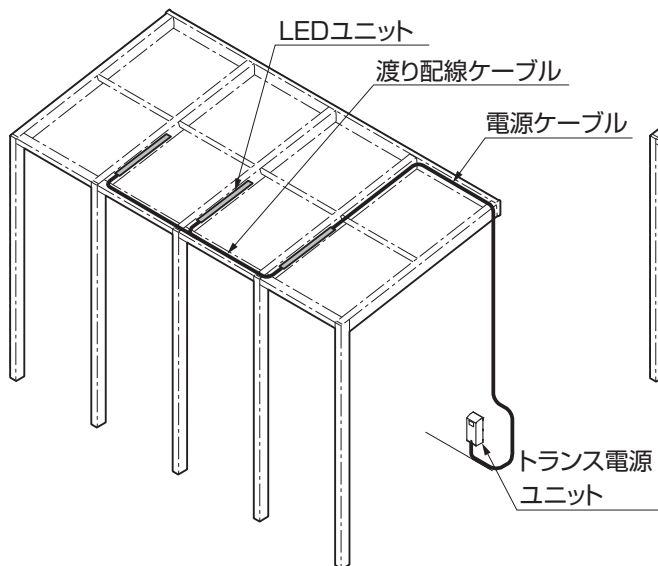


図2-1

(2) 下部から配線する場合

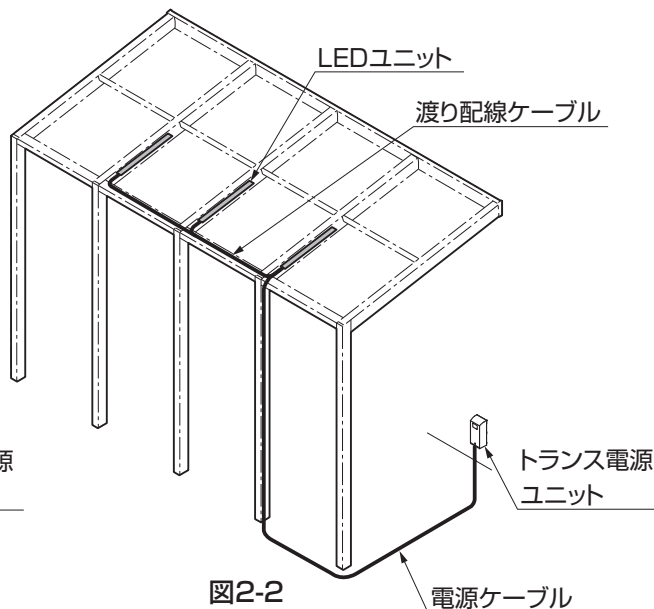


図2-2

①図2-1、図2-2のようにLEDユニットの配線をとりまわしてください。

2-2 配線工事

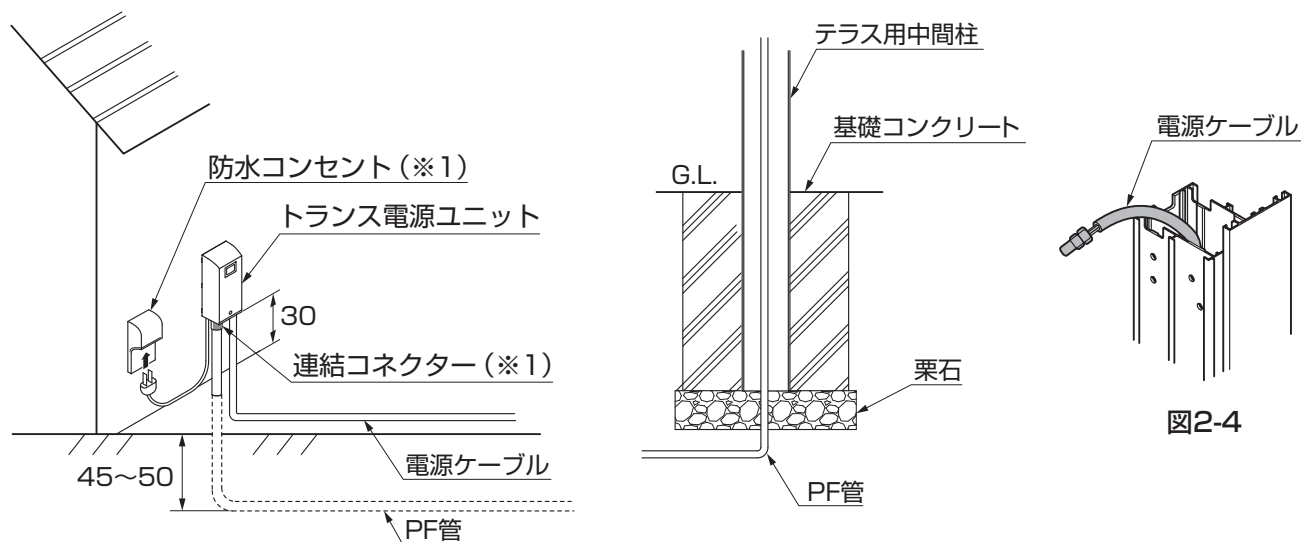


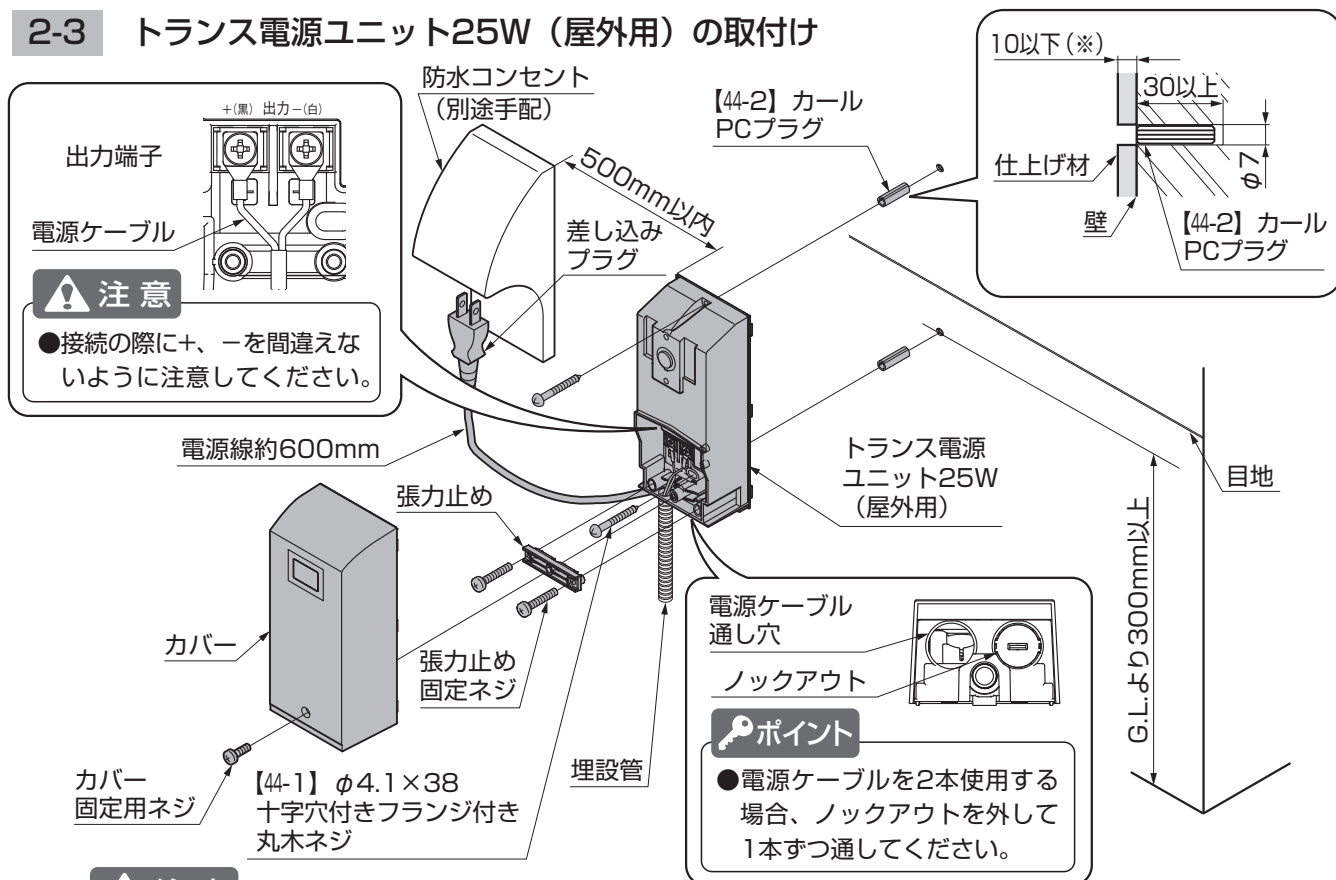
図2-3 オープンテラスタイプ 柱埋込みの場合

①トランス電源ユニットを取付けてください。

ポイント

- トランス電源ユニットの取付けは、「トランス電源ユニット取扱説明書 (UZ261)」を参照してください。
- 防水コンセント、連結コネクターは別途手配してください。(※1)
- 躯体側から配線配管をする場合は、躯体側に配線を出してください。
- 地下埋設する場合のPF管は、現場で手配してください。
- 電源ケーブルは柱上部まで引出してください。(図2-4参照)
- 電源ケーブルの長さを調整する場合は、トランス電源ユニット側を切りつめてください。

2-3 トランス電源ユニット25W（屋外用）の取付け



注意

- 取付けの際は、安全のため電源を切ってください。通電状態で行なうと感電の原因になります。

ポイント

- ネジ止めする際は、手回しドライバーをご使用ください。

- ① トランス電源ユニット25W（屋外用）を取付ける位置に合わせて取付穴位置をけがき、けがいた位置に穴径φ7、有効深さ30mm以上の穴をあけてください。

警告

- トランス電源ユニット25W（屋外用）は壁面取付け専用です。天井面、据置き、本体より小さい取付面、傾斜面、湿気の多い場所には設置しないでください。火災・感電・落下の原因になります。
- トランス電源ユニット25W（屋外用）は地面より300mm以上離れた位置に取付けてください。冠水の時に火災・感電の原因になります。

注意

- ブロックの目地には固定しないでください。固定強度が弱く、本体が落下してケガをするおそれがあります。

ポイント

- 壁に有効深さ30mmの穴をあける場合は、仕上げ材ではなく壁からの深さとしてください。また、付属のプラグやネジの使用は仕上げ材の厚みが10mm以下(※)の場合としてください。10mmより厚い場合は、現場でプラグやネジ等をご用意ください。
- トランス電源ユニット25W（屋外用）と防水コンセントの間は500mm以内にしてください。
- 切り粉は必ず除去してください。

- ② 【44-2】を下穴に埋め込み、【44-1】でトランス電源ユニット25W（屋外用）を固定してください。
- ③ 張力止めを外して、電源ケーブルのY端子を端子台に接続し、張力止めで固定してください。

3. 腰壁仕様の配線工事 **オプション**

※LED照明を取付ける場合の作業です。

※LEDユニットに同梱されている取付説明書〈Z217〉は使用しません。

3-1 LEDユニット配線のとりまわし

※①柱の配線の詳細は、P.52、P.55を

②桁の配線の詳細は、P.79、P.84を

③垂木掛けの配線は、P.45、P.46を参照してください。

④腰壁の配線は、P.45、P.62、P.65を参照してください。

(1) 上部から配線する場合

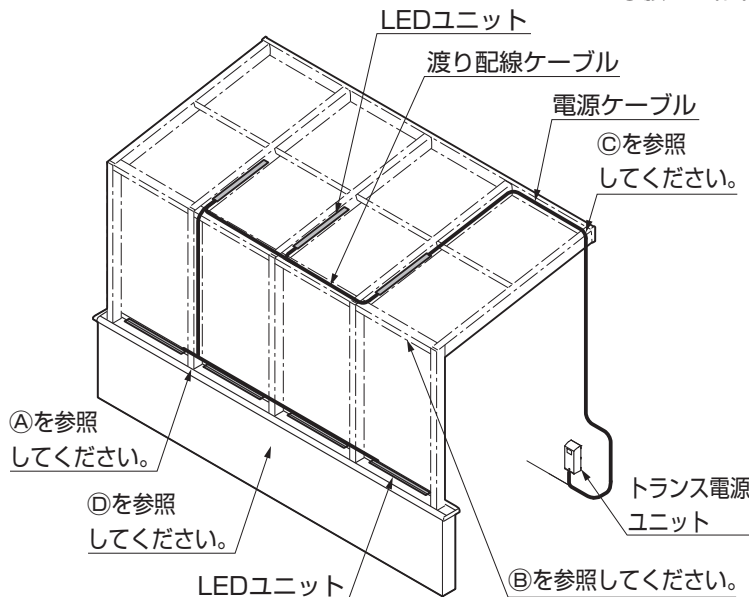


図3-1

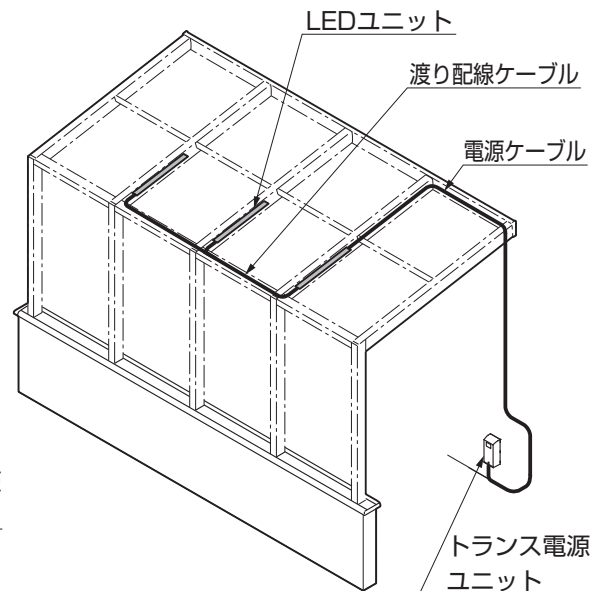


図3-2

①図3-1、図3-2のようにLEDユニットの配線をとりまわしてください。

ポイント

●LEDユニットは、渡り配線ケーブルを介して6本まで連続接続が可能です。

(2) 下部から配線する場合

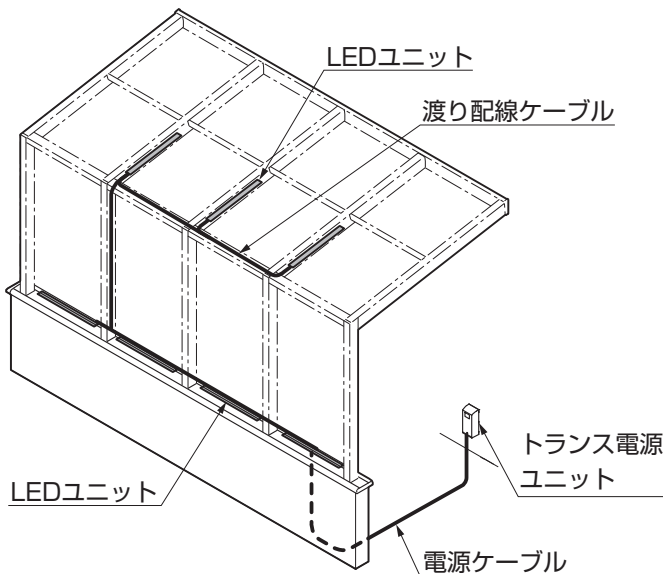


図3-3

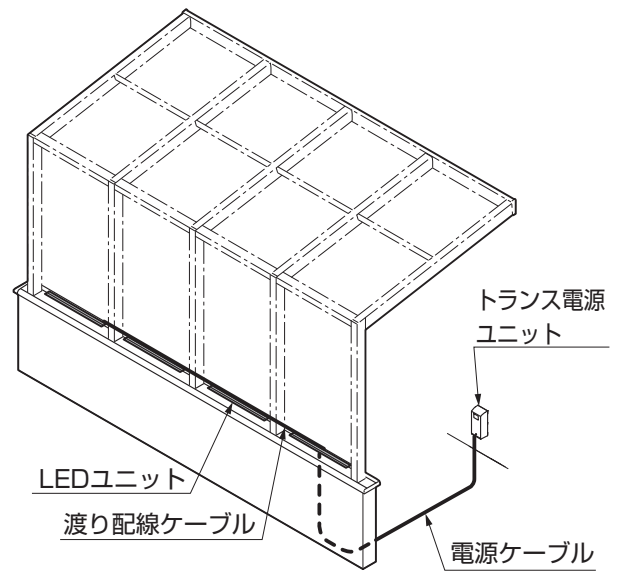


図3-4

①図3-3、図3-4のようにLEDユニットの配線をとりまわしてください。

ポイント

●LEDユニットは、渡り配線ケーブルを介して6本まで連続接続が可能です。

3-2 配線工事

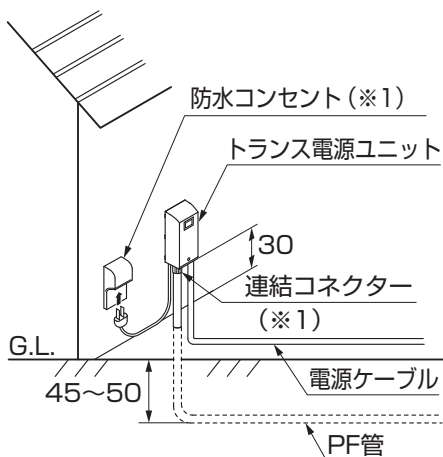


図3-5

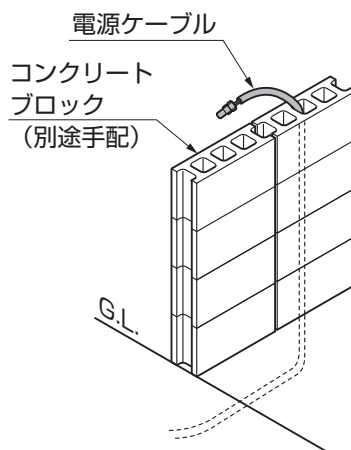


図3-6

①トランス電源ユニットを取付けてください。

ポイント

- トランス電源ユニットの取付けは「トランス電源ユニット取扱説明書（UZ261）」を参照してください。
- 防水コンセント、連結コネクタは別途手配してください。（※1）
- 躯体側から配線配管をする場合は躯体側に配線を出してください。
- PF管は、現場で手配してください。
- 電源ケーブルはコンクリートブロック内を通してください。
- 電源ケーブルの長さを調整する場合は、トランス電源ユニット側を切りつめてください。

②「5 本体の施工 3. 腰壁仕様の配線工事 **オプション** 3-1 LEDユニット配線のとりまわし」を参照してココマ本体に電源ケーブルをまわしてください。

3-3 トランス電源ユニット25W（屋外用）の取付け

ポイント

- 「5 本体の施工 2. 基本仕様の配線工事 **オプション** 2-3 トランス電源ユニット25W（屋外用）の取付け」を参照して、トランス電源ユニットを取付けてください。

※連棟の場合は「5 本体の施工 5. 連棟の場合の垂木掛けの取付け」と同時に行なう作業です。

※側面フィックスパネルを取付ける場合は「6 妻梁上部フィックスパネルの取付け 1. 垂木掛け-上部方立取付金具の取付け」と同時に行なう作業です。

4. 垂木掛けの取付け

4-1 垂木掛けの取付け

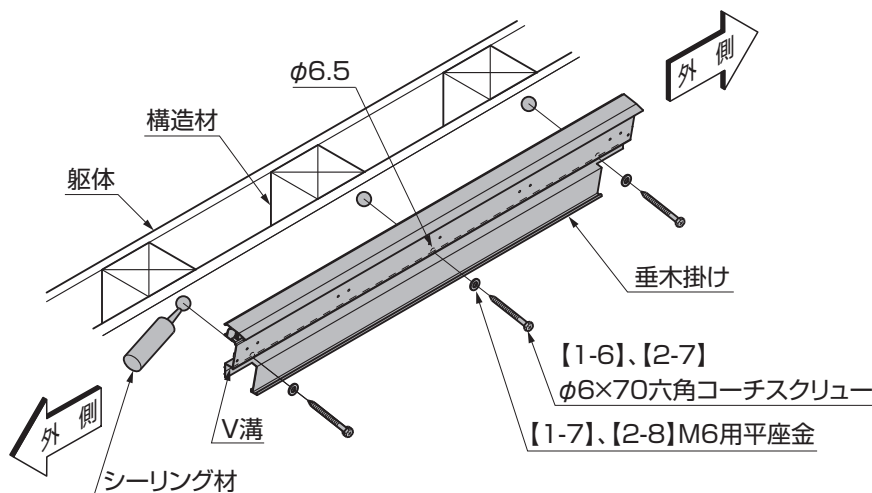


図4-1

①垂木掛けのV溝部に、φ6.5の穴をあけてください。

②垂木掛けを躯体に【1-6】、【1-7】または【2-7】、【2-8】で取付けてください。

注意

- 垂木掛けは強度確保のため、必ず躯体の柱、間柱等の構造材に取付けてください。
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

4. (つづき)

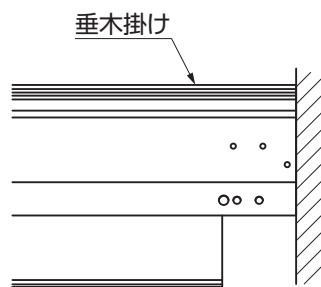


図4-2 入隅時の垂木掛けの位置

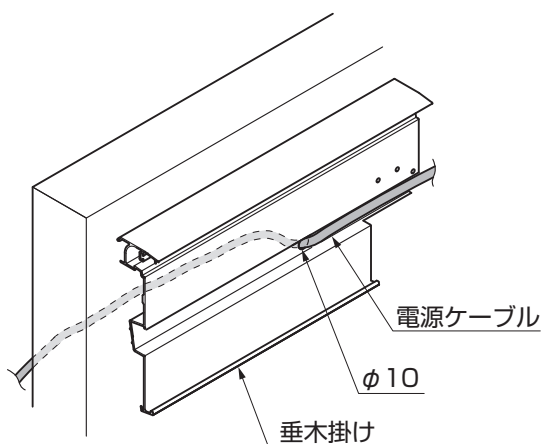


図4-3 LED照明 **オプション** を取付ける場合

ポイント

- 垂木掛けの水平・垂直に注意してください。
- 入隅の場合は図4-2のように垂木掛けを取付けてください。
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。
- LED照明 **オプション** を取付ける場合は、「5 本体の施工 2.基本仕様の配線工事 **オプション** (1) 上部から配線する場合」または、「5 本体の施工 3.腰壁仕様の配線工事 **オプション** (1) 上部から配線する場合」を参照して電源ケーブルを通す位置の垂木掛けにφ10の穴をあけ、躯体内に配線してください。（図4-3参照）

4-2 垂木組付金具の取付け

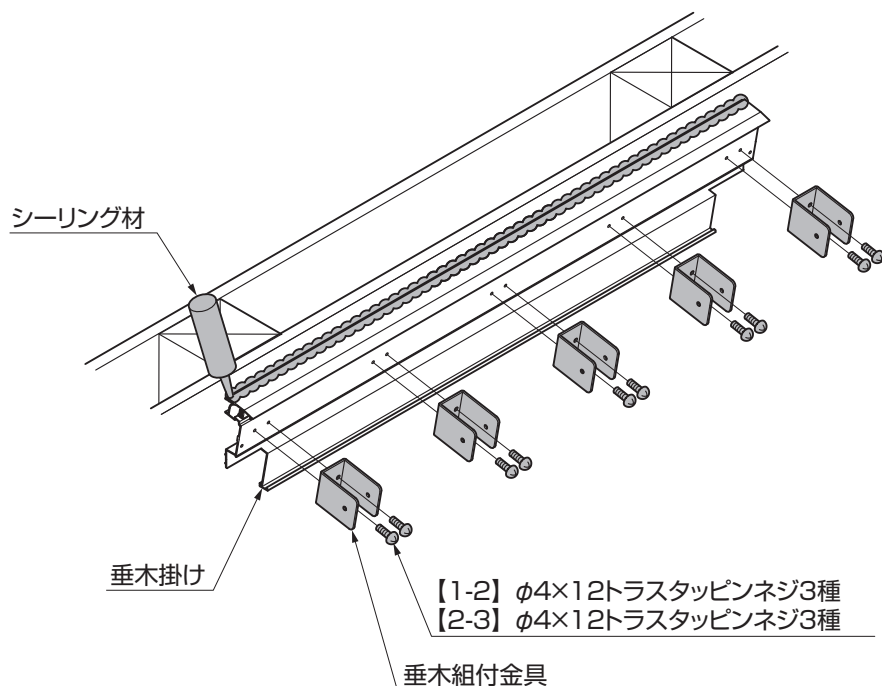


図4-4 垂木組付金具の取付け

- ① 垂木組付金具を垂木掛けに、【1-3】または【2-3】で取付けてください。

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

5. 連棟の場合の垂木掛けの取付け

※連棟の場合の作業です。

※「5 本体の施工 4. 垂木掛けの取付け」と同時に行なう作業です。

5-1 垂木掛けの加工

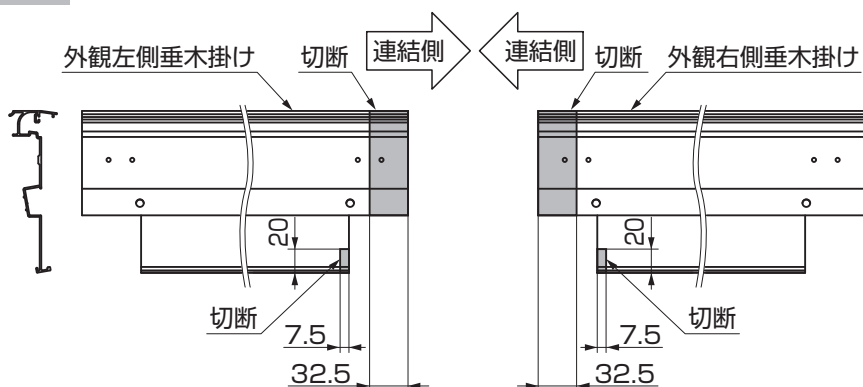


図5-1 垂木掛けの加工

①連結する側の垂木掛け端部を、図5-1を参照して加工してください。

ポイント

●記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

5-2 垂木掛けの取付け

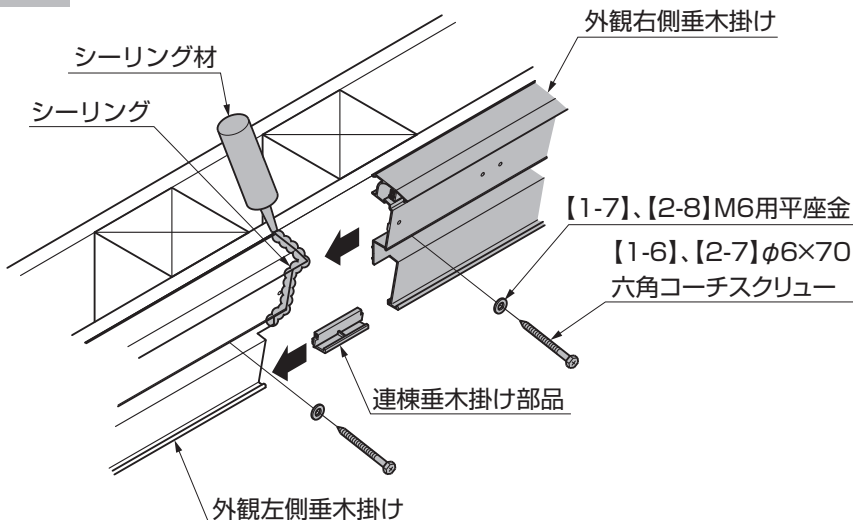


図5-2 垂木掛けの取付け

①垂木掛け連結部分にシーリングをして躯体に【1-6】、【1-7】または【2-7】、【2-8】で取付けてください。

ポイント

●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

②連棟垂木掛け部品を垂木掛けと垂木掛けで、はさみ込むようにして取付けてください。

5-3 垂木組付金具の取付け

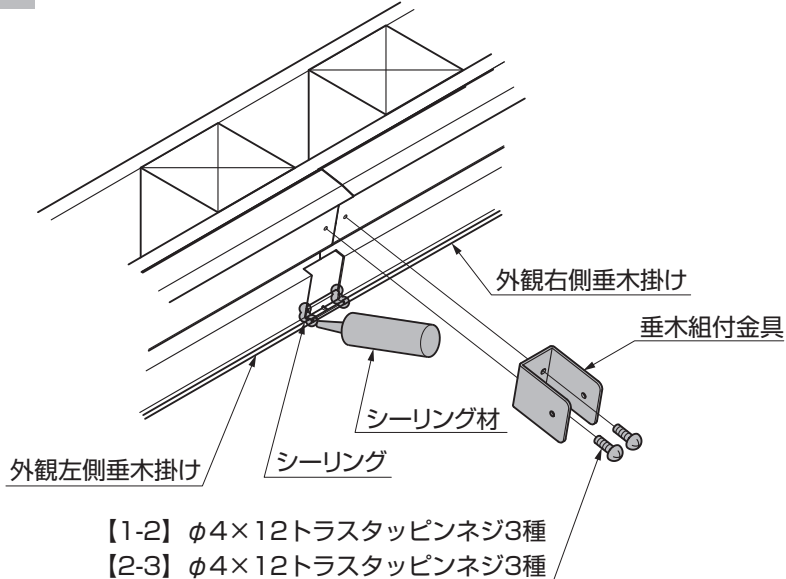


図5-3 垂木組付金具の取付け

①垂木組付金具を連結した垂木掛けに、【1-2】または【2-3】で取付けてください。

6. 柱の加工

6-1 端部柱の加工 ※柱の長さを調整する場合の作業です。

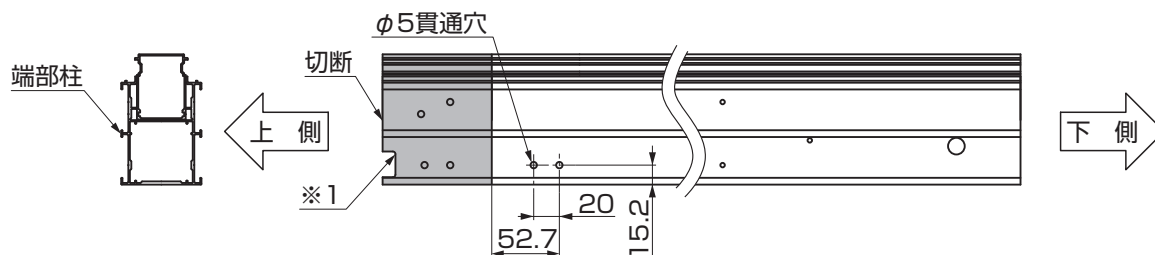


図6-1

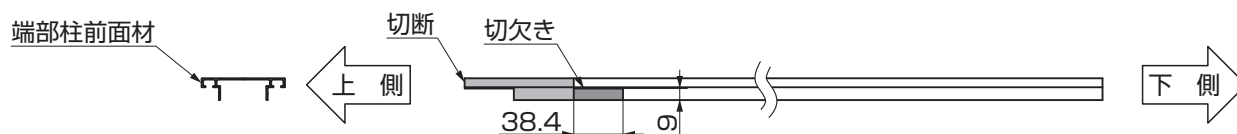


図6-2

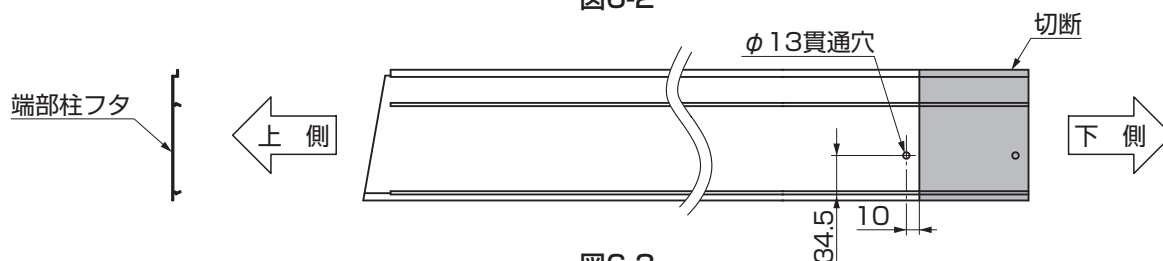


図6-3

①施工するサイズに合わせて切断、加工してください。

ポイント

- 端部柱の上端に配線を通す場合は、※1の切欠きと同じ加工をしてください。

6-2 中間柱の加工 ※柱の長さを調整する場合の作業です。

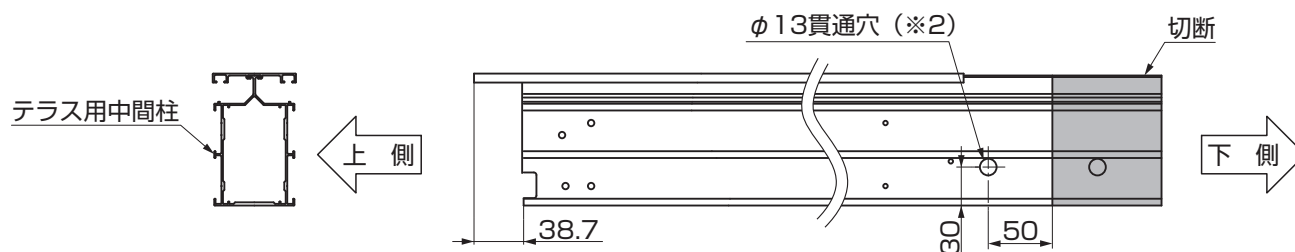


図6-4

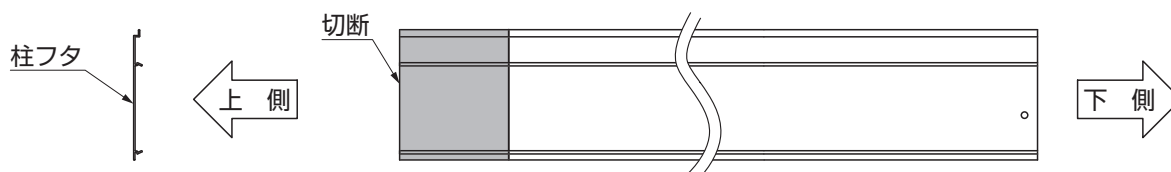


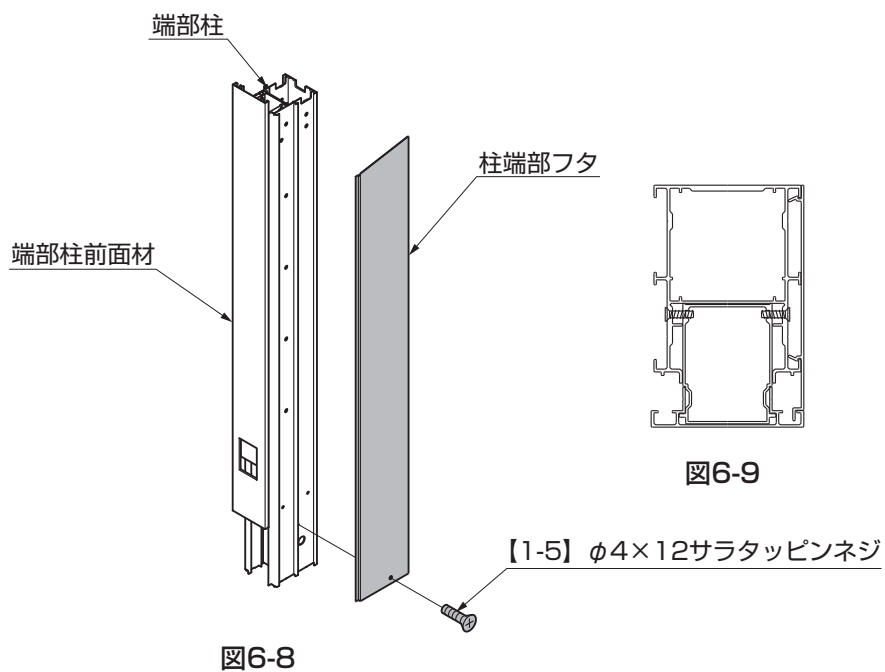
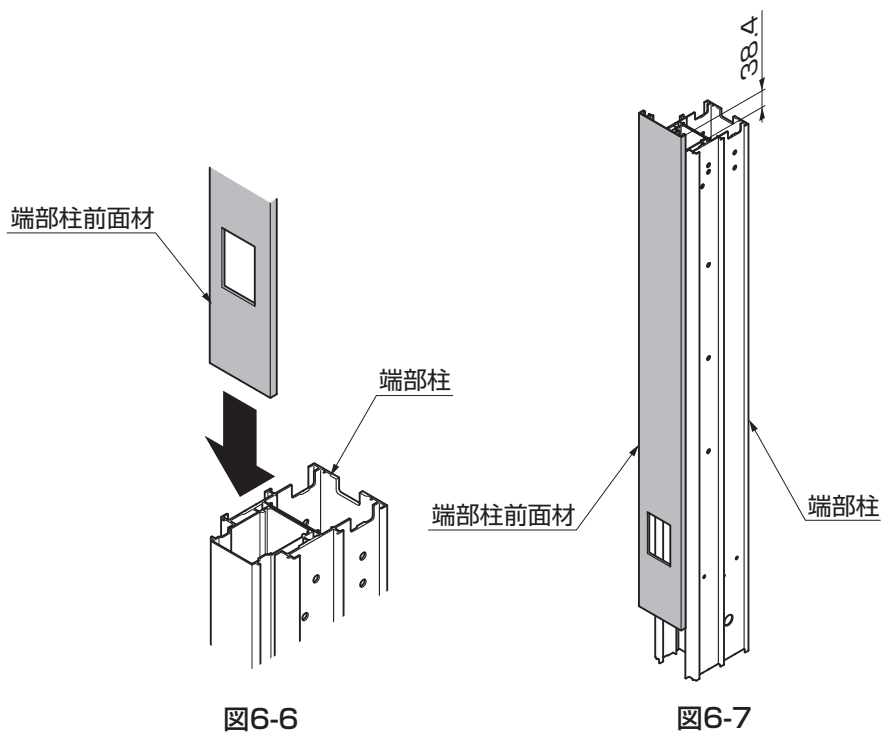
図6-5

①施工するサイズに合わせて切断、加工してください。

ポイント

- 柱を埋込む場合のみ、φ13の貫通穴 (※2) をあけてください。

6-3 端部柱の組立て



7. 桁組付金具の取付け

7-1 柱－桁組付金具の取付け

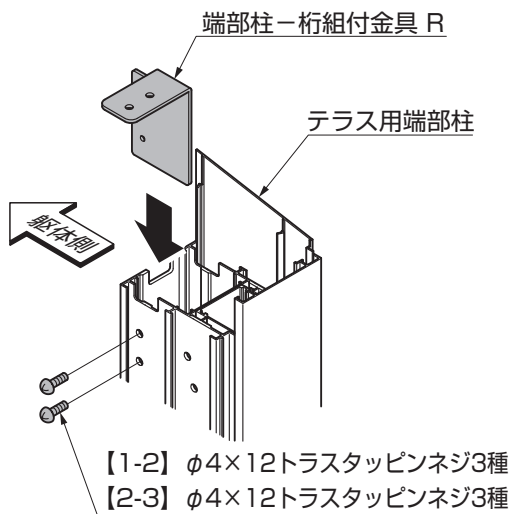


図7-1

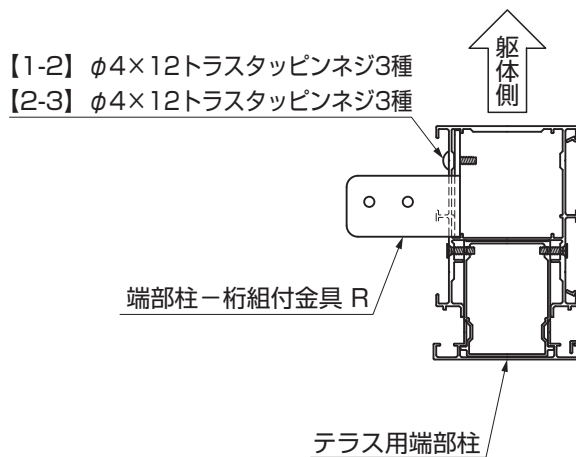


図7-2

①端部柱－桁組付金具をテラス用端部柱に、【1-2】または【2-3】で取付けてください。

ポイント

●端部柱－桁組付金具は、左右取付方向があります。

7-2 中間柱－桁組付金具の取付け

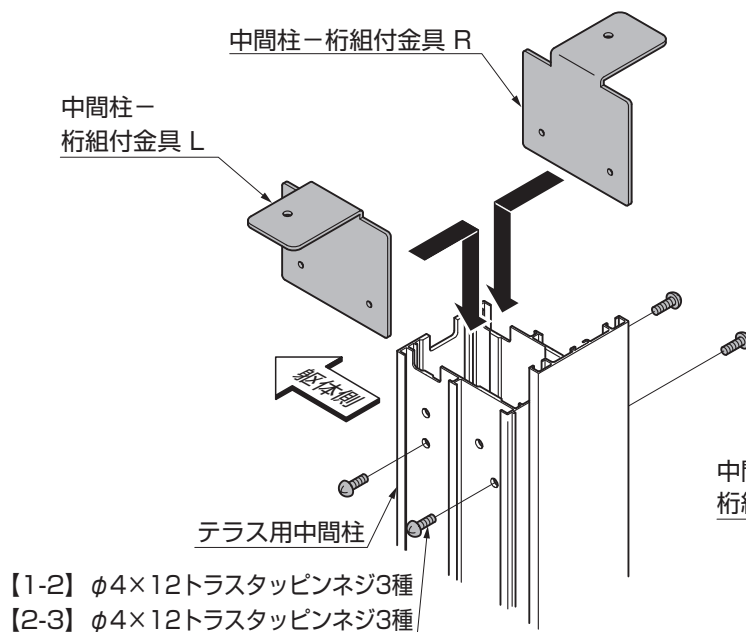


図7-3

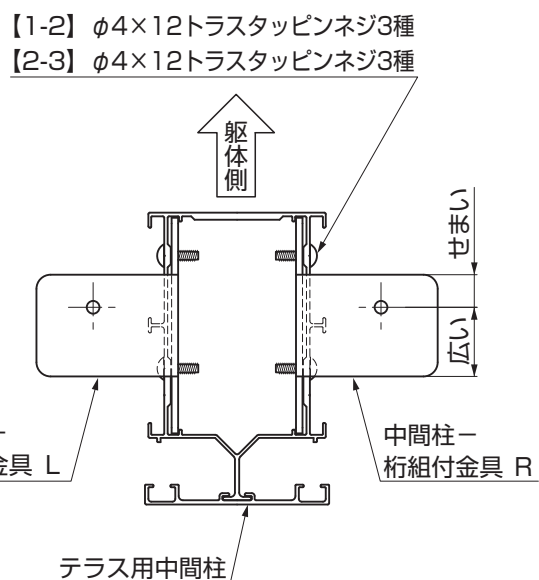


図7-4

①テラス用中間柱に中間柱－桁組付金具を、【1-2】または【2-3】で取付けてください。

ポイント

●中間柱－桁組付金具には、左右取付方向があります。

8. 基本仕様 柱の建込み

8-1 柱を埋込む場合の柱の建込み

(1) 柱フタの取付け

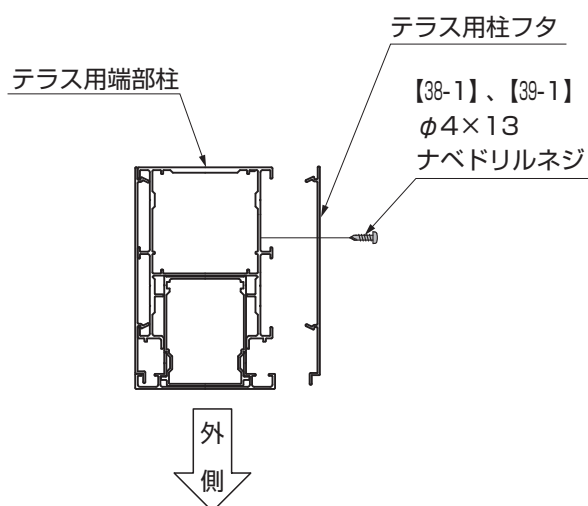


図8-1

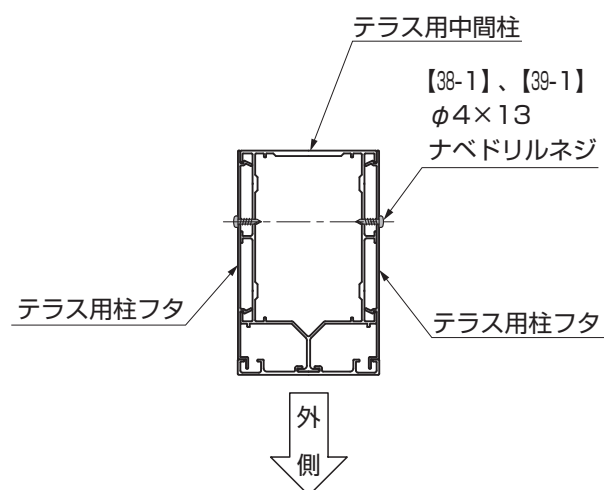


図8-2

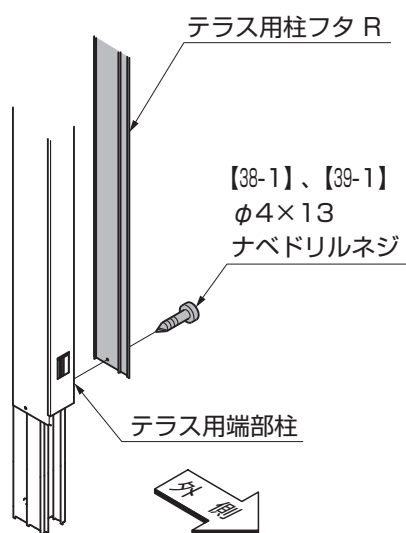


図8-3

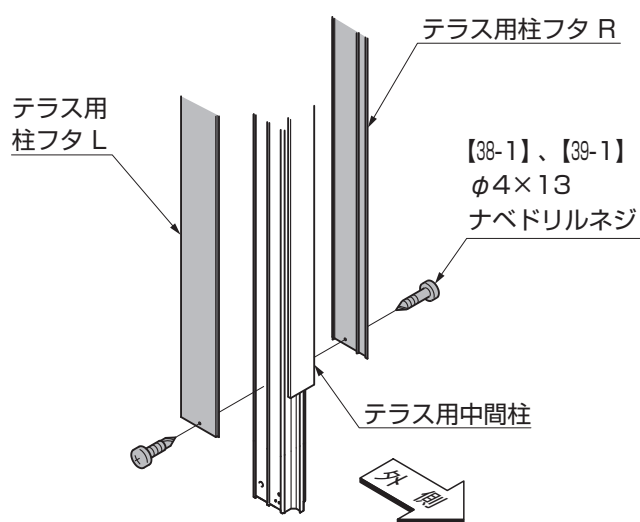
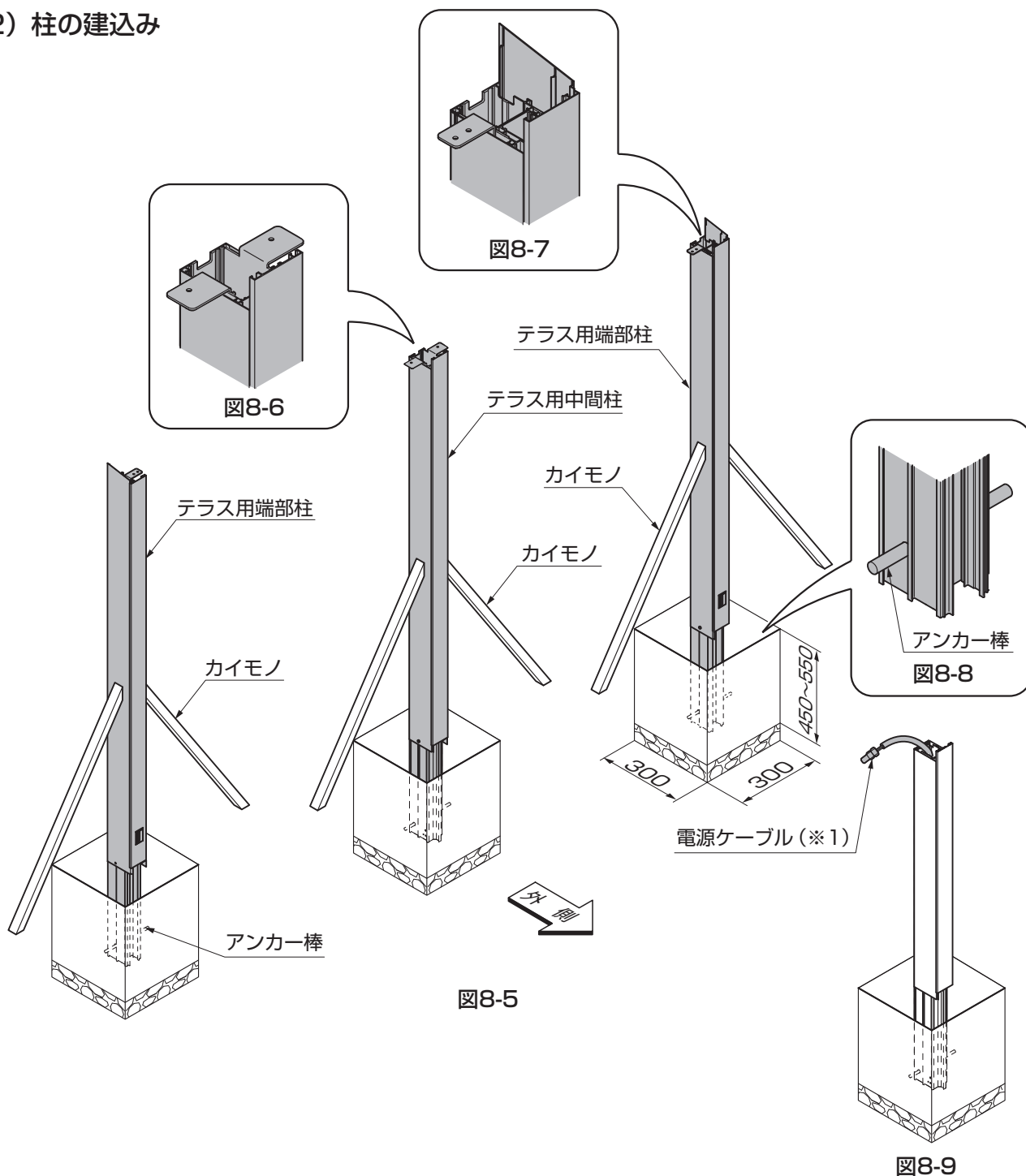


図8-4

①テラス用柱フタをテラス用端部柱、テラス用中間柱にはめ込んだ後【38-1】または【39-1】で取付けてください。

8. (つづき)

(2) 柱の建込み



- ①アンカー棒をテラス用端部柱、テラス用中間柱に差込み、「4 柱の位置出し」を参照して建込んでください。
- ②テラス用端部柱、テラス用中間柱が倒れないようにカイモノなどで仮固定してください。

ポイント

- LED照明 **オプション** を取付ける場合は、「5 本体の施工 2. 基本仕様の配線工事 **オプション**」を参照して柱に電源ケーブルを通し、建込んでください。(※1)
- テラス用端部柱、テラス用中間柱を仮固定するカイモノ等は、現場調達してください。
- 埋込み550mm用で柱ができています。それ以下の寸法で埋込まれる場合は、切断およびアンカー棒通し穴をあけ直してください。

8-2 柱を埋込まない場合の柱の建込み ※現場での柱高さ切詰めが可能です。

(1) 柱の加工

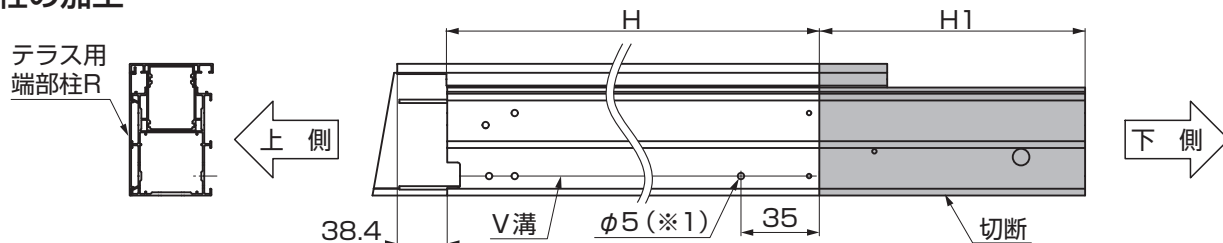


図8-10

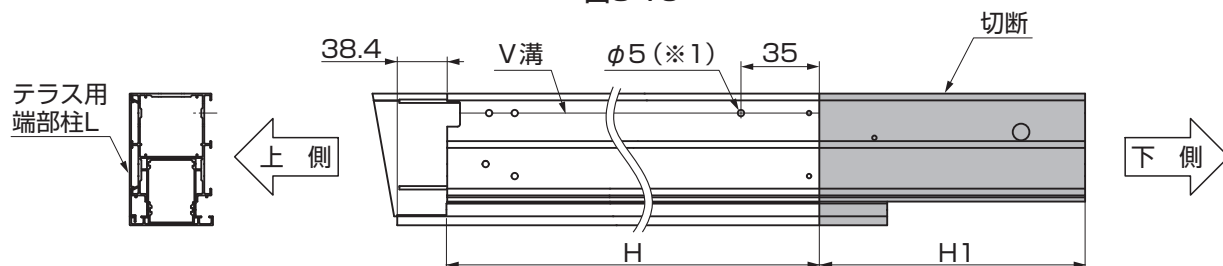


図8-11

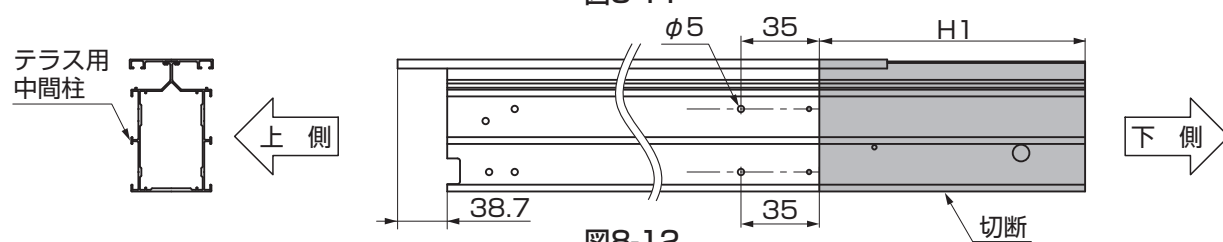


図8-12

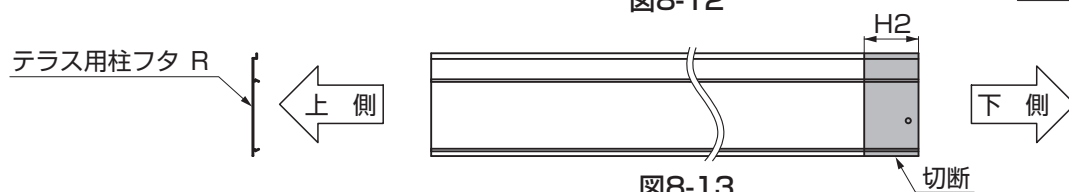


図8-13

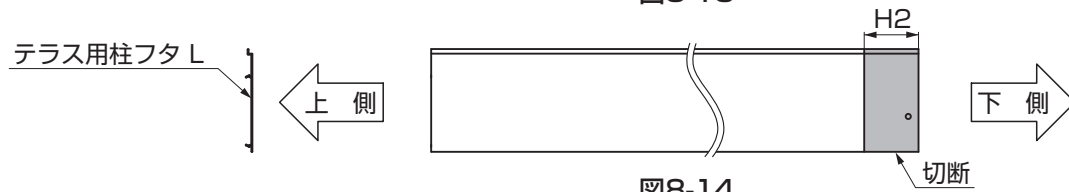


図8-14

表8-1 柱切断寸法

	H1	H2
F.L.施工	553 (=550+3)	53 (=50+3)

※ (3=ベースプレート厚)



図8-15
F.L.施工の場合

(参考)
F.L.より上部分の柱寸法H

	H
標準柱	2580
ロング柱	3280

※柱前面材～柱上の38.4mmは除く。

①表8-1を参照してテラス用端部柱、テラス用中間柱、テラス用柱フタを加工してください。

ポイント

- 記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。
- テラス用端部柱にφ5の貫通穴をあける場合は、テラス用端部柱に取付いている柱フタを一度ずらし、柱フタに穴をあけないようにしてください。(※1)

8. (つづき)

(2) 柱固定ベースで建込む場合

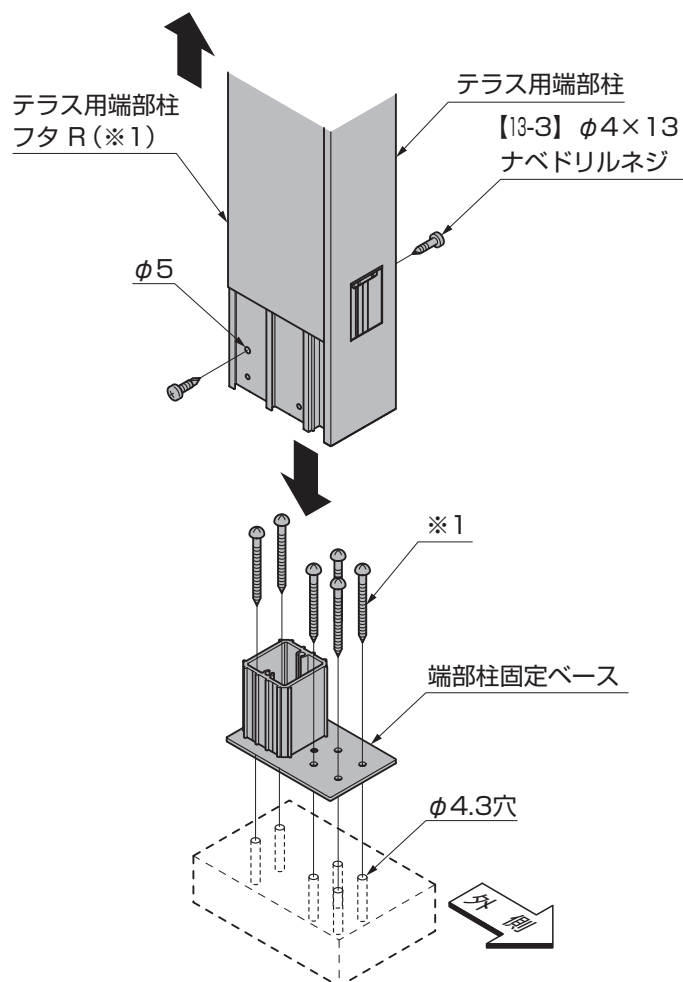


図8-16

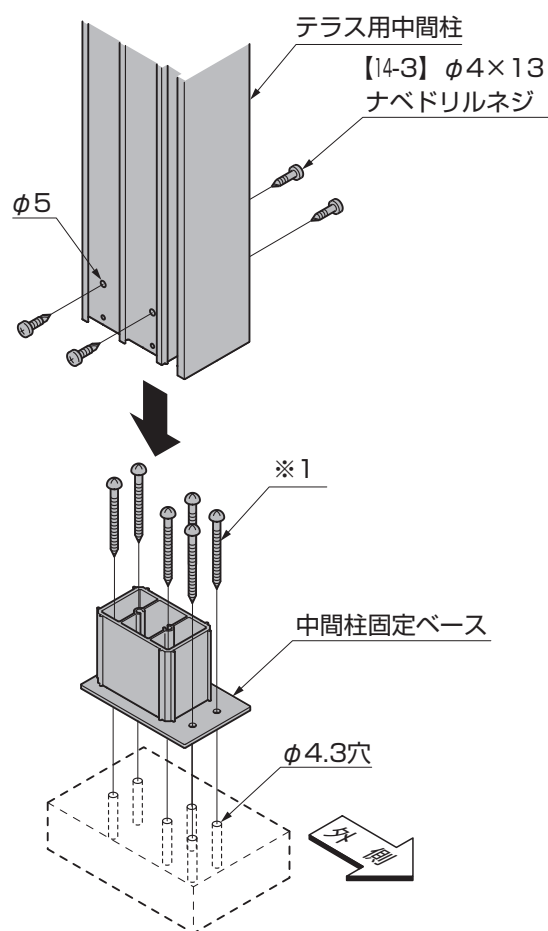


図8-17

表 8-2 端部柱固定ベース取付けネジ一覧

	取付けネジ	穴加工の有無
土間用	【13-2】φ5×35 セルフタップアンカー	φ4.3
デッキ用	【13-1】φ4.5×63 丸木ネジ	不要

表 8-3 中間柱固定ベース取付けネジ一覧

	取付けネジ	穴加工の有無
土間用	【14-2】φ5×35 セルフタップアンカー	φ4.3
デッキ用	【14-1】φ4.5×63 丸木ネジ	不要

①柱固定ベースを固定してください。

③テラス用端部柱、テラス用中間柱を端部柱用固定ベース、中間柱用固定ベースに、【13-3】または、【14-3】で取付けてください。（図8-16、図8-17参照）

ポイント

- 柱固定ベースを固定するネジ（※1）は、表8-1、表8-2を確認してください。
- 柱外固定ベースを固定するネジ（※1）を固定する際に土間の強度を確認してください。
- テラス用端部柱を端部柱固定ベースに【13-3】または、【14-3】で取付ける際に、テラス用端部柱に取付いているテラス用柱フタを一度上にずらし、【13-3】または、【14-3】で取付けた後、元の位置に戻してください。（※1）

(3) 柱外固定ベースで建込む場合

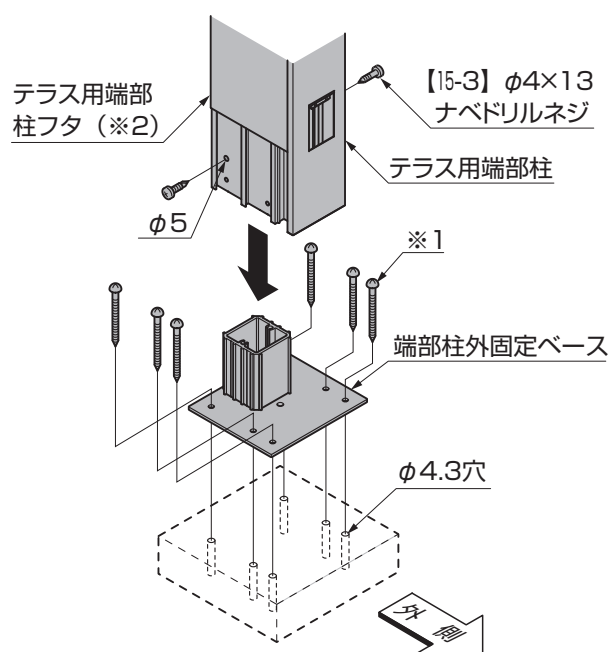


図8-18

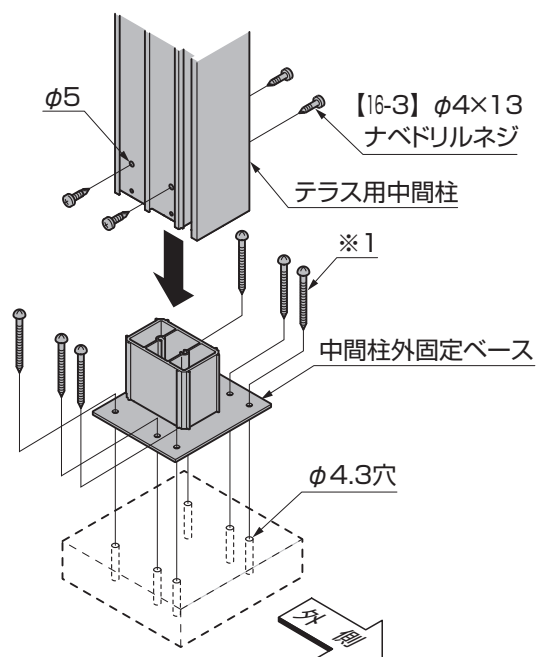


図8-19

表 8-4 端部柱外固定ベース取付けネジ一覧

	取付けネジ	穴加工の有無
土間用	【15-2】φ5×35 セルフタップアンカー	φ4.3
デッキ用	【15-1】φ4.5×63 丸木ネジ	不要

表 8-5 中間柱外固定ベース取付けネジ一覧

	取付けネジ	穴加工の有無
土間用	【16-2】φ5×35 セルフタップアンカー	φ4.3
デッキ用	【16-1】φ4.5×63 丸木ネジ	不要

①柱外固定ベースを固定してください。

②テラス用端部柱、テラス用中間柱を端部柱外固定ベース、中間柱外固定ベースに、【15-3】または【16-3】で取付けてください。(図8-18、図8-19参照)

ポイント

- 柱外固定ベースを固定するネジ(※1)は、表8-4、表8-5を確認してください。
- 柱外固定ベースを固定するネジ(※1)を固定する際に土間の強度を確認してください。
- テラス用端部柱を端部柱外固定ベースに【15-3】または【16-3】で取付ける際に、テラス用端部柱に取付いているテラス用柱フタを一度上にずらし【15-3】または【16-3】で取付けた後、元の位置に戻してください。(※2)

(4) LED照明を取付ける場合 オプション

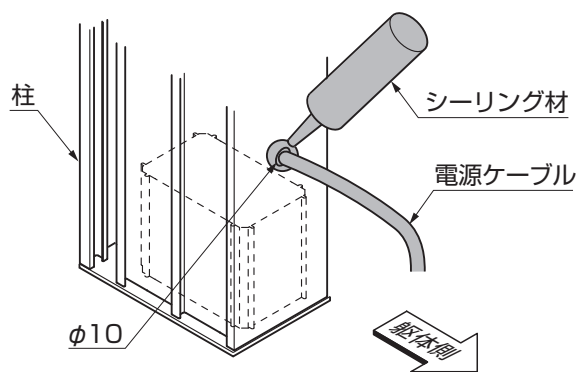


図8-20

ポイント

- LED照明 **オプション** を取付ける場合は、「**5 本体の施工** 2. 基本仕様の配線工事 **オプション**」を参照してください。
- LED照明 **オプション** を下部から配線する場合は、電源ケーブルを通す柱の柱固定ベースを避ける位置にφ10の穴をあけ、電源ケーブルを通してください。(図8-20参照)
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

8. (つづき)

8-3 入隅の場合 ※図は右入隅の場合を示します。左入隅の場合は対称です。

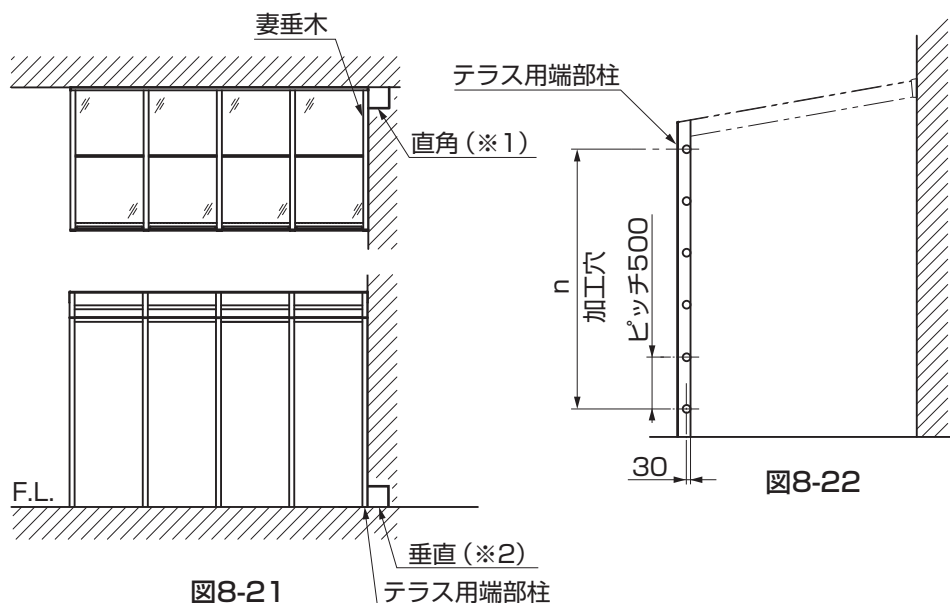


図8-21

表8-2

	加工穴n
標準柱	6
ロング柱	7

図8-22

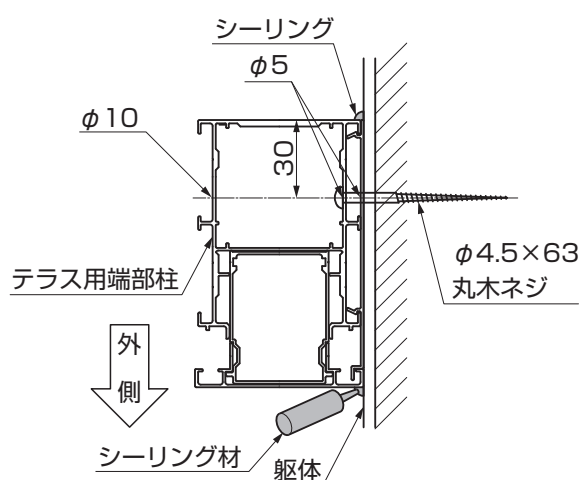


図8-23

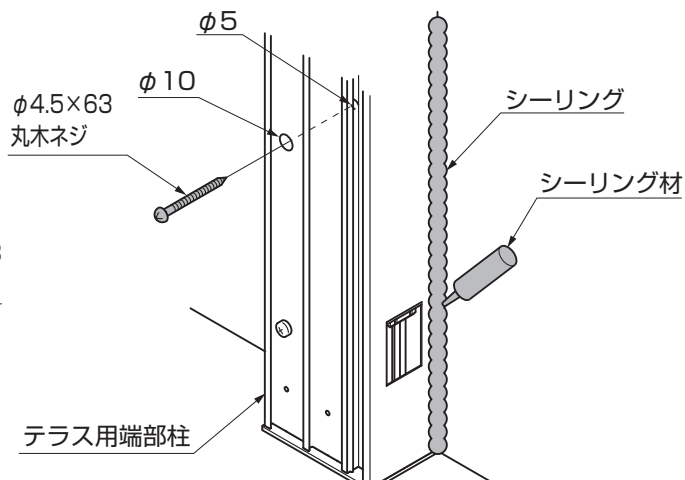


図8-24

ポイント

- 躯体外壁の直角度(※1)、垂直度(※2)に狂いが生じている場合は、取付けることができませんので、修正してください。修正時の部材については、現場で手配してください。(図8-21参照)

- ① 入隅側のテラス用端部柱に、φ10、φ5の穴をあけてください。(図8-22、図8-23、表8-2参照)
- ② テラス用端部柱と躯体を、「φ4.5×63丸木ネジ」で取付けてください。(図8-23、図8-24参照)

ポイント

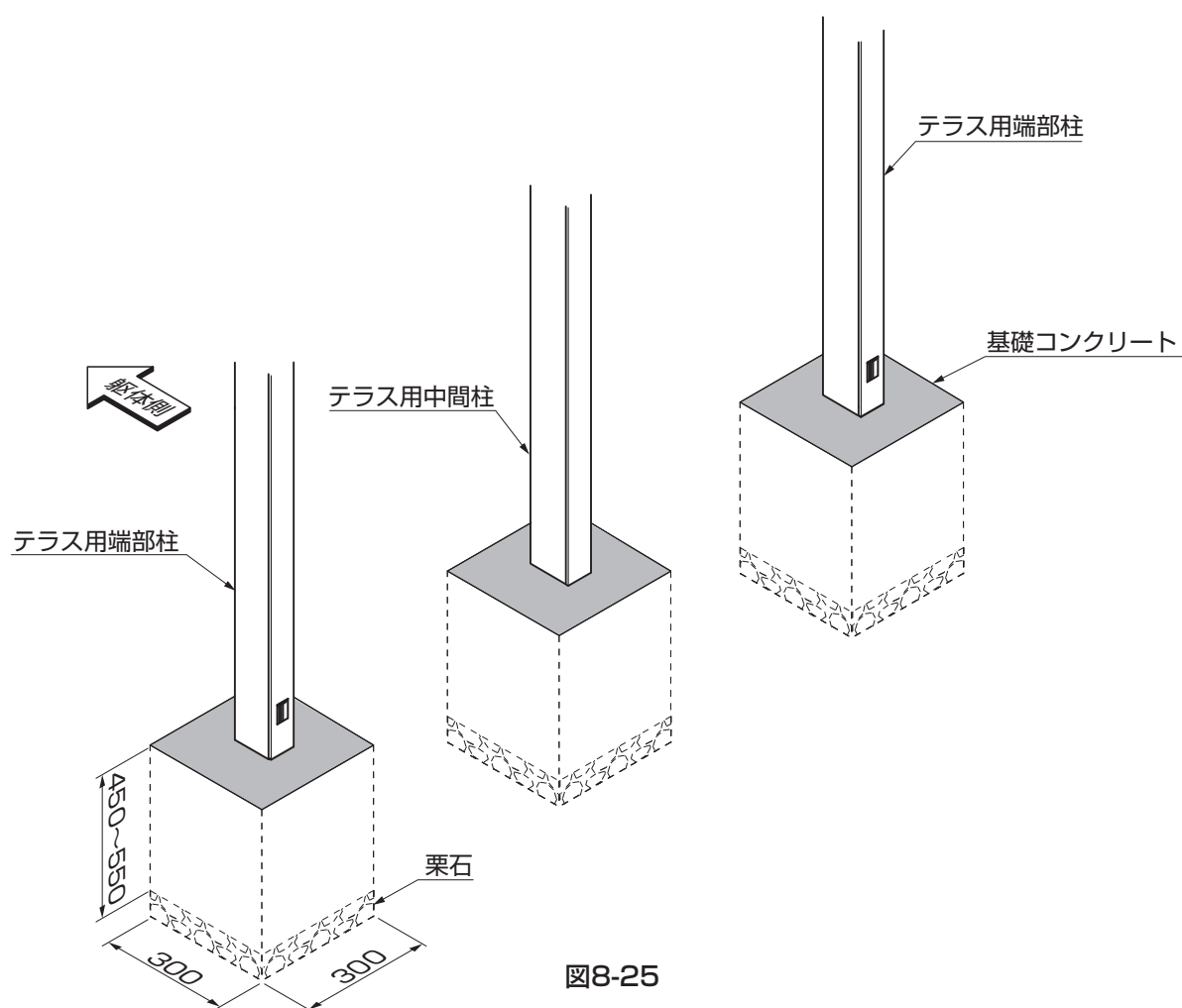
- 「φ4.5×63丸木ネジ」は、現場で手配してください。

- ③ テラス用端部柱と躯体の取合せ部にシーリングをしてください。(図8-24参照)

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。
- 入隅側のシーリング材は、現場で手配してください。

8-4 コンクリートの打設



①基礎コンクリートを打設してください。

ポイント

- 埋込み550mm用で柱ができています。それ以下の寸法で埋込まれる場合は、切断およびアンカー棒通し穴をあけ直してください。

9-3 連棟用腰壁用ベース材の加工 ※連棟の場合の作業です。

表9-3 腰壁用ベース材寸法

連棟間口	基本				連棟			
	間口	L寸法	A 連結部カット寸法	a カット寸法	間口	L寸法	B 連結部カット寸法	b カット寸法
3.5間	2.0	3963	101.5	10	1.5	3163	171.5	80
4.0間	2.5	5163	231.5	110	1.5	3163	171.5	50
4.5間	3.0	5963	161.5	10	1.5	3163	171.5	20
5.0間	2.5	5163	231.5	50	2.5	5163	231.5	50
5.5間	3.0	5963	161.5	50	2.5	5163	231.5	120
6.0間	3.0	5963	161.5	20	3.0	5963	161.5	20

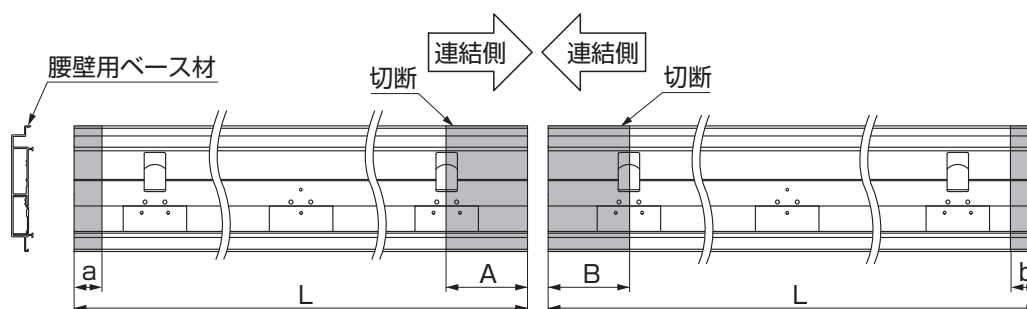


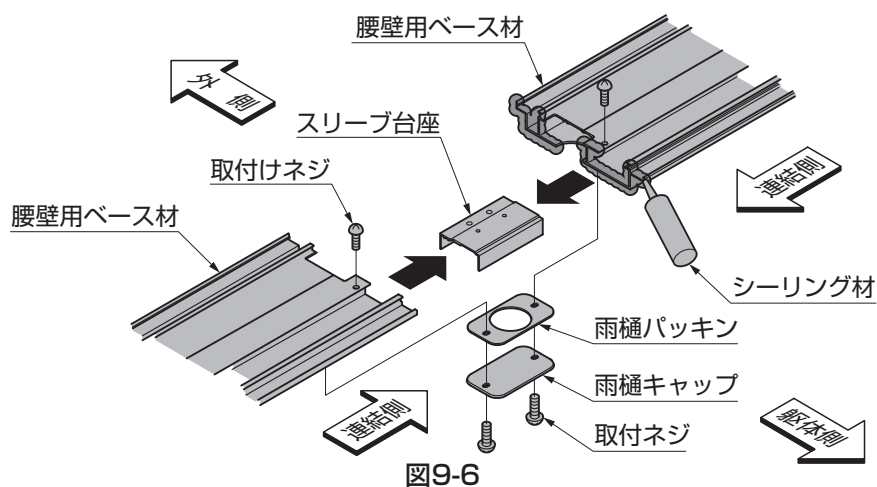
図9-5 腰壁用ベース材の加工

- ①連結部分の雨樋パッキンと雨樋穴ふさぎキャップははずしておいてください。
- ②連結部分のスリーブ台座をはずしておいてください。
- ③腰壁用ベース材を、表9-3の指示寸法で切断してください。

ポイント

- 記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

9-4 連棟用腰壁用ベース材の組立て ※連棟の場合の作業です。



- ①腰壁用ベース材にシーリングをしてください。
- ②連結部分から取外したスリーブ台座をスライドさせ腰壁用ベースに差し込み、取外したネジで取付けます。
- ③連結部分の雨樋パッキンと雨樋穴ふさぎキャップを取付けてください。

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

9. (つづき)

9-5 側面から排水する場合の雨樋の取付け ※側面から排水する場合の作業です。

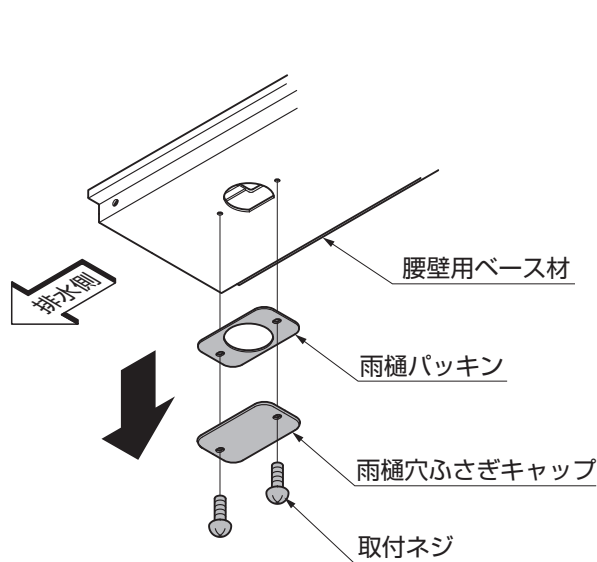


図9-7

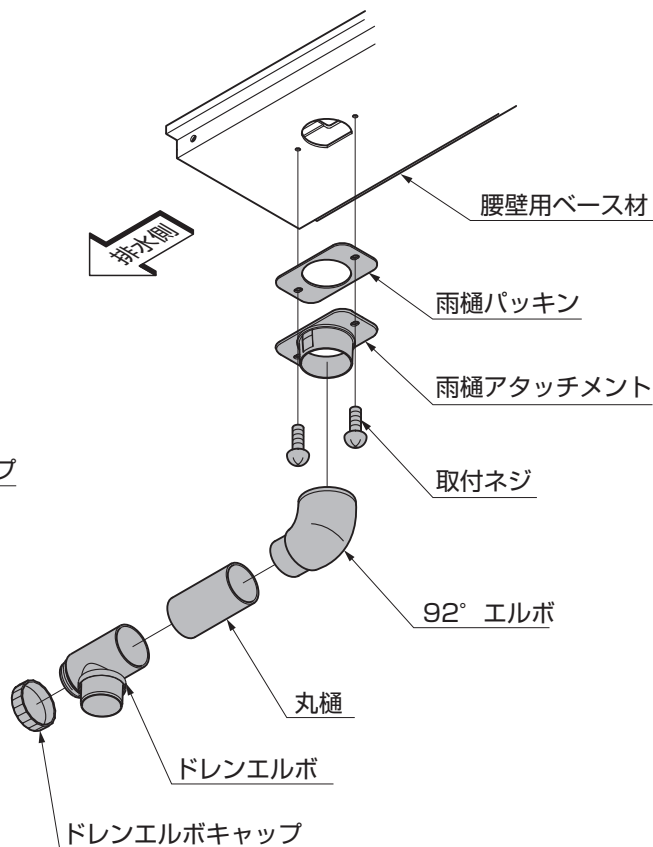
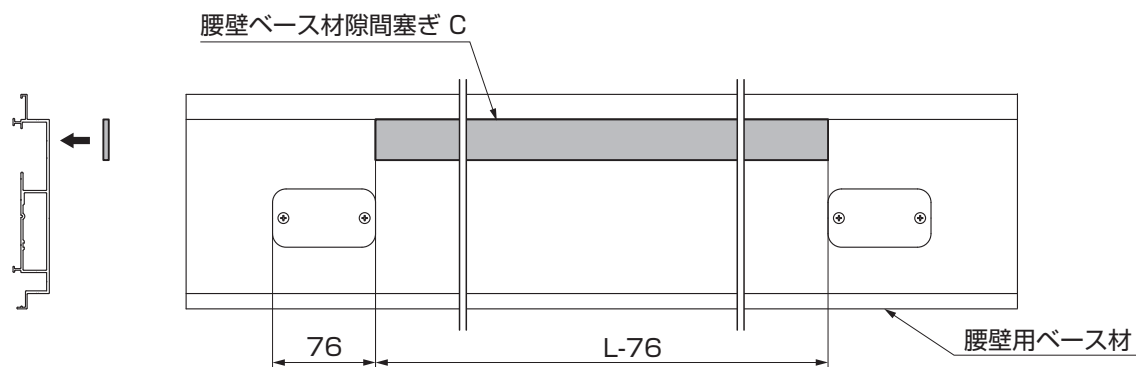


図9-8

- ①腰壁用ベース材から雨樋パッキンと雨樋穴ふさぎキャップを取外してください。
- ②腰壁用ベース材に雨樋パッキンと雨樋アタッチメントを取付けネジで取付けてください。
- ③雨樋アタッチメントに「92° エルボ」「丸樋」「ドレンエルボ」「ドレンエルボキャップ」を取付けてください。

9-6 隙間塞ぎ材の取付け



- ①上図を参照して腰壁ベース材隙間塞ぎ Cを腰壁用ベース材に貼付けてください。

9-7 腰壁用ベース材の調整

(1) 基本の場合の腰壁ベース材の調整

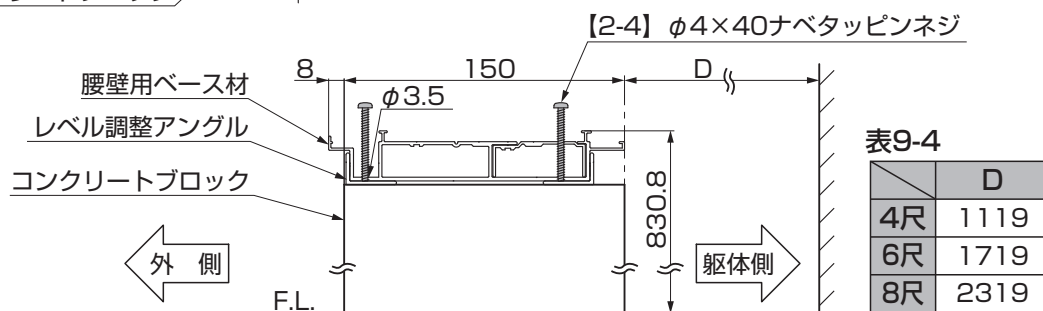
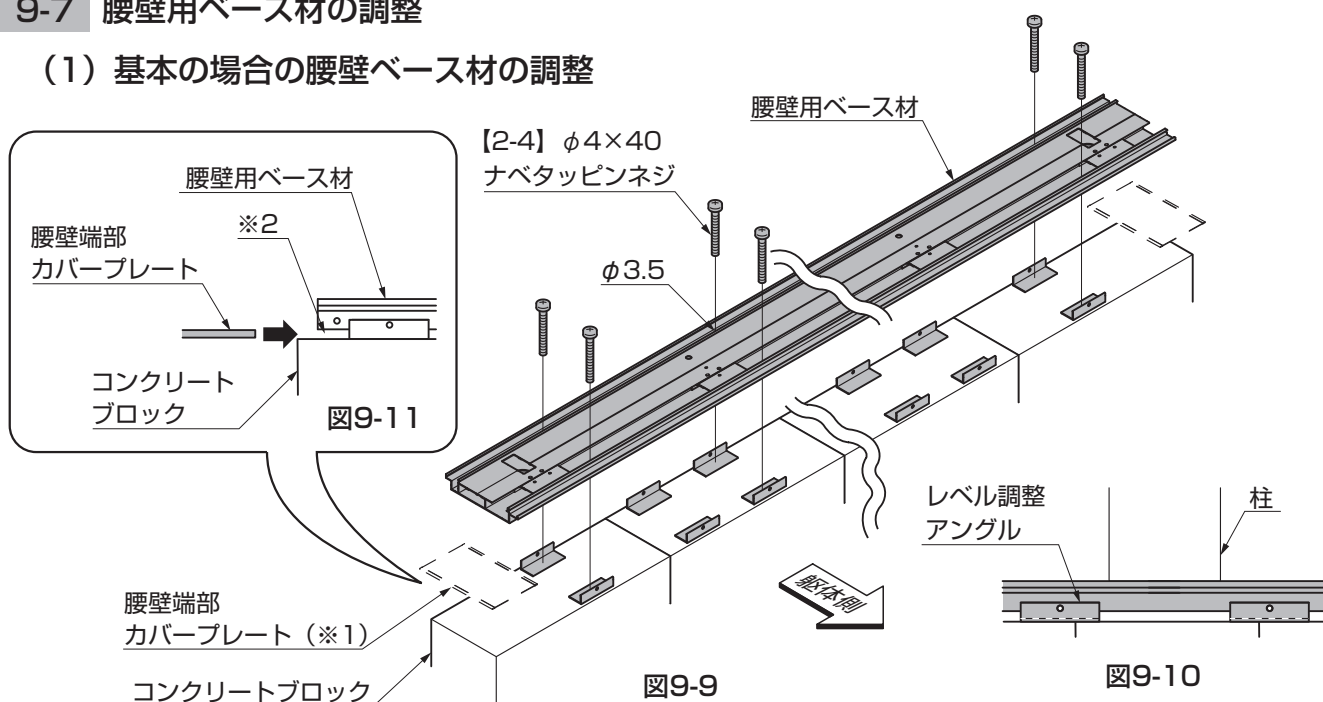
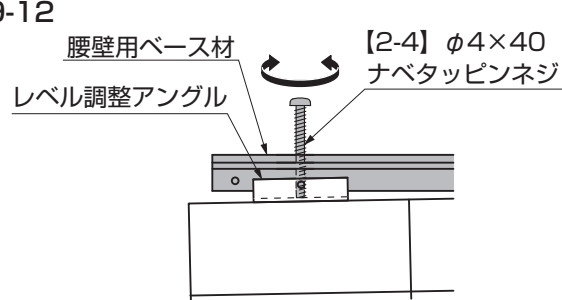
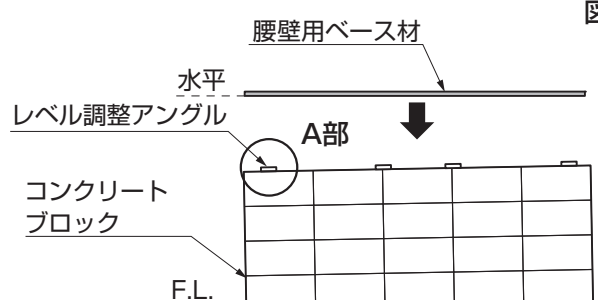


表9-4

	D
4尺	1119
6尺	1719
8尺	2319



- ① コンクリートブロックの上の腰壁用ベース材が取付く位置にレベル調整アングルを配置してください。
- ② 腰壁用ベース材の両端と中心付近のアングル部にφ3.5の穴をあけてください。(図9-9、図9-12参照)
- ③ 【2-4】調整ネジをφ3.5の穴に取付け、腰壁用ベース材が水平になるようにしてください。(図9-13参照)

ポイント

- 腰壁用ベース材には取付ける向きがあります。(図9-9、図9-12参照)
- レベル調整アングルは、端部柱の内側と中間柱の左右付近に取付けてください。(図9-10)
- コンクリートブロックが水平でない場合は、図9-14のように腰壁用ベース材が水平になるように【2-4】を回して調整してください。
- 腰壁端部カバープレート(※1)は、腰壁端部キャップを取付ける際に※2の箇所にはめ込みますので、腰壁用ベース材とコンクリートブロックの間にすき間ができるように調整してください。(図9-11参照)

9. (つづき)

9-7 つづき

(2) LEDを取付ける場合の腰壁ベース材の調整

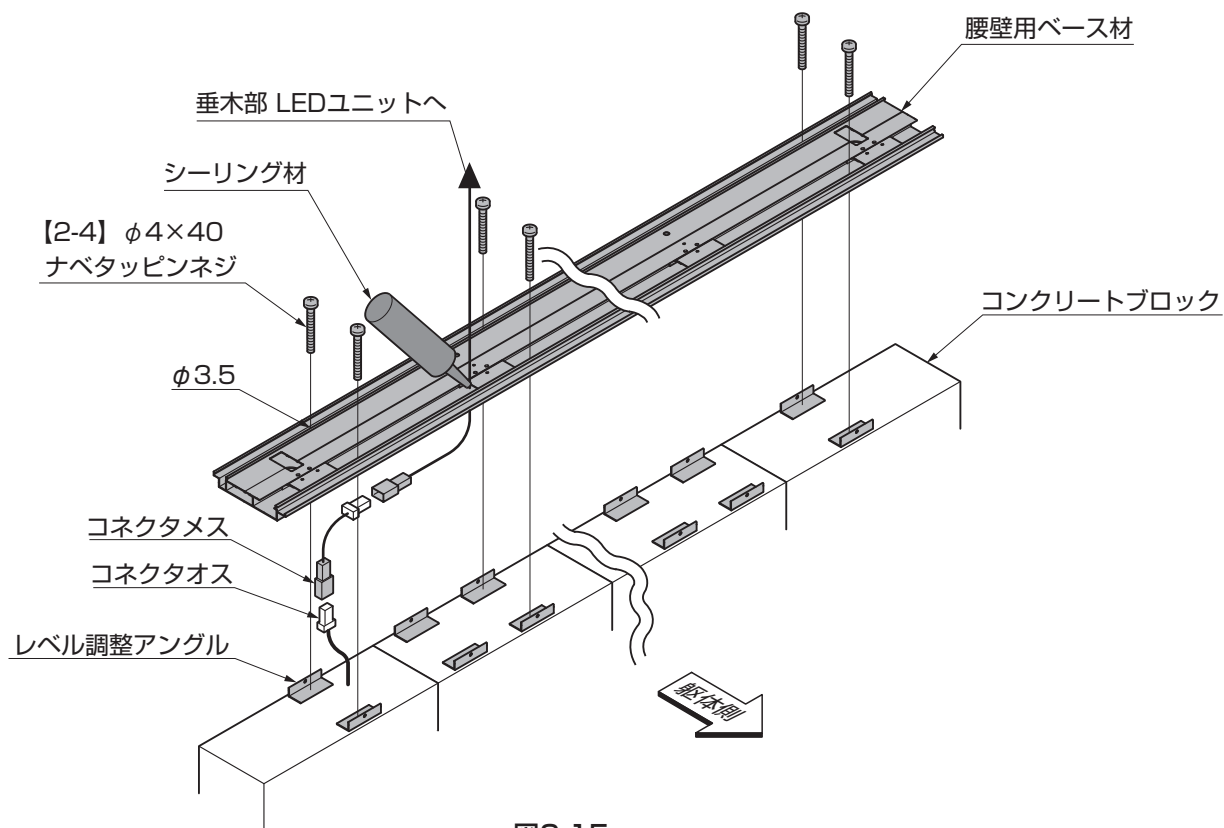


図9-15

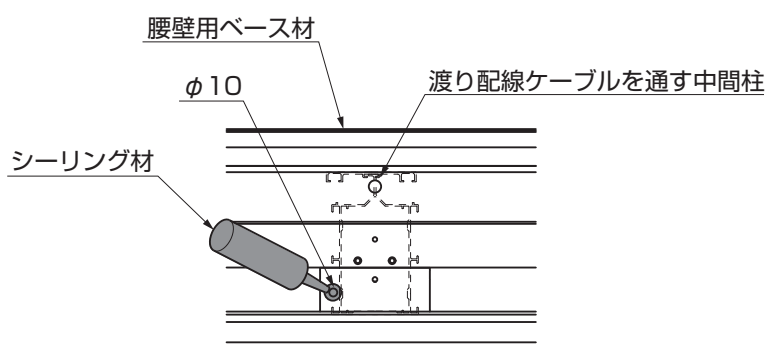


図9-16

- ①腰壁用ベース材に配線用のφ10の穴をあけてください。(図9-15、図9-16参照)
- ②LED照明の結線は図9-15を参照してとりまわしてください。
- ③ケーブルを通した腰壁用ベース材の穴をシーリングでふさいでください。

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。(図9-15、図9-16参照)

9-8 腰壁用ベース材とレベル調整アングルの固定

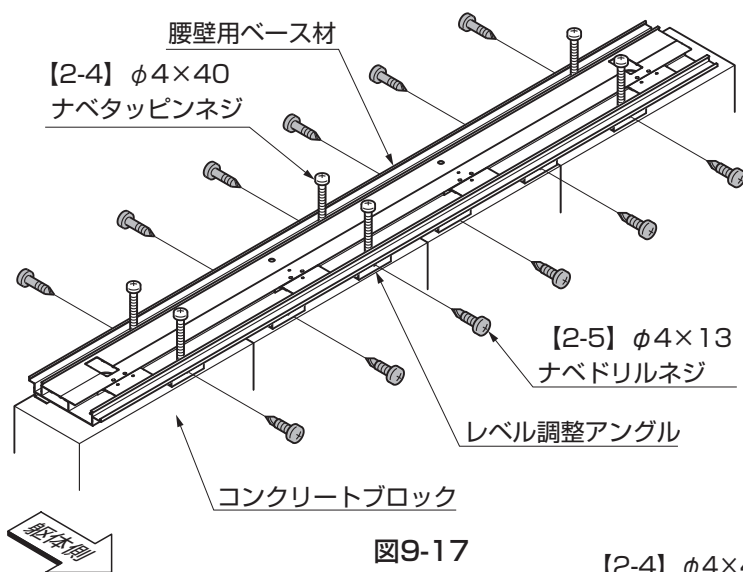


図9-17

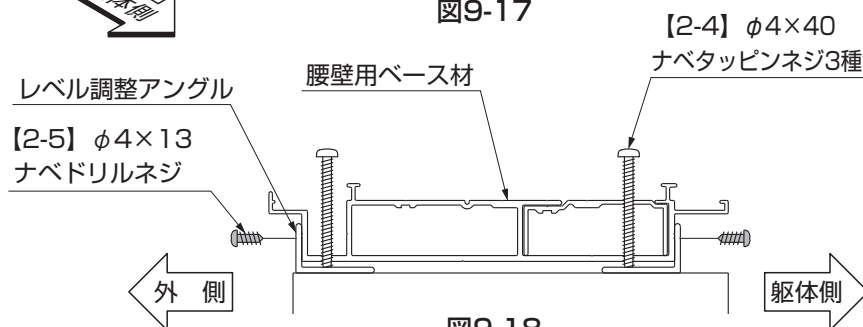


図9-18

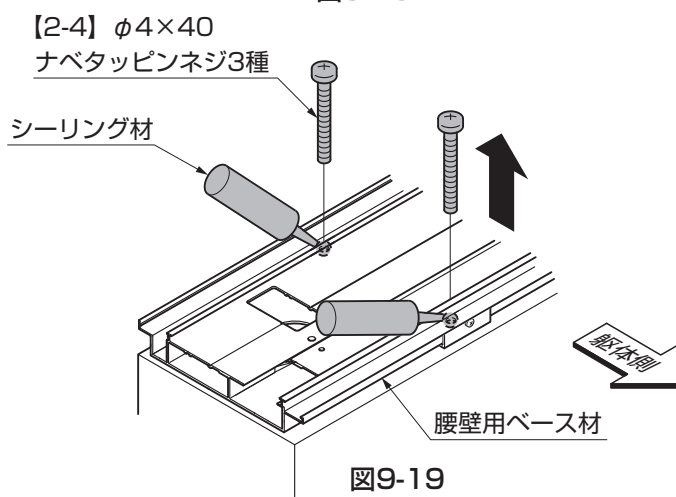


図9-19

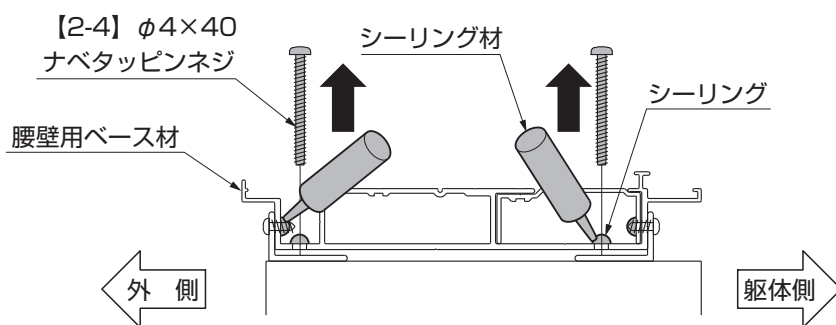


図9-20

- ①腰壁用ベース材をレベル調整アングルに【2-5】で取付けてください。（図9-17、図9-18参照）
- ②取付けたネジ部をシーリングしてください。（図9-20参照）

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

- ③【2-4】調整ネジを取外してください。（図9-19、図9-20参照）
- ④取外したネジ穴をシーリングでふさいでください。（図9-19、図9-20参照）

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

9. (つづき)

9-9 腰壁用ベース材とコンクリートブロックの固定

※この作業はベース材の前後位置調整の為に柱と屋根を取付けた後でも施工可能です。

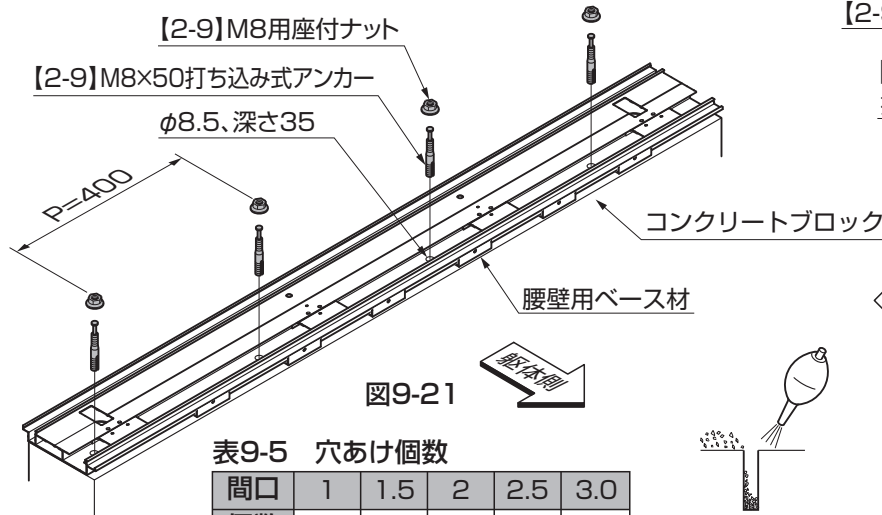


図9-21

表9-5 穴あけ個数

間口	1	1.5	2	2.5	3.0
個数	4	6	8	10	12

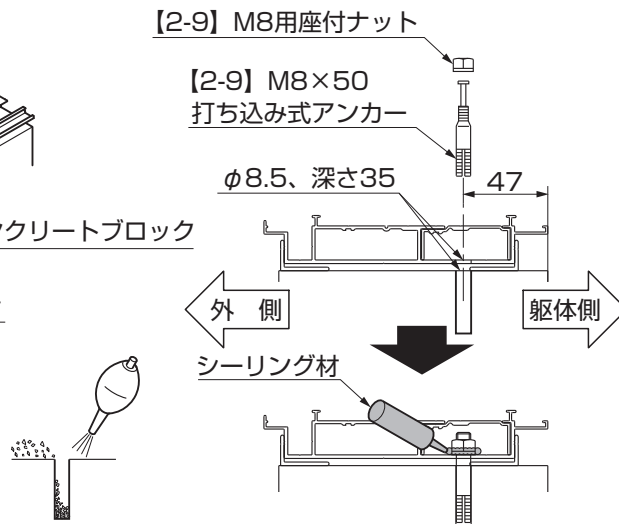


図9-22

図9-23

①コンクリートブロックの縦穴を狙った位置にφ8.5、深さ35の穴をあけてください。(図9-21、図9-23参照)

ポイント

- スリーブ台座に干渉する場合は、穴をあける位置をずらしてください。
- コンクリートに穴をあけた後、穴にたまっている粉を吹き出してください。(図9-22参照)

②腰壁用ベース材をφ8.5の穴に【2-9】で取付けください。

③取付けた【2-9】の周りをシーリングしてください。

ポイント

- ナットを締め込み時、ベース材が変型しない程度で締め込んでください。
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

9-10 LED取付ブラケットの取付け ※LEDを取付ける場合の作業です。

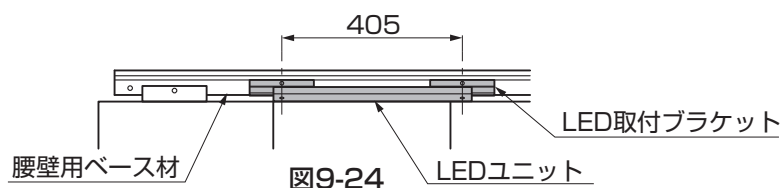


図9-24

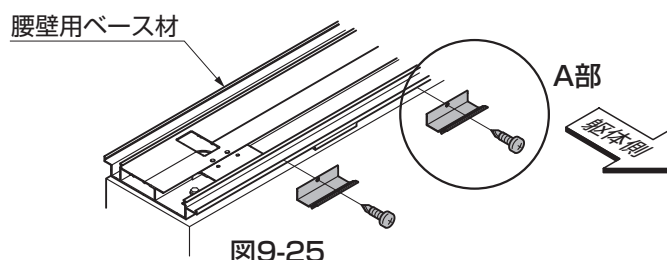


図9-25

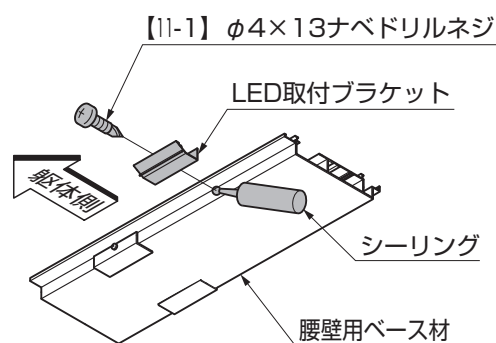


図9-26 A部詳細図

①図9-24を参照してLED取付ブラケットの取付け位置を確認し、シーリングしてください。(図9-26参照)

②LED取付ブラケットを腰壁用ベース材に【11-1】で取付けてください。

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

9-11 LEDユニットの取付け **オプション** ※LED照明を取付ける場合の作業です。

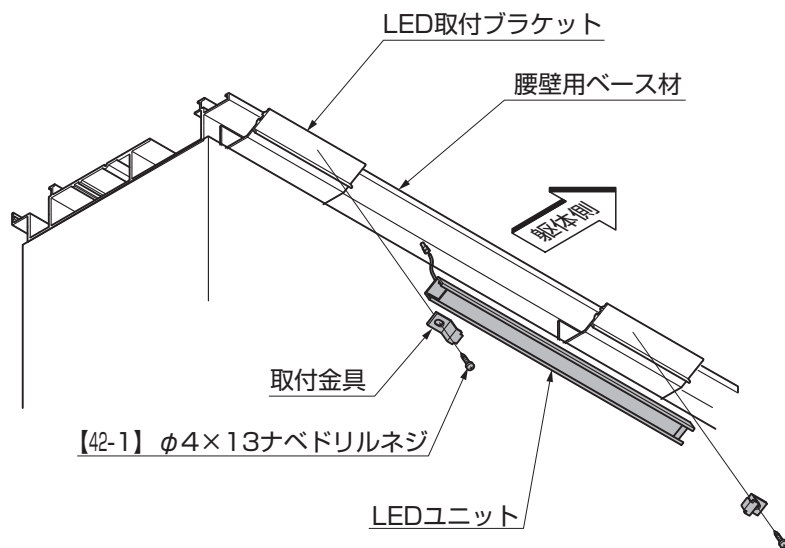


図9-27

①LEDユニットをLED取付ブラケットに取付金具と、【42-1】で取付けてください。

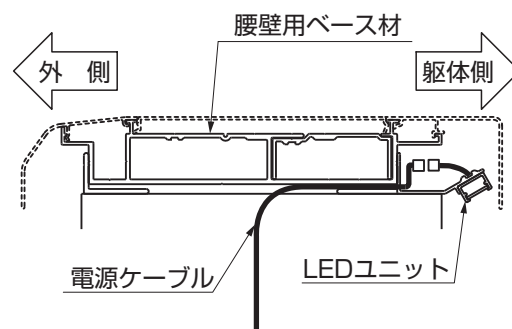


図9-28

9-12 柱スリーブの取付け

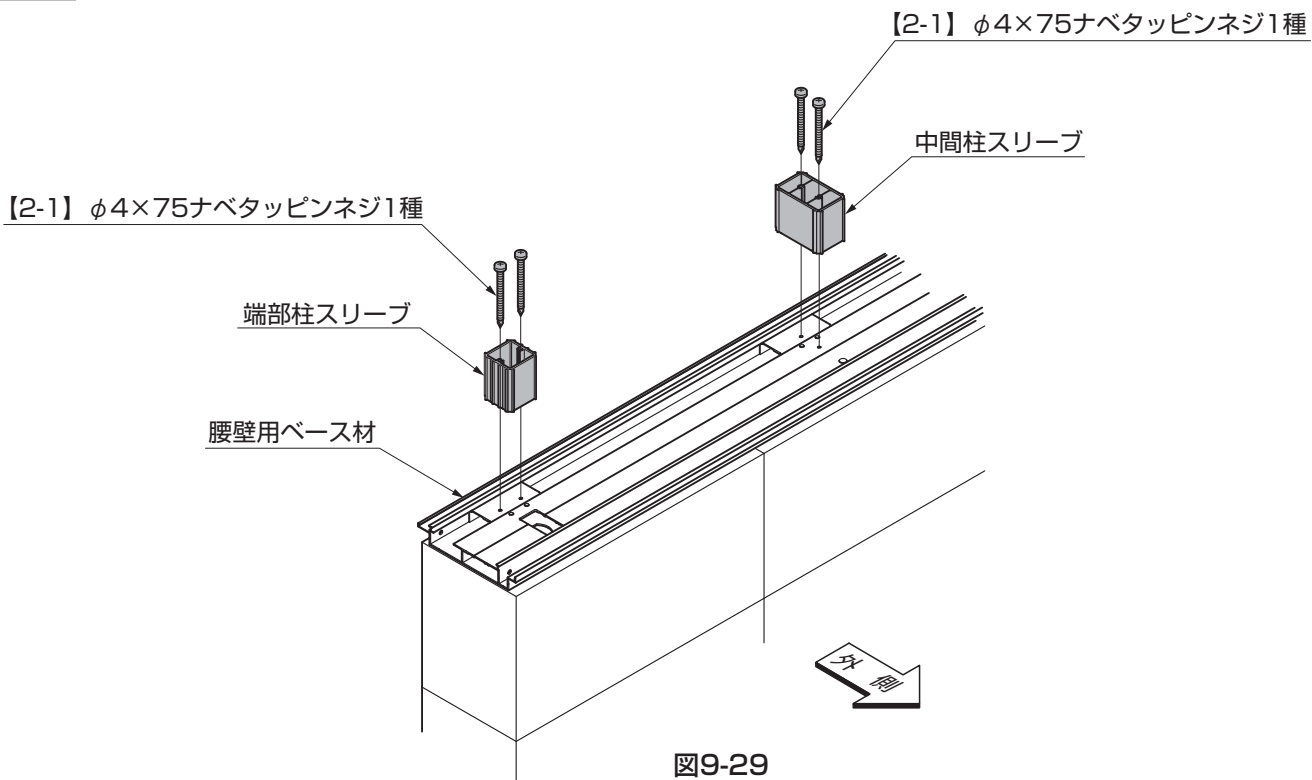


図9-29

①端部柱スリーブを腰壁用ベースに【2-1】で取付けてください。

②中間柱スリーブを腰壁用ベースに【2-1】で取付けてください。

9. (つづき)

9-13 柱の建込み

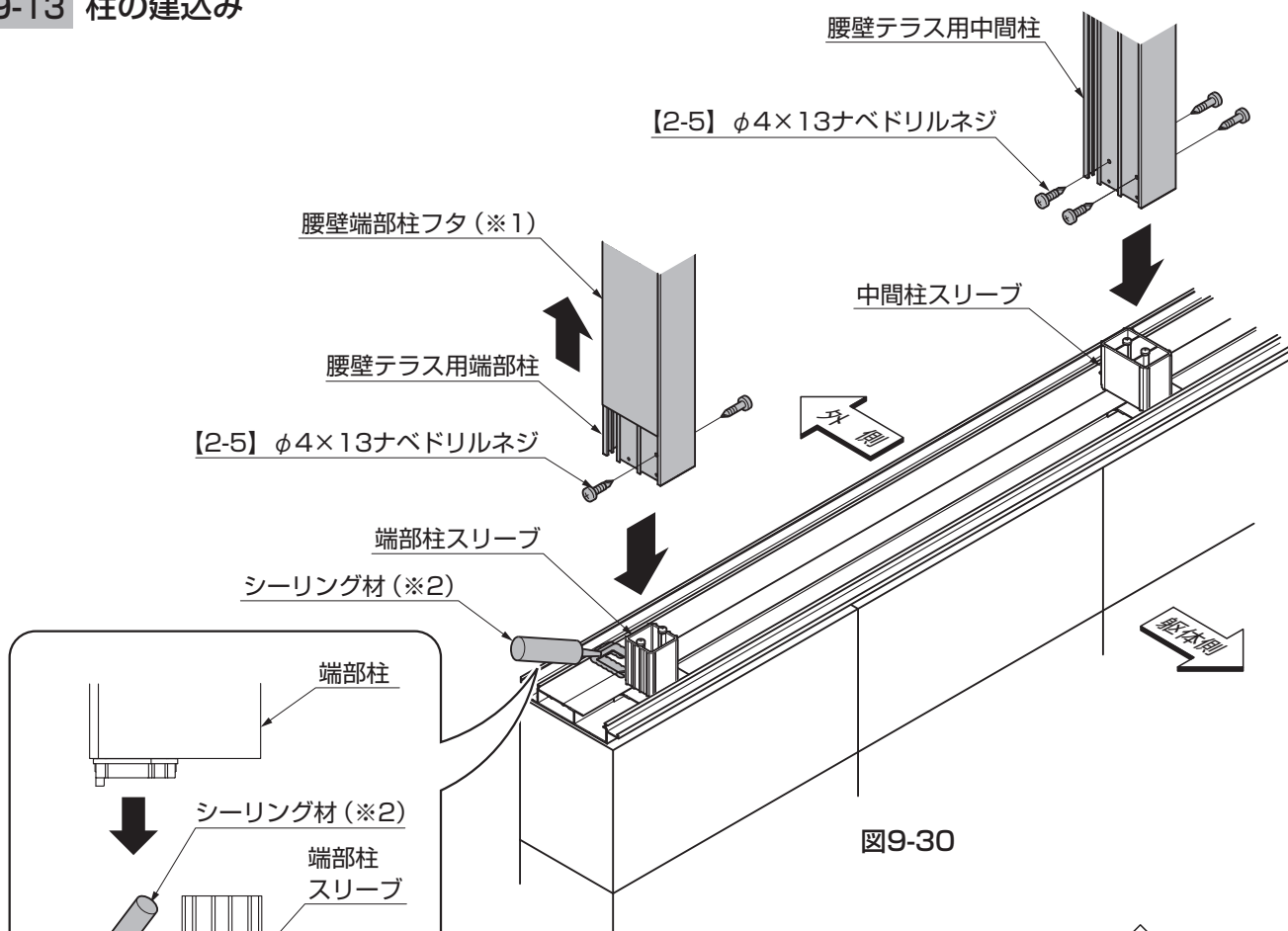


図9-30

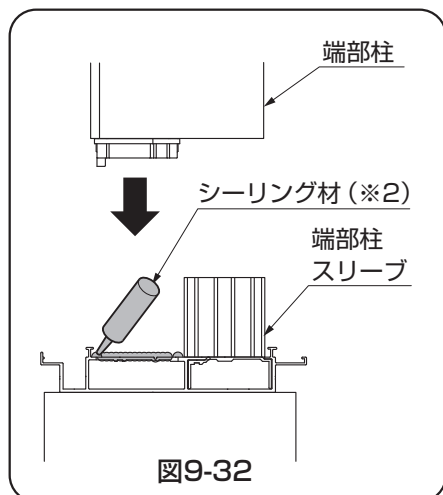


図9-32

(参考)
F.L.より上部分の柱寸法H

	H
標準柱	1755
ロング柱	2455

※柱前面材～柱上の38.4mmは除く。

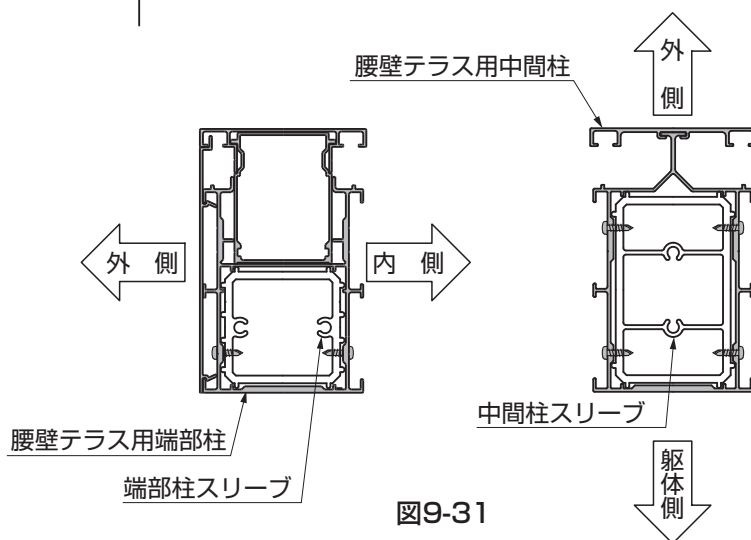


図9-31

- ①腰壁テラス端部柱を端部柱スリーブに、【2-5】で取付けてください。
- ②腰壁テラス中間柱を中間柱スリーブに、【2-5】で取付けてください。
- ③側面排水の場合は、腰壁用ベース材の切欠き口にシーリング材(※2)をしてください。(図9-32参照)

ポイント

- 腰壁テラス用端部柱を端部柱スリーブに【2-5】で取付ける際に、腰壁テラス用端部柱に取付いている腰壁端部柱フタを一度上にずらし、【2-5】で取付けた後、元の位置に戻してください。(※1)
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。(図9-32)

9-14 入隅の場合 ※図は右入隅の場合を示します。左入隅の場合は対称です。

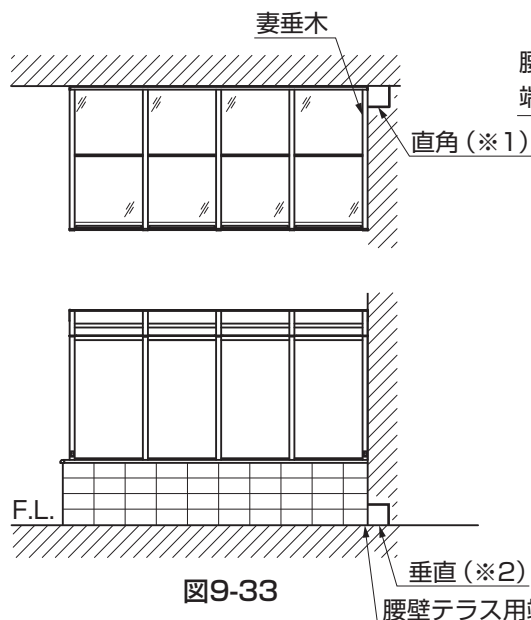


図9-33

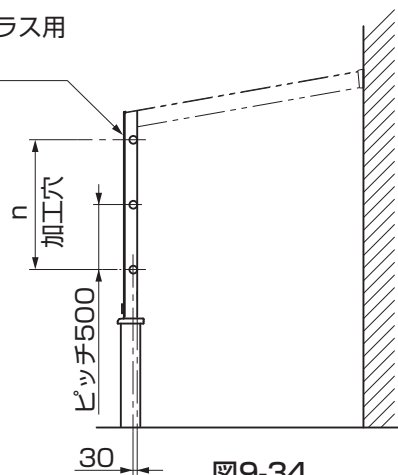


図9-34

表9-6

	加工穴φ
標準柱	4
ロング柱	5

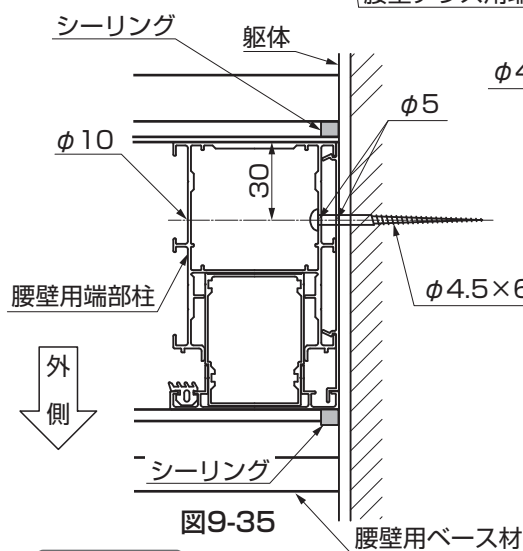


図9-35

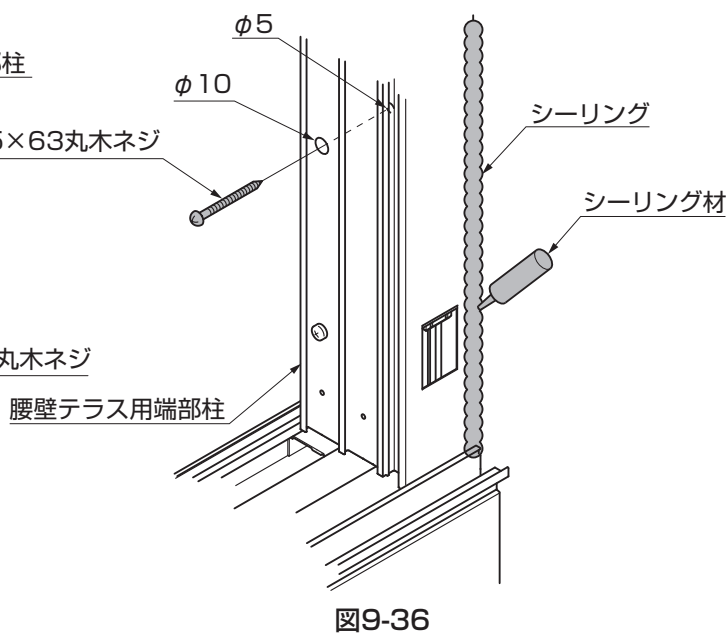


図9-36

ポイント

- 躯体外壁の直角度(※1)、垂直度(※2)に狂いが生じている場合は、取付けることができませんので、修正してください。修正時の部材については、現場で手配してください。(図9-33参照)

- ①入隅側の腰壁テラス用端部柱に、φ10、φ5の穴をあけてください。(図9-34、図9-35、表9-6参照)
- ②腰壁テラス用端部柱と躯体を、「φ4.5×63丸木ネジ」で取付けてください。(図9-35、図9-36参照)

ポイント

- 「φ4.5×63丸木ネジ」は、現場で手配してください。

- ③腰壁テラス用端部柱と躯体の取合せ部にシーリングをしてください。(図9-36参照)

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。
- 入隅側のシーリング材は、現場で手配してください。

10. 桁の組立て

10-1 垂木組付金具の取付け

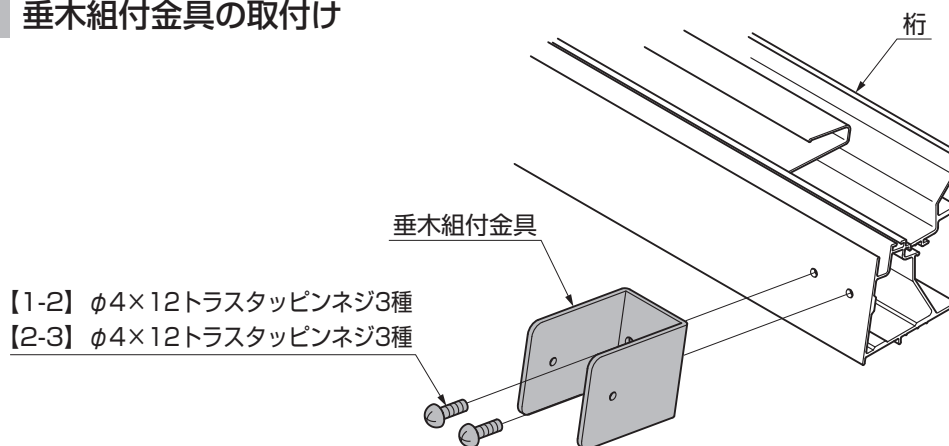
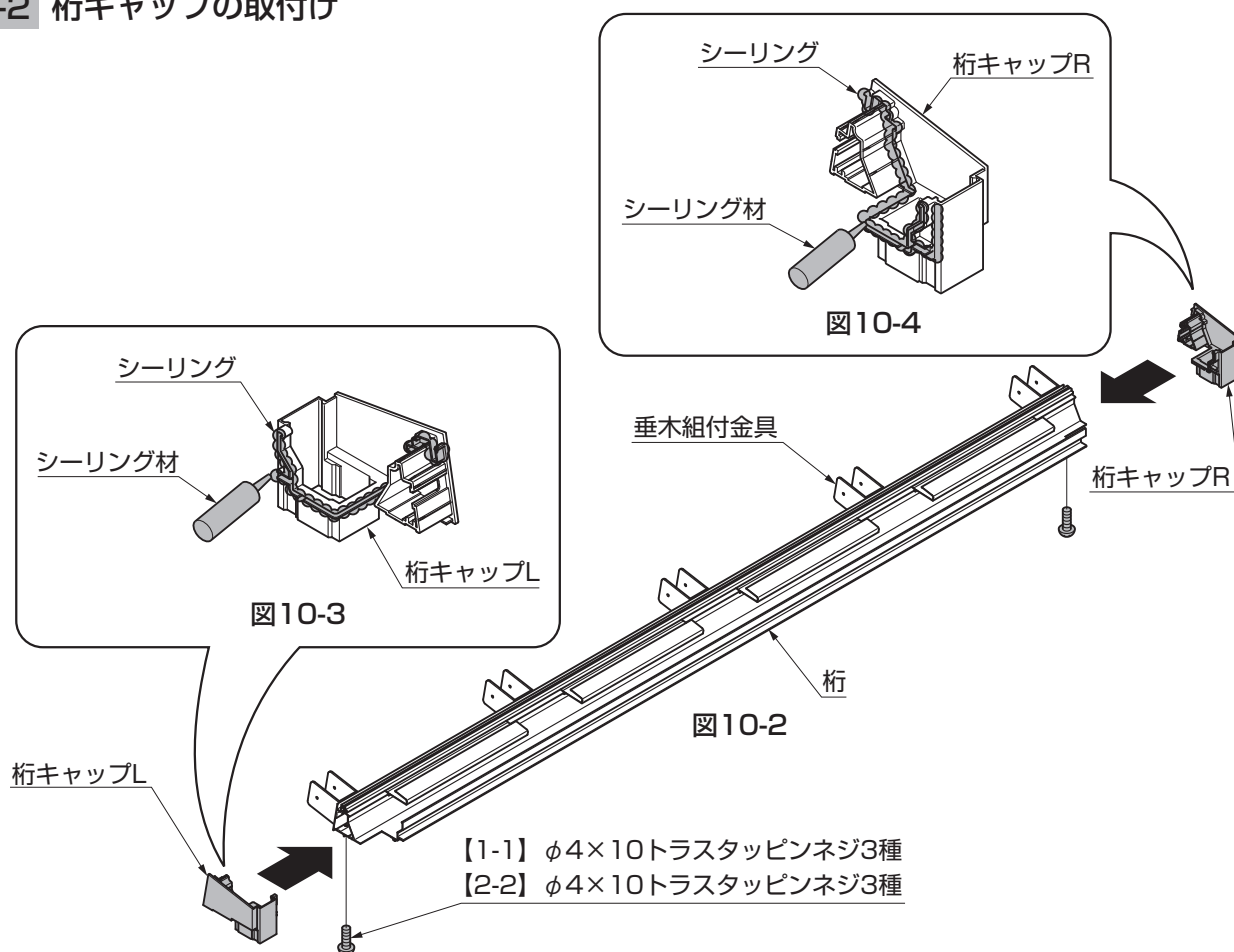


図10-1

①垂木組付金具を桁に、【1-2】または【2-3】で取付けてください。

10-2 桁キャップの取付け



①桁キャップをシーリングしてください。(図10-3、図10-4参照)

ポイント

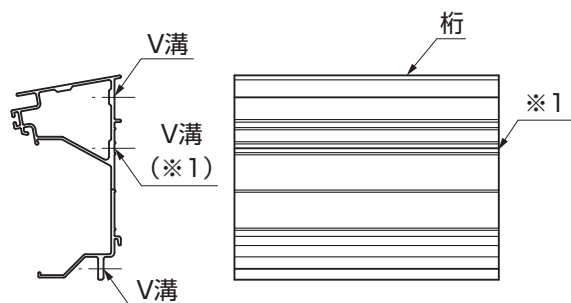
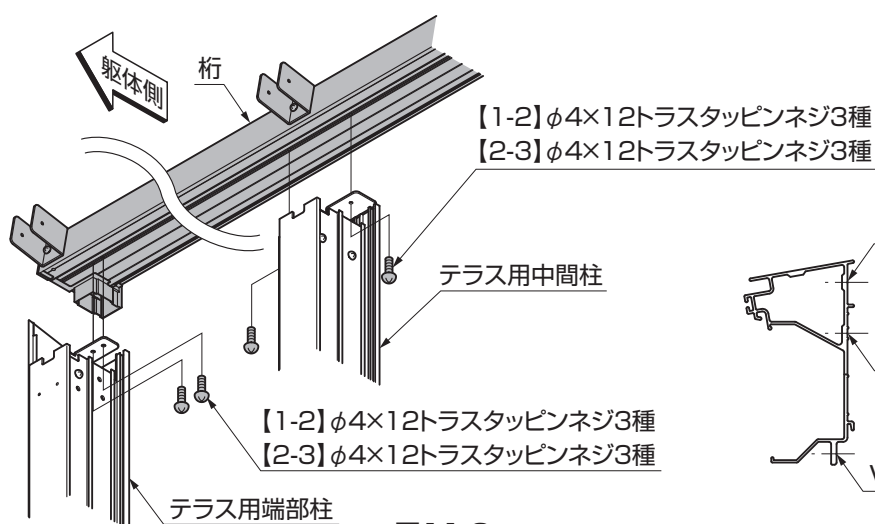
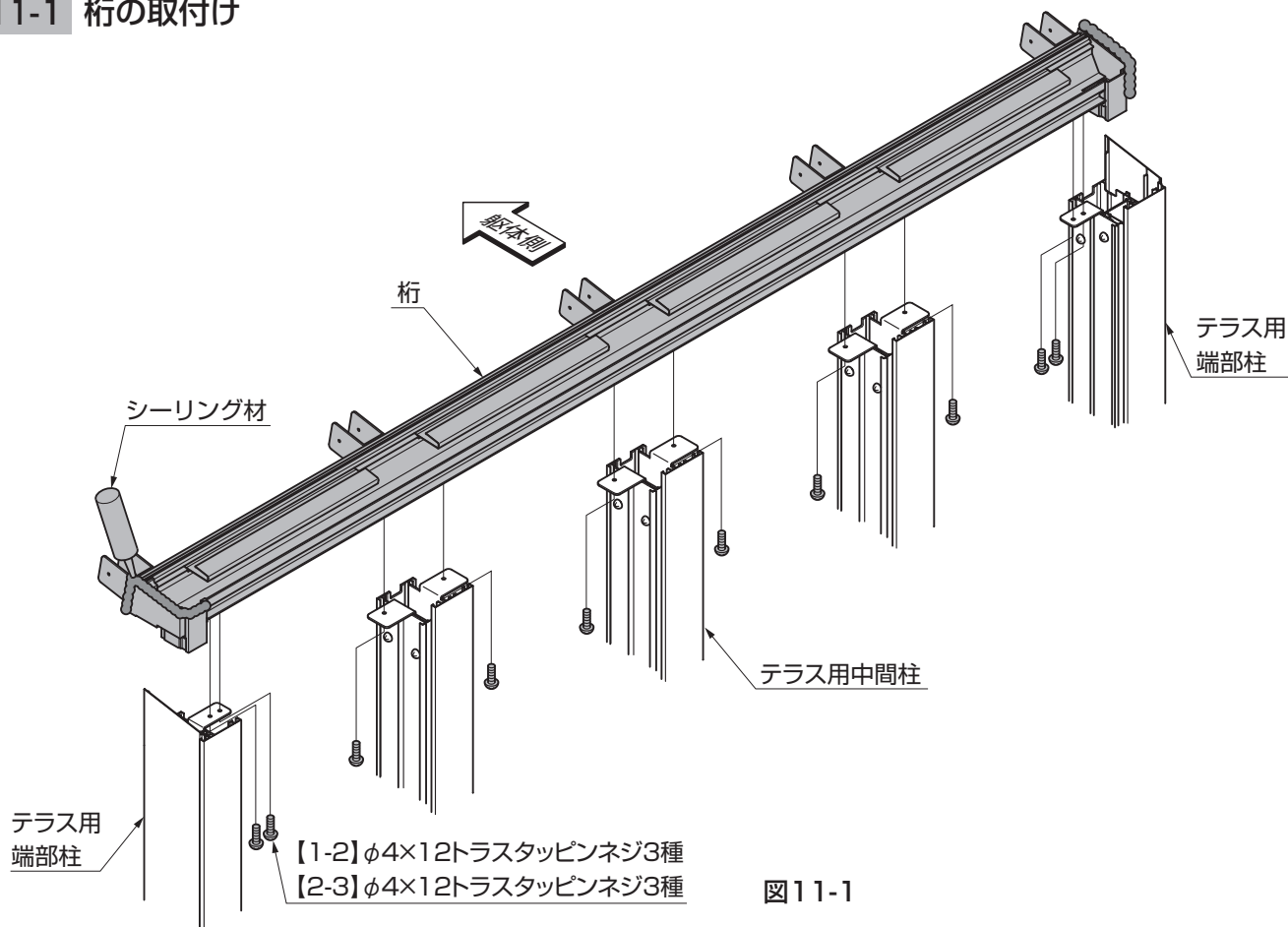
●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

②桁キャップを桁に、【1-1】、【2-2】で取付けてください。

11. 桁の取付け

※連棟の場合は「11-2 連棟時の桁の加工、11-3 連棟用の桁の取付け、11-4 連棟時の垂木組付金具の取付け」と同時に行なう作業です。

11-1 桁の取付け



- ①桁をテラス用端部柱、テラス用中間柱に【1-2】または【2-3】で取付けてください。
- ②桁の端部をシーリングしてください。(図11-1参照)

ポイント

- テラス用端部柱、テラス用中間柱を、桁の3本あるV溝の真中(※1)に取付けてください。(図11-3参照)
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

11. (つづき)

11-2 連棟時の桁の加工 ※連棟の場合の作業です。 ※「11-1 桁の取付け」と同時に行なう作業です。

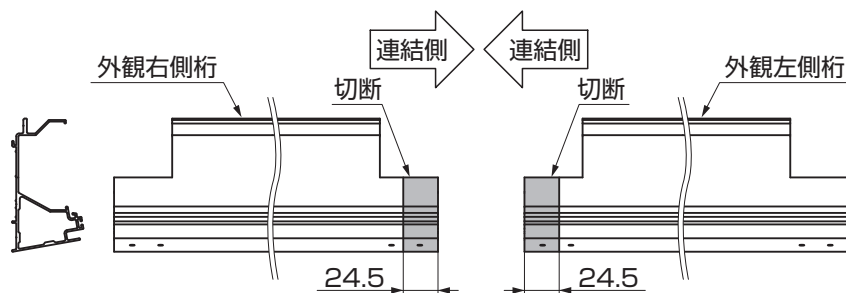


図11-4 桁の加工

- ①外観右側の桁を、24.5mm切断してください。
- ②外観左側の桁を、24.5mm切断してください。

ポイント

- 記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

11-3 連棟用の桁の取付け ※連棟の場合の作業です。 ※「11-1 桁の取付け」と同時に行なう作業です。

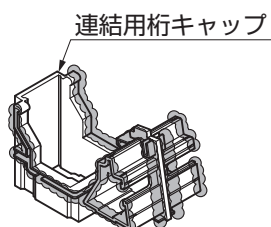


図11-5 シーリング箇所

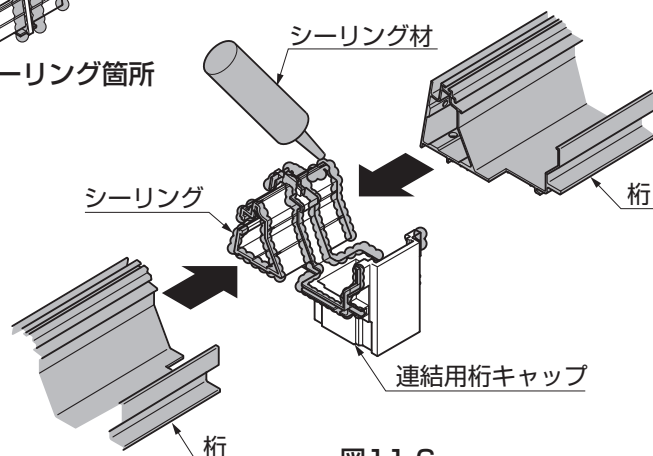


図11-6

- ①連結用桁キャップに、シーリングをしてください。(図11-5、図11-6参照)

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

- ②桁を連結用桁キャップに取付けてください。

11-4 連棟時の垂木組付金具の取付け ※連棟の場合の作業です。 ※「11-1 桁の取付け」と同時に行なう作業です。

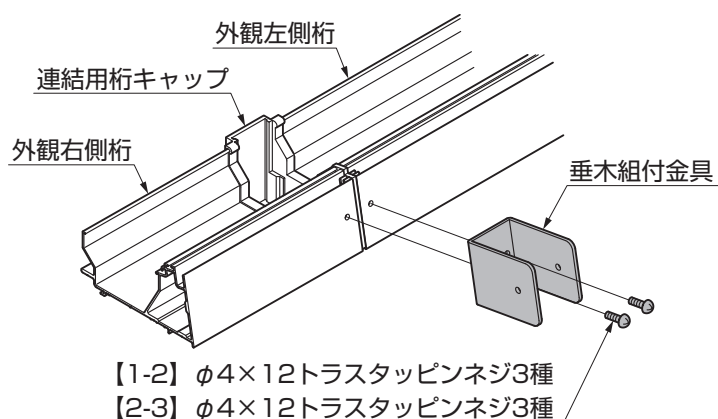
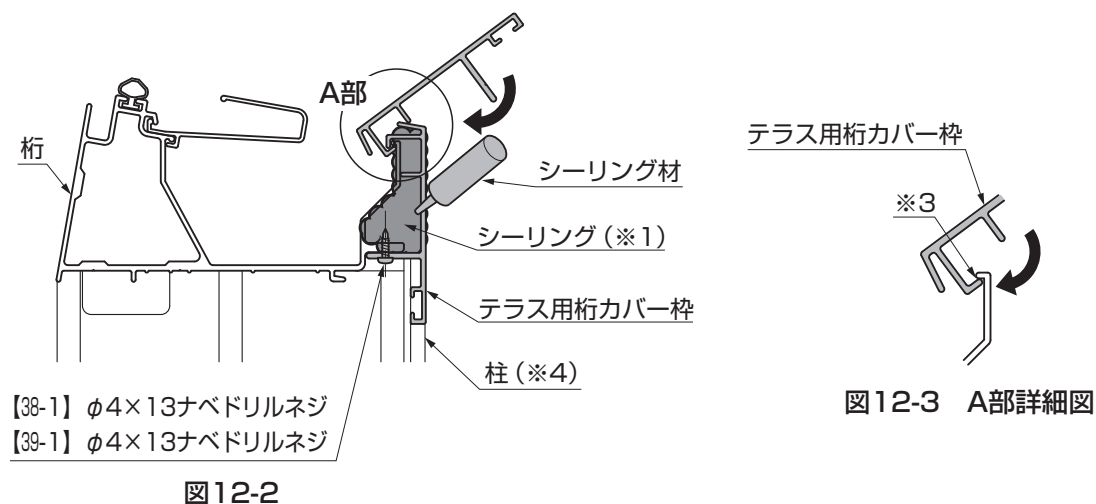
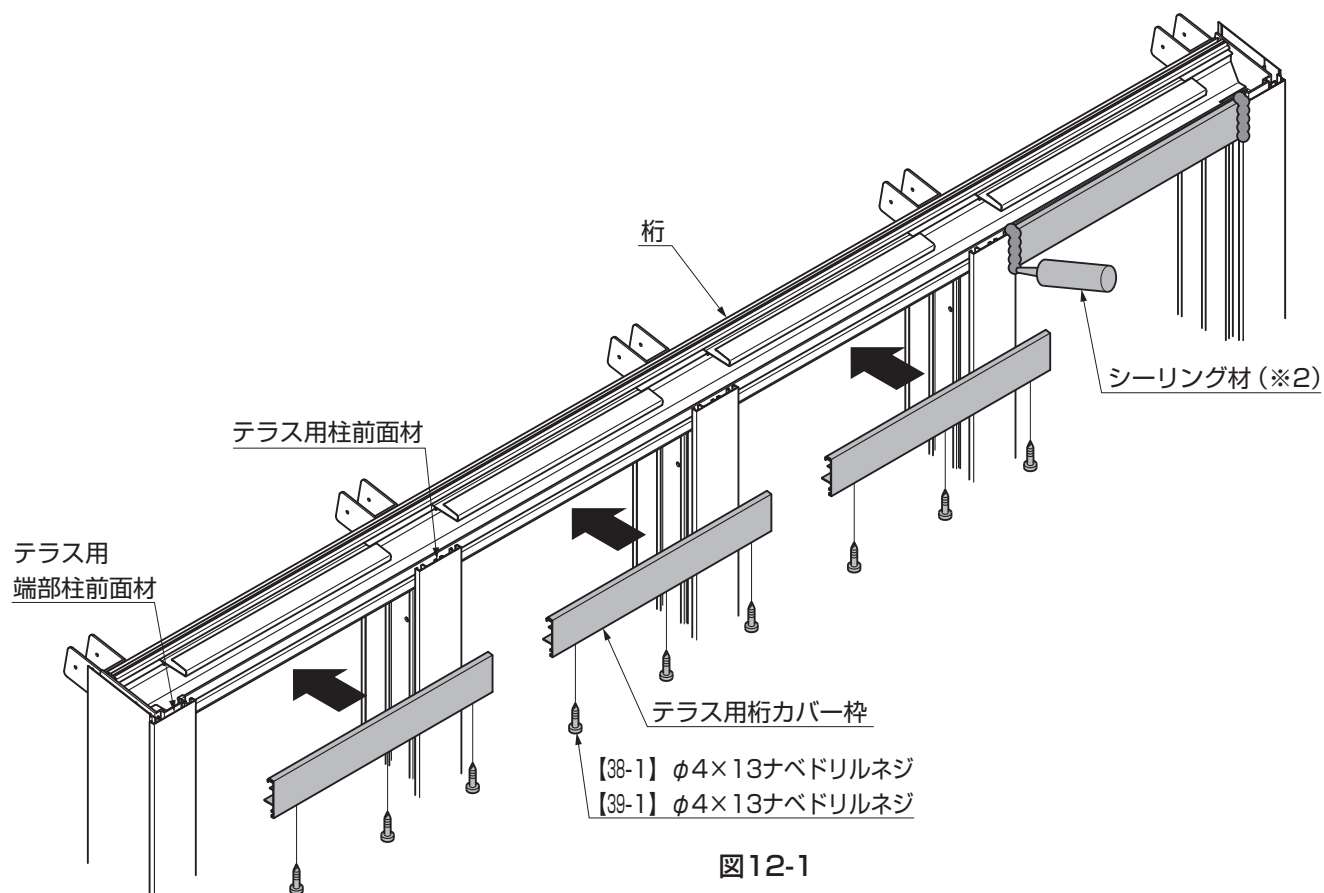


図11-7

- ①垂木組付金具を連結した桁に、【1-2】または【2-3】で取付けてください。

12. 桁カバー枠の取付け



- ①テラス用桁カバー枠と桁の間(※1)に、シーリングをしてください。(図12-2参照)
- ②テラス用桁カバー枠を桁にはめ込み、【38-1】または【39-1】で取付けてください。
- ③テラス用桁カバー枠の両端に、シーリングをしてください。(※2)

ポイント

- テラス用桁カバー枠の上部(※3)を桁に引っ掛けてはめ込んでください。(図12-3参照)
- 柱とテラス用桁カバー枠が平行になるように取付けてください。(※4)
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

13. 妻垂木・垂木の取付け

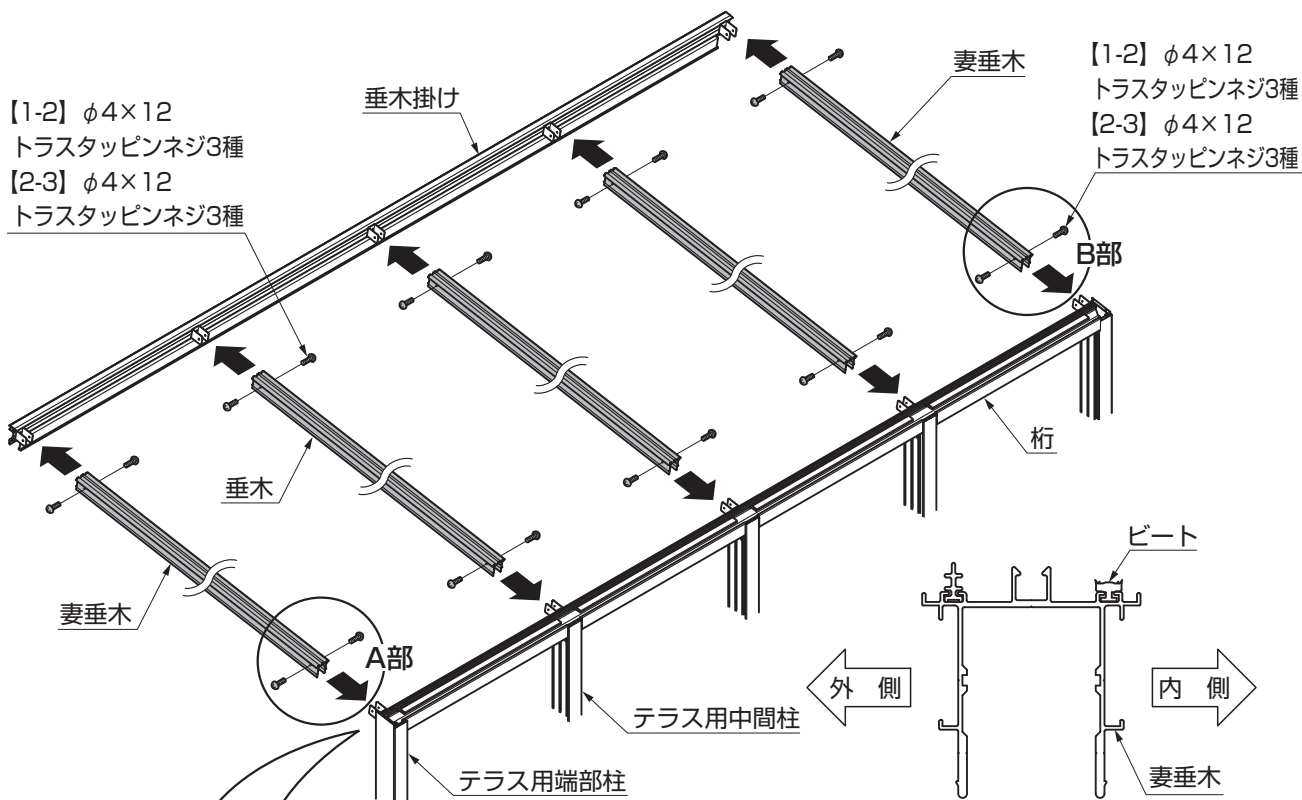


図13-1

図13-3 A部詳細図

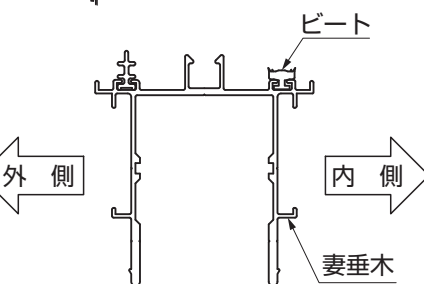


図13-4 B部詳細図

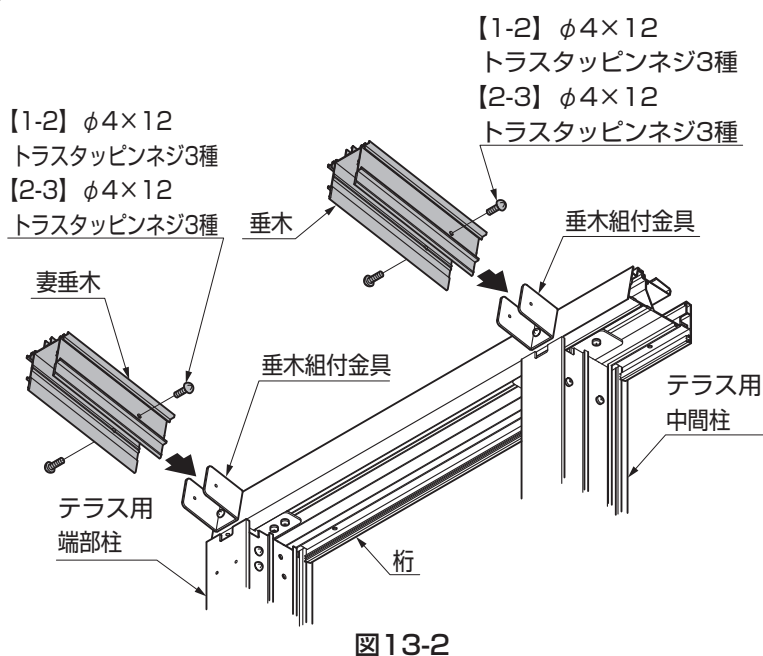
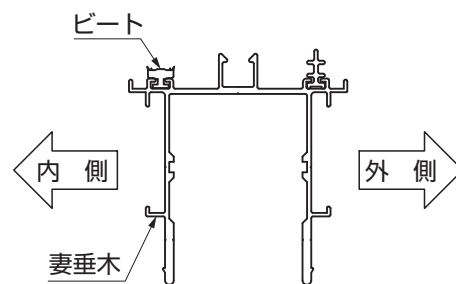


図13-2

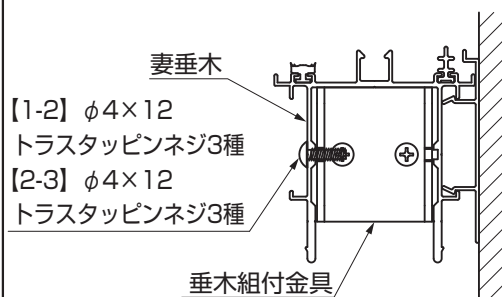


図13-5 入隅時の取付け

- ①妻垂木を垂木組付金具に、【1-2】または、【2-3】で取付けてください。
- ②垂木を垂木組付金具に、【1-2】または、【2-3】で取付けてください。

ポイント

- 妻垂木には取付ける向きがあります。図13-3、図13-4を参照して取付けてください。
- 入隅の場合の妻垂木の取付けは、【1-2】、【2-3】を片側だけ垂木組付金具に取付けてください。（図13-5参照）

14. 中骨の取付け

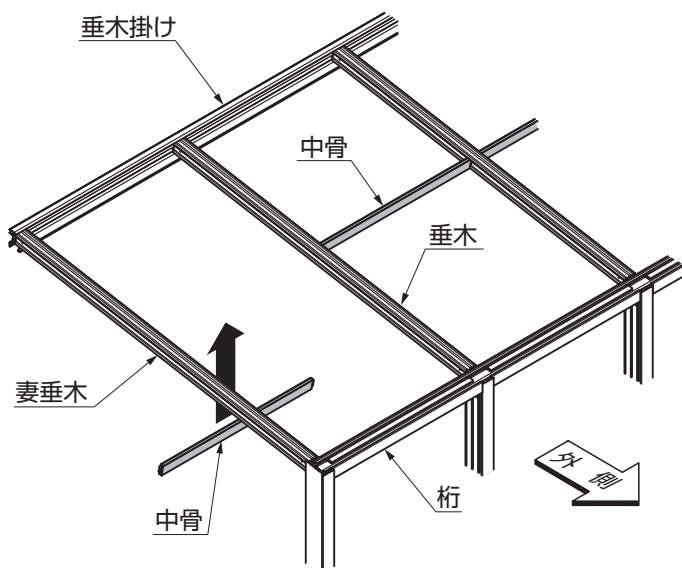


図14-1

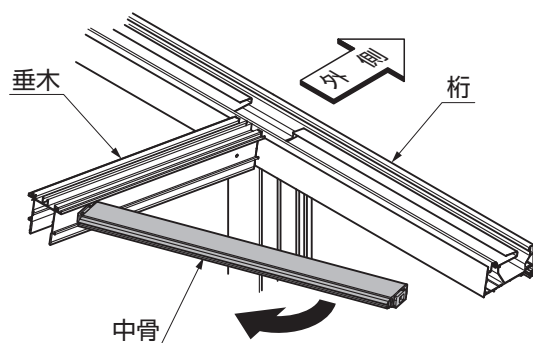


図14-2

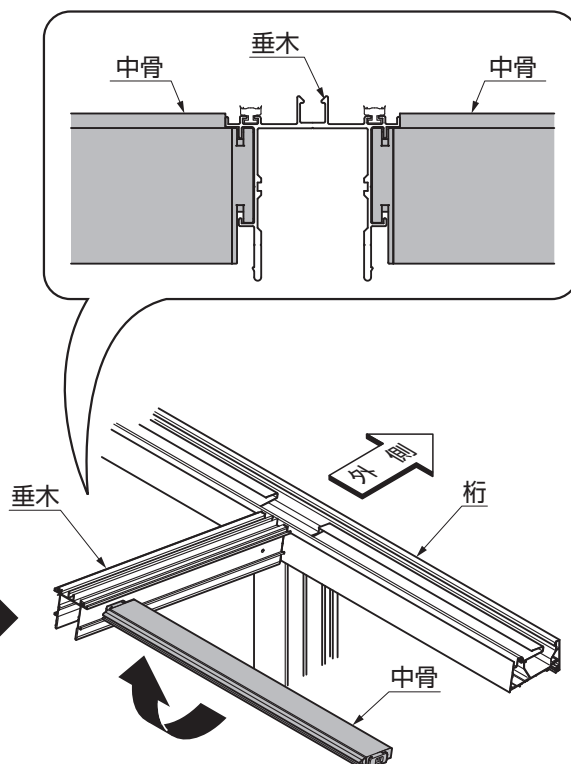


図14-3

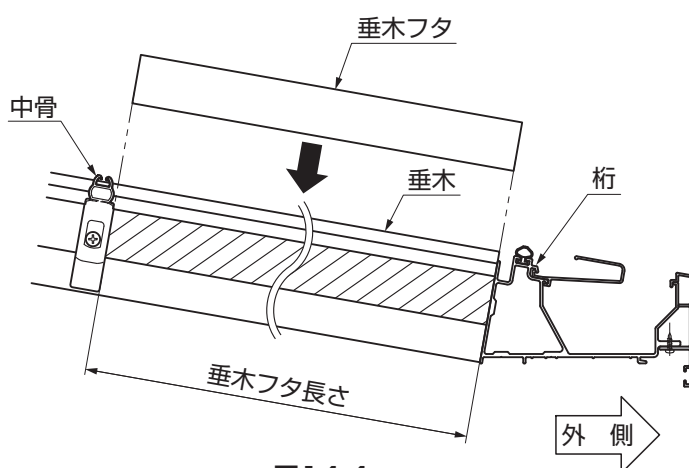


図14-4

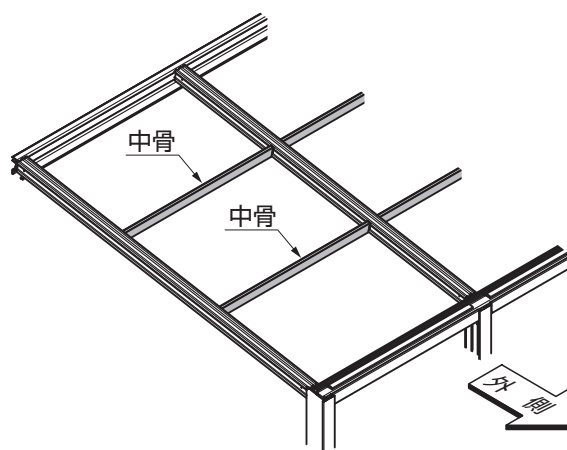


図14-5 積雪地域用の場合

①中骨を垂木間に回転しながら、はめ込んでください。(図14-2、図14-3参照)

ポイント

- 垂木フタの長さを目安に中骨のおおよその位置を決めてください。中骨は後で動かすことができます。(図14-4参照)
- 積雪地域用の場合は、中骨の本数が異なります。(表14-1、図14-5参照)

表14-1 1スパン当りの中骨本数

	4尺	6尺	8尺
一般地域用	1	1	2
積雪地域用	2	2	4

15. 屋根材の取付け

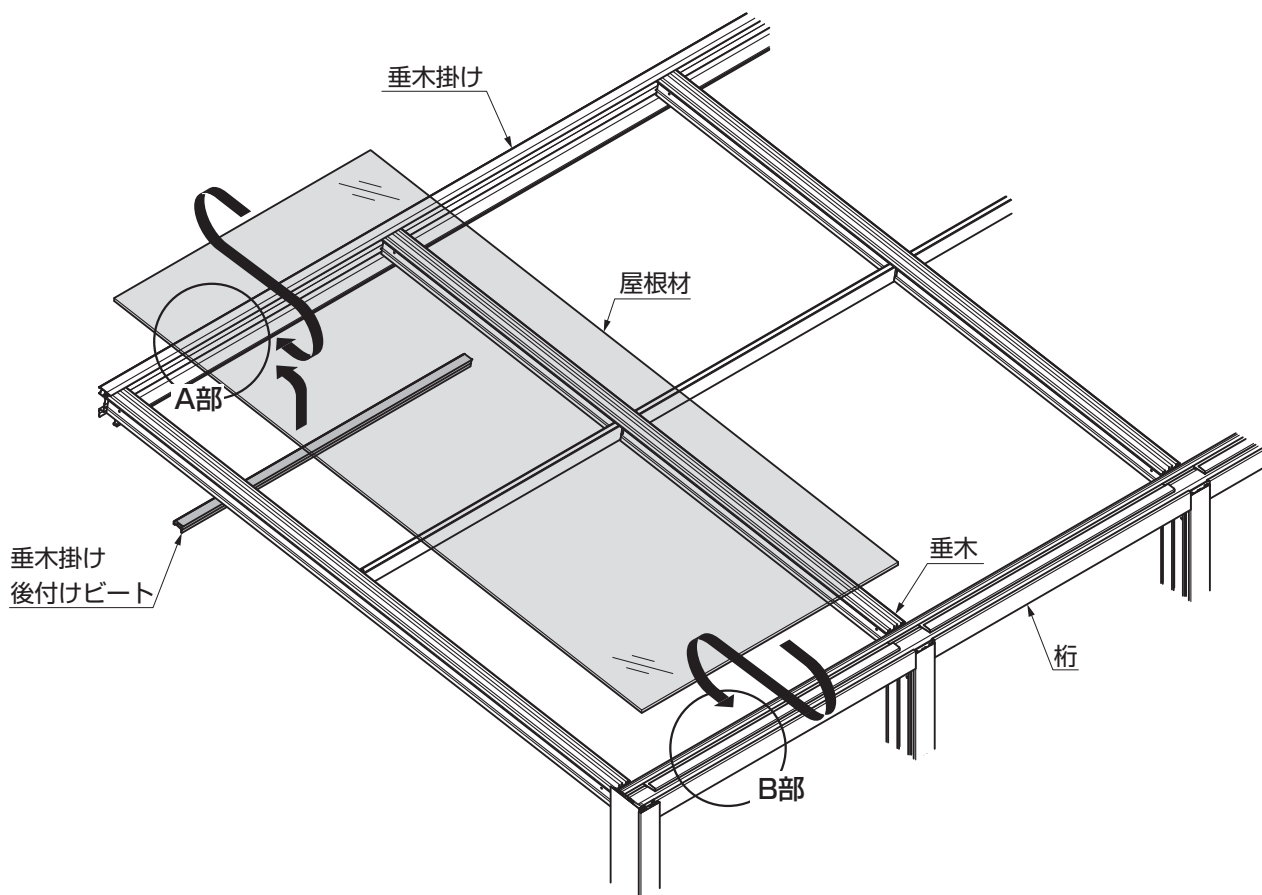


図15-1

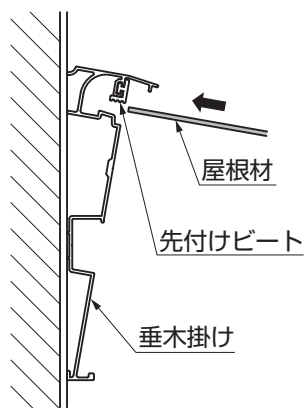


図15-2 A部詳細図

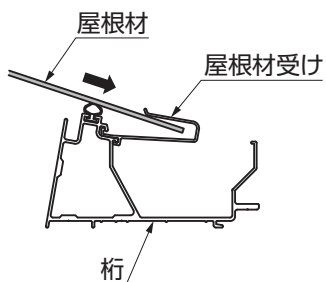


図15-3 B部詳細図

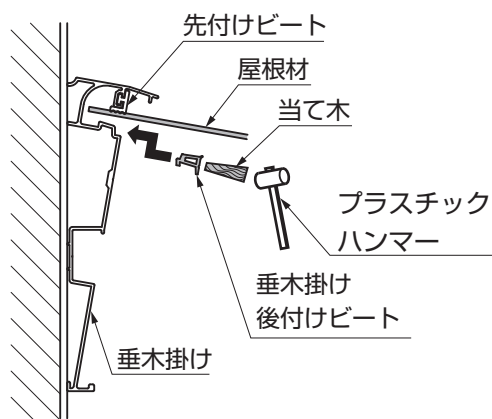


図15-4

ポイント

●左右どちらかの妻垂木より、1スパンごとに屋根材を取付けてください。

- ①屋根材受けを、垂木と垂木の間位置合わせしてください。
- ②屋根材を垂木掛けに、差込んでください。(図15-2参照)
- ③屋根材を屋根材受けに、差込んでください。(図15-3参照)
- ④垂木掛け後付けビートを、垂木掛けに差込んでください。(図15-4参照)

ポイント

●垂木掛け後付けビートはプラスチックハンマーでたたいてはめ込んでください。

16. 垂木カバーの取付け

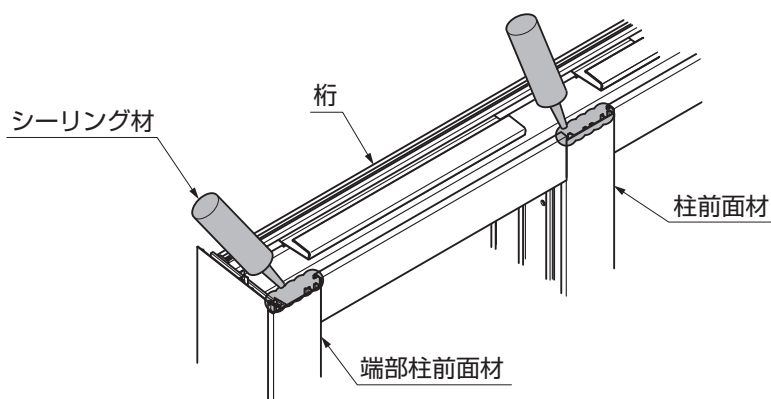


図16-1

- ①柱前面材と桁の間のすき間をふさぐように、シーリングをしてください。
(図16-1参照)

ポイント

- 図16-1の位置に確実にシーリングを行わないと雨漏りの原因になります。

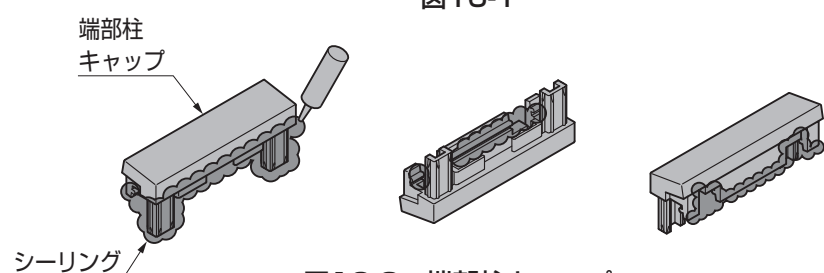


図16-2 端部柱キャップ

- ②端部柱キャップ、柱キャップにシーリングをしてください。
(図16-2、図16-3参照)

ポイント

- 柱キャップの裏面にシーリングは不要です。

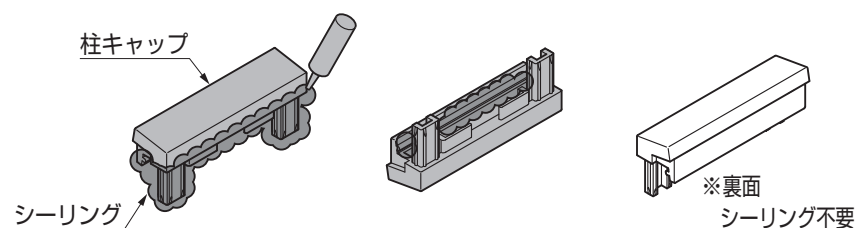


図16-3 柱キャップ

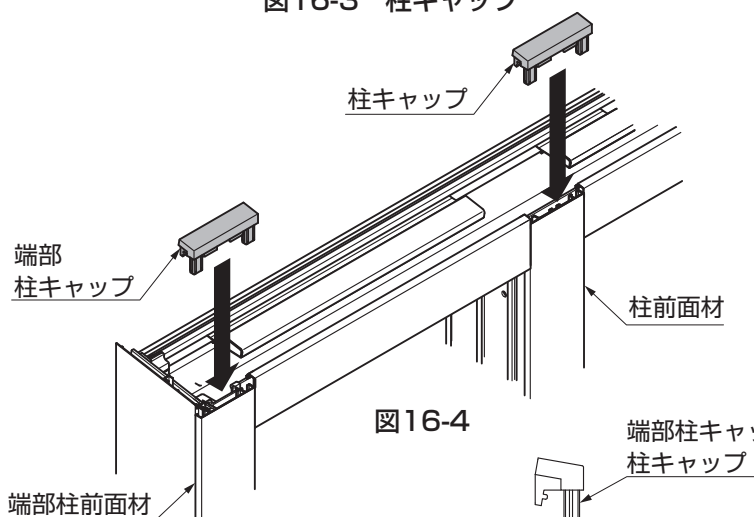


図16-4

- ③端部柱キャップを端部柱前面材、柱キャップを前面材にはめ込んでください。

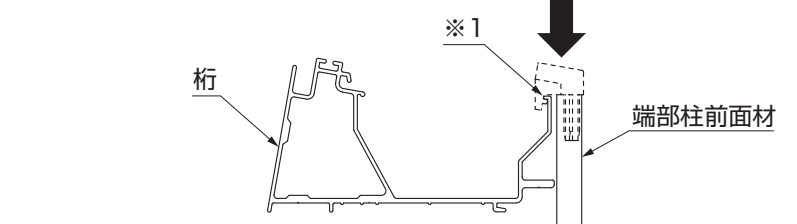


図16-5

ポイント

- 端部柱キャップ、柱キャップは、桁のリップ（※1）に引っ掛けるように上からはめ込んでください。
(図16-5参照)

16. つづき

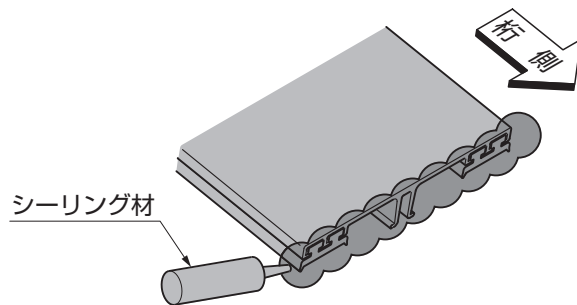


図16-6 垂木・妻垂木カバー

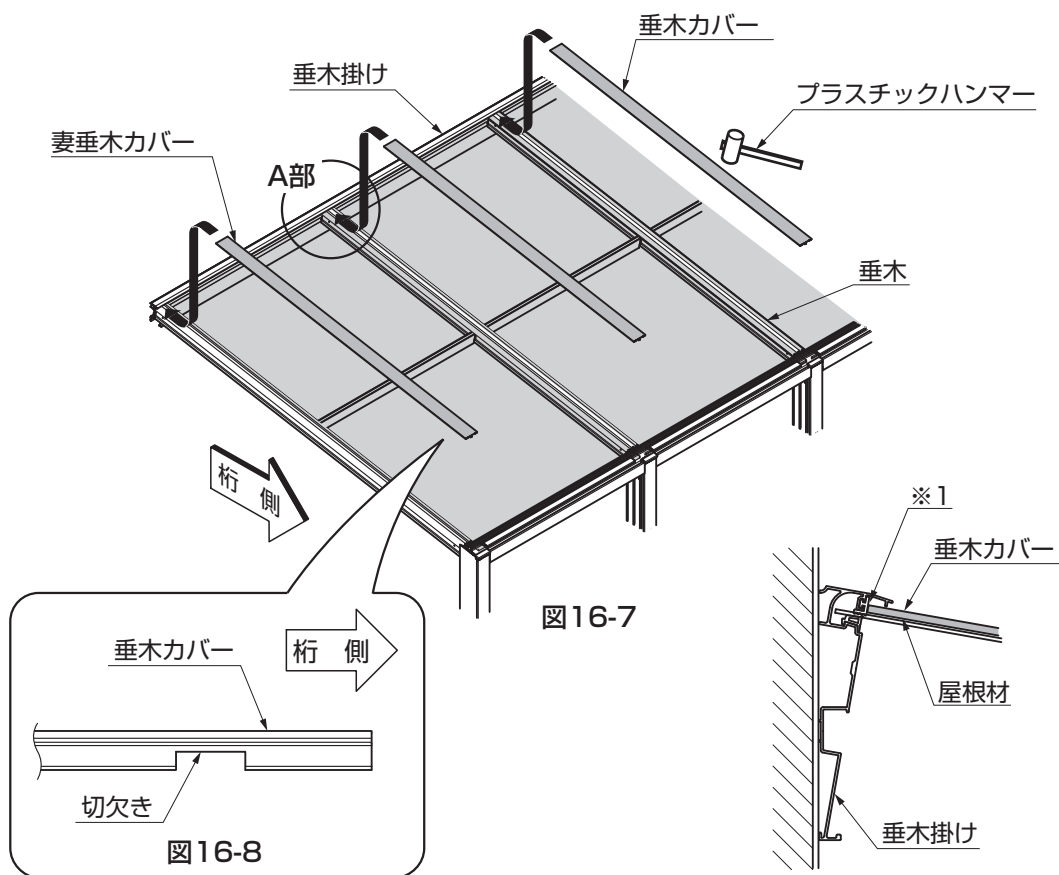


図16-7

図16-8

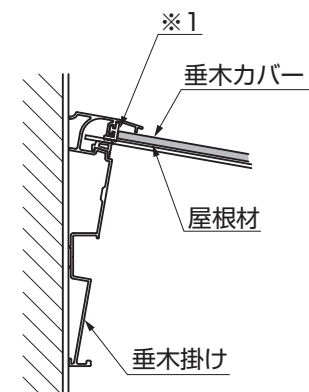


図16-9 A部詳細図

- ④垂木カバー、妻垂木カバーにシーリングをしてください。（図16-6参照）
- ⑤垂木カバー、妻垂木カバーを垂木掛けに差込んでください。妻垂木カバーは両端の垂木に、垂木カバーは中間の垂木に取付けてください。（図16-7参照）
- ⑥垂木カバー、妻垂木カバーを柱キャップ（桁側）へ押当ててください。

ポイント

- 垂木カバー、妻垂木カバーは切欠きがある方を桁側にしてください。（図16-8参照）
- 垂木カバー、妻垂木カバーは、垂木掛けに突当てて、（※1）取付けてください。（図16-9参照）
- 垂木カバー、妻垂木カバーは、部材が凹まないように注意しながら、プラスチックハンマー等で押込んでください。
- 屋根材の固定後、確実に養生シートを外してください。
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

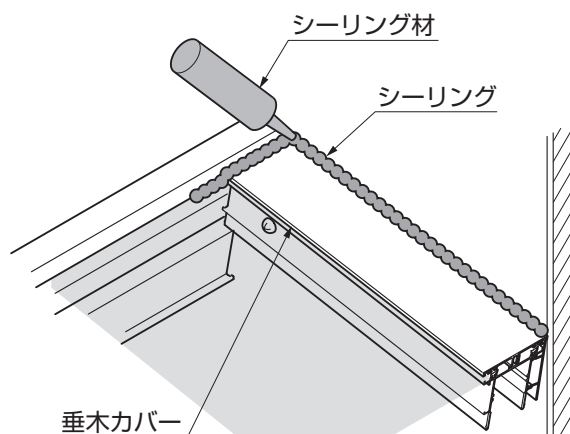
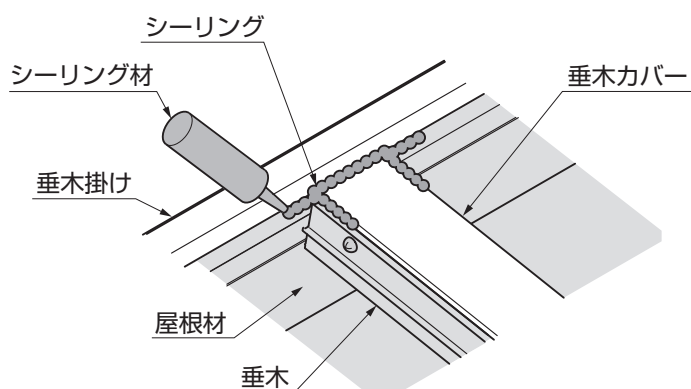
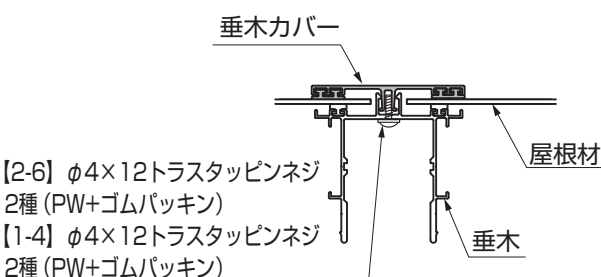
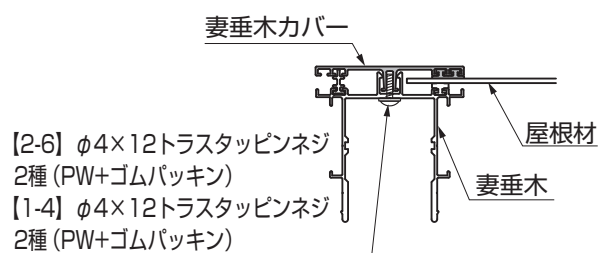
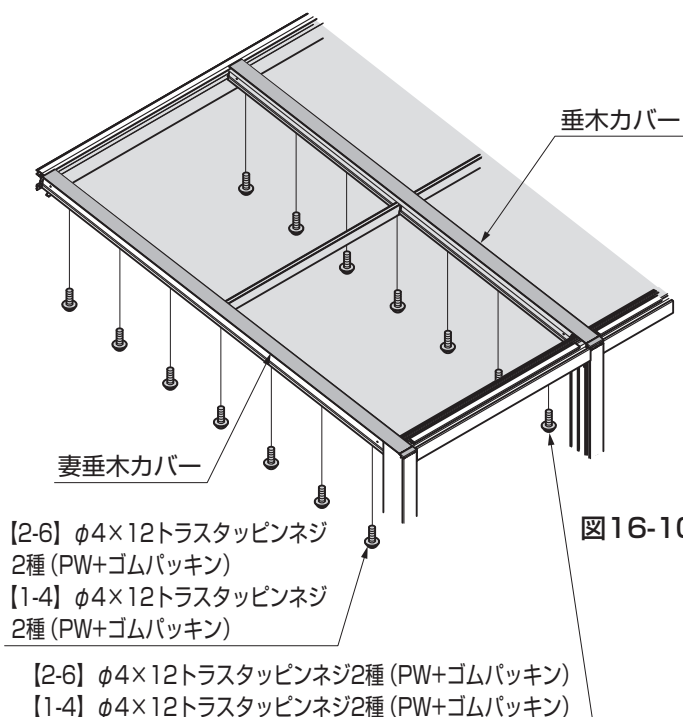


表16-1

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960

⑥妻垂木カバーを妻垂木に、【1-4】または【2-6】で固定してください。(図16-10、図16-11参照)

⑦垂木カバーを垂木に、【1-4】または【2-6】で固定してください。(図16-11、図16-12参照)

ポイント

●屋根材の取付けは、のみ込みが左右均等になるようにしてください。(図16-11、図16-12参照)

⑧垂木カバーに、シーリングをしてください。(図16-13、図16-14参照)

ポイント

●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

●ポリカーボネート板へシーリングする場合は、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。(表16-1参照) それ以外のシーリング材では、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがあります。

17. 垂木化粧材の取付け

17-1 垂木化粧材の取付け

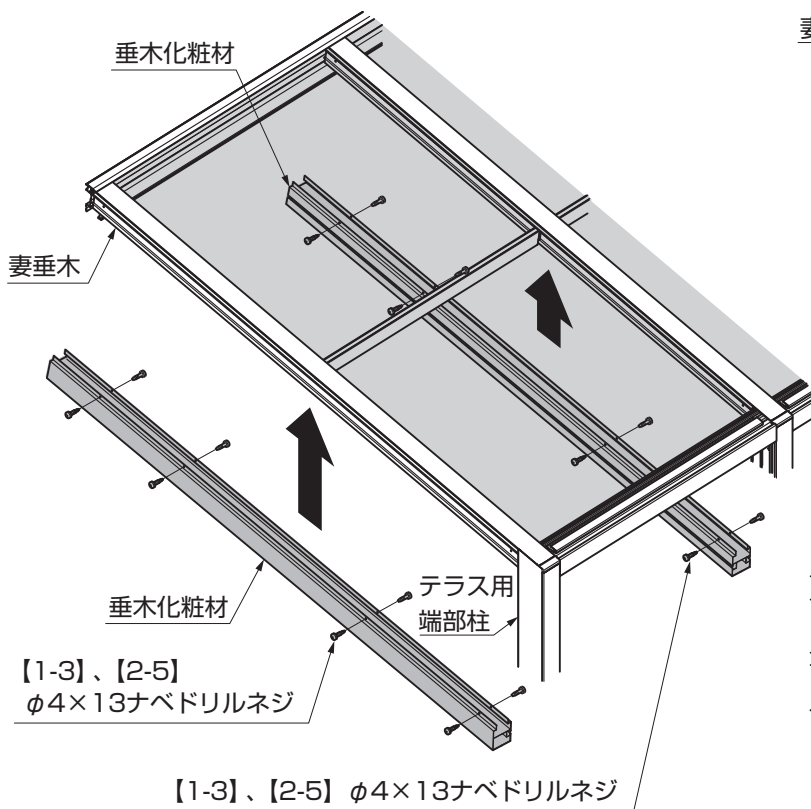


図17-1

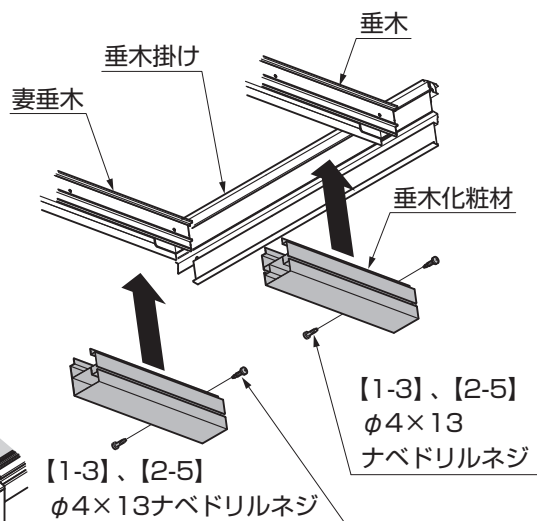


図17-2

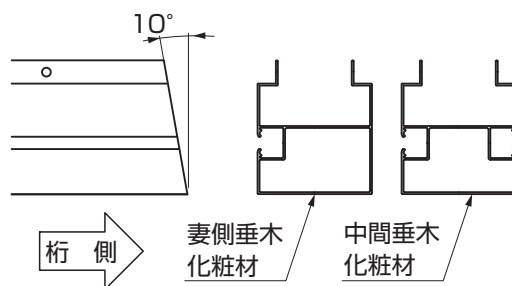


図17-3

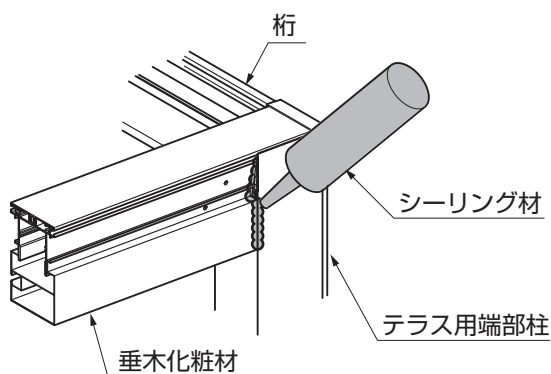


図17-4

表17-1 垂木化粧材一覧表

	オープンテラスタイプ
妻側垂木	
中間垂木	

- ①垂木化粧材を垂木、妻垂木に、【1-3】、【2-5】で取付けてください。
- ②妻垂木、垂木化粧材とテラス用端部柱の接合部を、シーリングしてください。(図17-4参照)

ポイント

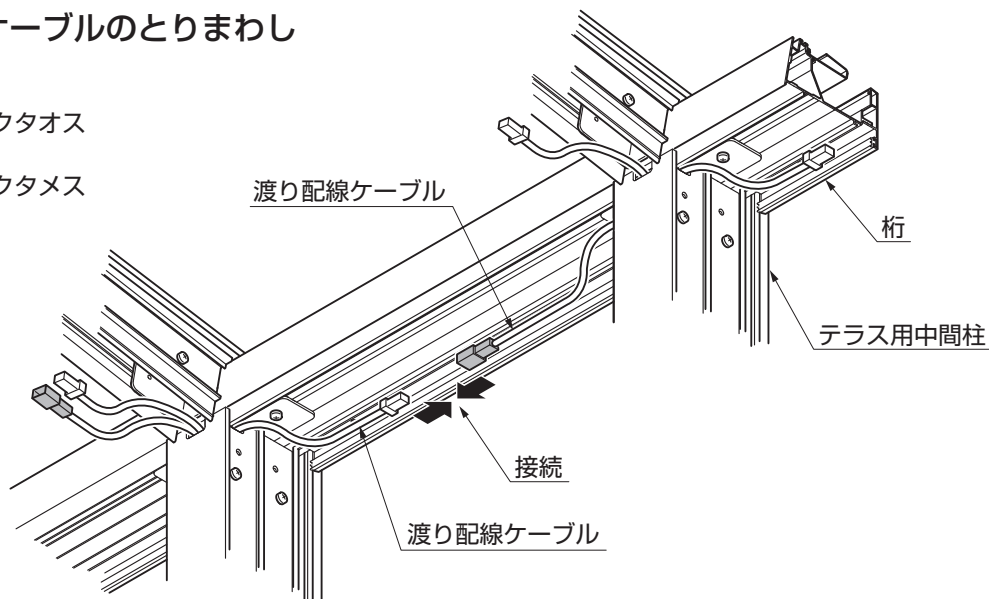
- 垂木化粧材の端が10°切欠いている側を桁側にしてください。(図17-3参照)
- 積雪仕様の場合は垂木化粧材を取付けるための既存穴と既存穴の間にφ3.5の穴をあけ、【1-3】、【2-5】または【26-1】、【28-1】で取付けてください。
- 各タイプの垂木化粧材はそれぞれ異なります。(表17-1参照)
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。(図17-4参照)

17-2 垂木化粧材 照明付の取付け **オプション** ※垂木にLED照明を取付ける場合の作業です。

(1) 渡り配線ケーブルのとりまわし

コネクタオス

コネクタメス



① 渡り配線ケーブルをテラス用中間柱に、とりまわしてください。

ポイント

●LEDユニットは、渡り配線ケーブルを介して、6本まで連続接続が可能です。

(2) 垂木化粧材 照明付の取付け

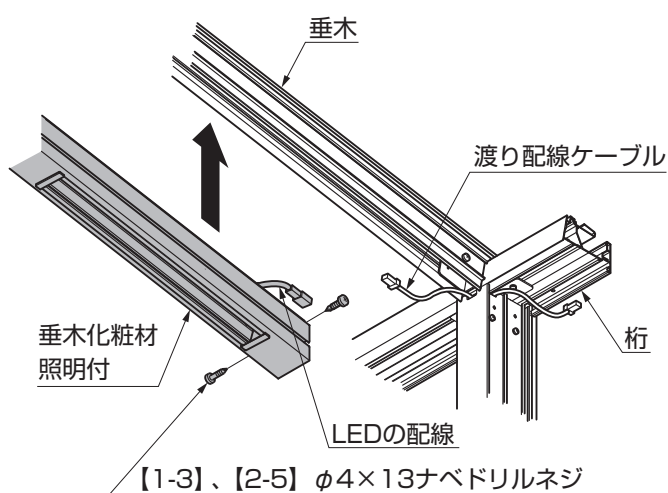


図17-5 下部から配線する場合

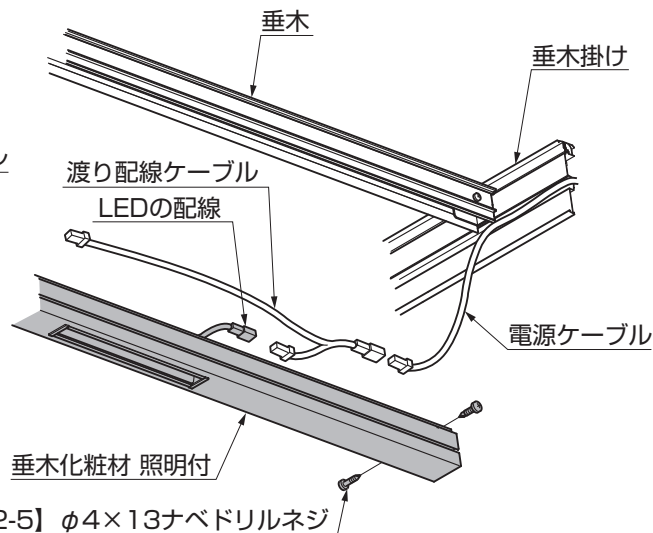


図17-6 上部から配線する場合

- ① 垂木化粧材 照明付に付いているLEDの配線を、電源ケーブルまたは渡り配線ケーブルに接続してください。
- ② 垂木化粧材 照明付を垂木に、【1-3】、【2-5】で取付けてください。

ポイント

- 垂木化粧材 照明付の端が10° 切欠いている側を桁側にしてください。
- LED照明 **オプション** を取付ける場合は、「5 本体の施工 2. 基本仕様の配線工事 **オプション**」を参照してください。
- 積雪仕様の場合は垂木化粧材を取付けるための既存穴と既存穴の間にφ3.5の穴をあけ、【1-3】、【2-5】で取付けてください。

17. (つづき)

17-3 入隅の場合

(1) 妻垂木の加工

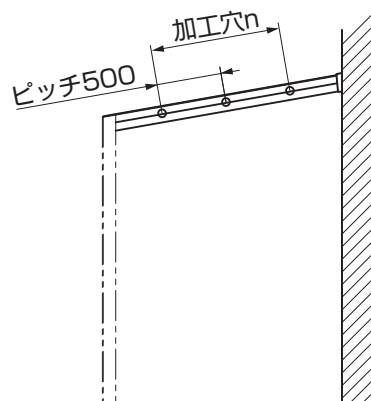


表17-2

	加工穴n
4R	2
6R	3
8R	4

図17-7

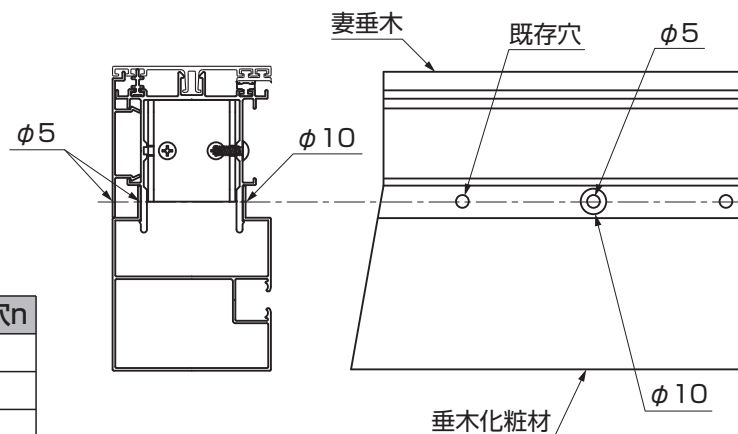


図17-8

- ①垂木化粧材を妻垂木に仮置きして、垂木化粧材と妻垂木にφ10、φ5の穴をあけてください。
(図17-7、図17-8、表17-2参照)

ポイント

- 穴加工は、既存穴の間にあけてください。

(2) 垂木化粧材の取付け

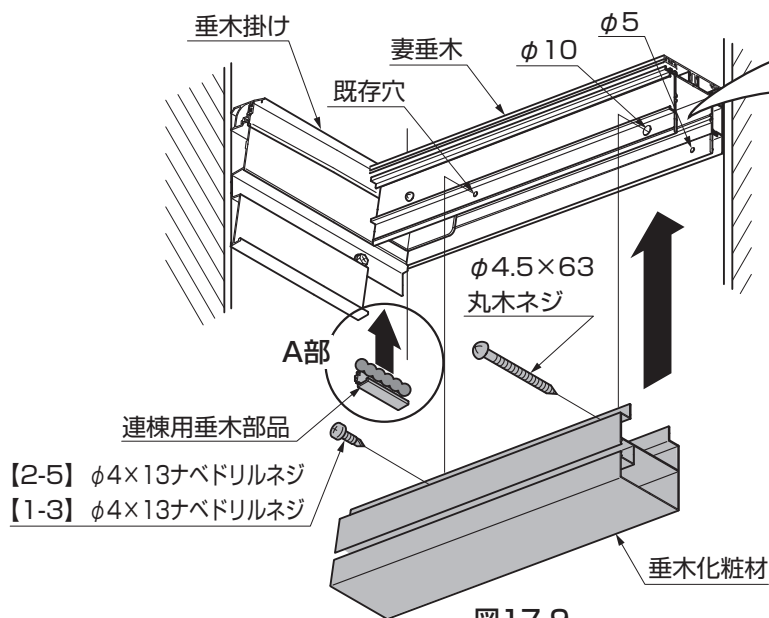


図17-9

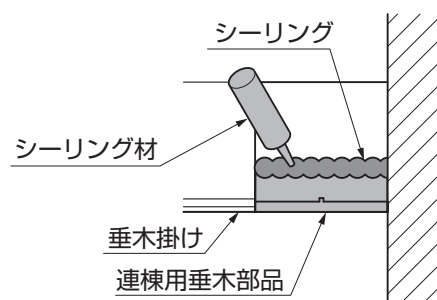
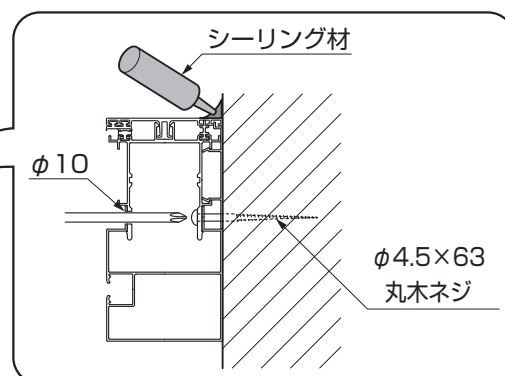


図17-10 A部詳細図

- ①垂木化粧材を妻垂木に組付け、φ10の穴から「φ4.5×63丸木ネジ」を差込み、φ5の穴から躯体に取付けてください。

ポイント

- 「φ4.5×63丸木ネジ」は現場で手配してください。
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

- ②垂木化粧材を妻垂木の既存穴に、【1-3】、【2-5】で取付けてください。
③妻垂木・連棟用垂木掛部品にシーリングし、垂木掛けに取付けてください。(図17-10参照)

18. 垂木フタの取付け

18-1 垂木フタの取付け

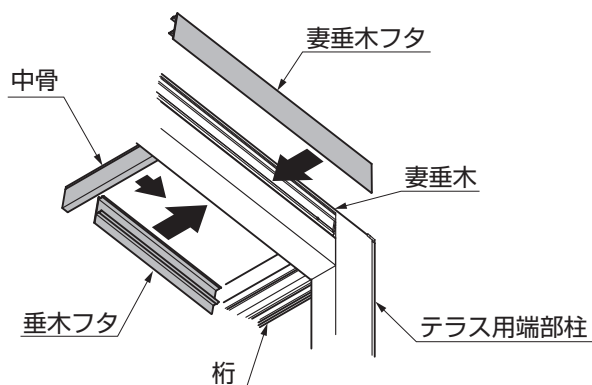


図18-1 妻垂木部

- ①妻垂木フタを、妻垂木にはめ込んでください。
- ②桁側の垂木フタを、桁に突きあてて垂木にはめ込んでください。
- ③中骨を、取付けた垂木フタ側に寄せてください。
- ④垂木掛け側の垂木フタを、中骨に突きあてて、垂木にはめ込んでください。

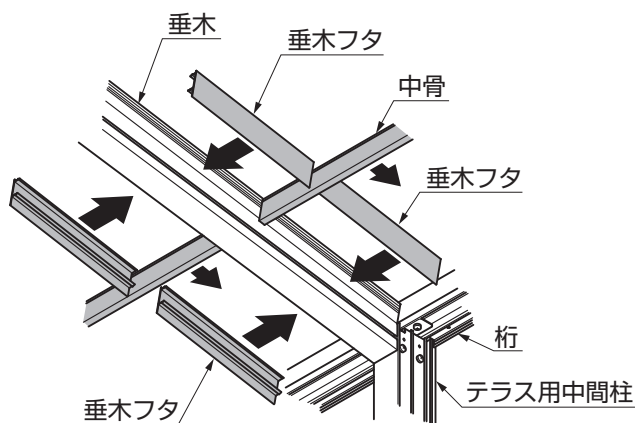


図18-2 中間垂木部

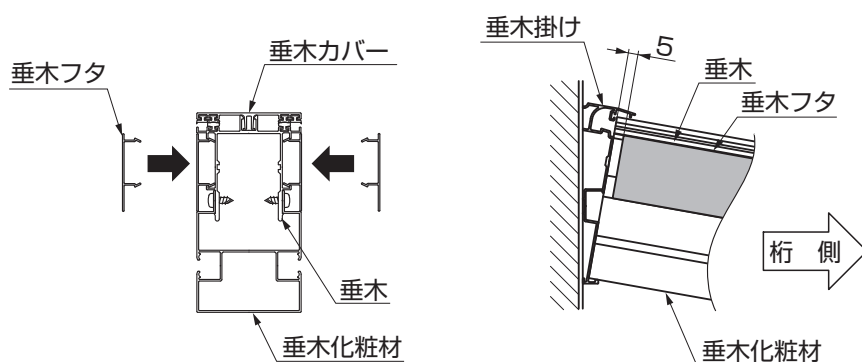


図18-3

ポイント

- 垂木フタは桁側に寄せて取付けて、垂木掛けと垂木フタを5mm程度のすき間をあけてください。(図18-3参照)
- 垂木フタは端部用と中間用があります。端部には妻垂木フタを取付けてください。(図18-4、図18-5参照)

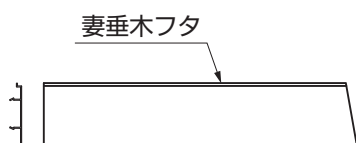


図18-4 端部用

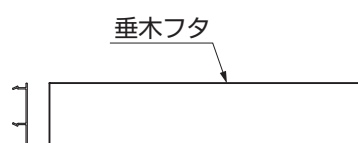


図18-5 中間用

19. 垂木掛けキャップの取付け

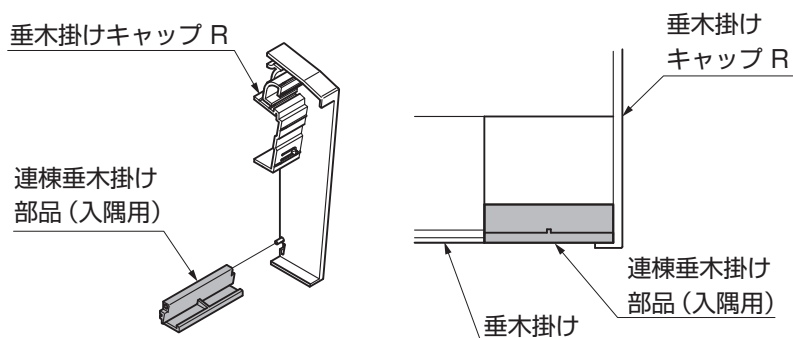


図19-1

① 連棟垂木掛け部品を垂木掛けキャップに取付けてください。(図19-1参照)

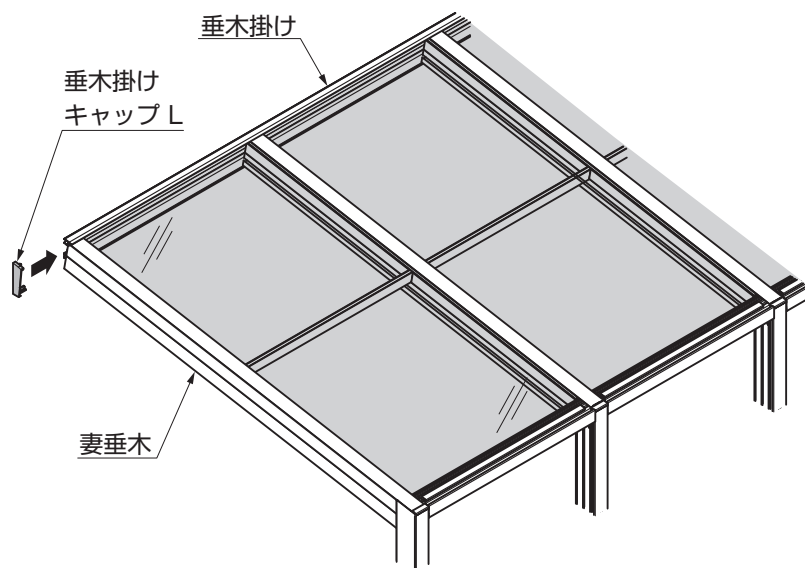


図19-2

② 垂木掛けキャップを、垂木掛けに取付けてください。(図19-2参照)

ポイント

- 入隅の場合は、入隅側の垂木掛けキャップは取付けません。

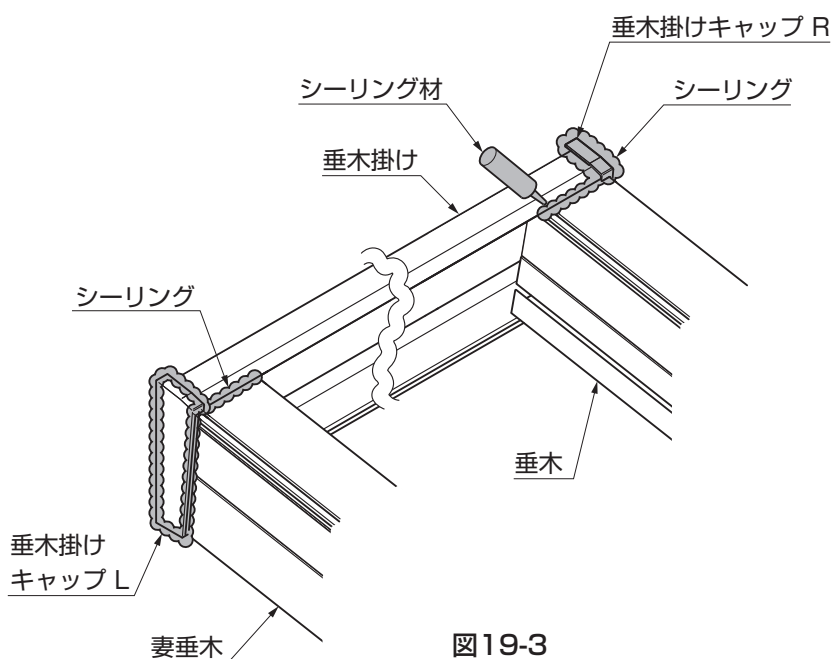


図19-3

③ 垂木掛けキャップのまわりに、シーリングをしてください。(図19-3参照)

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

20. 垂木掛けカバーの取付け

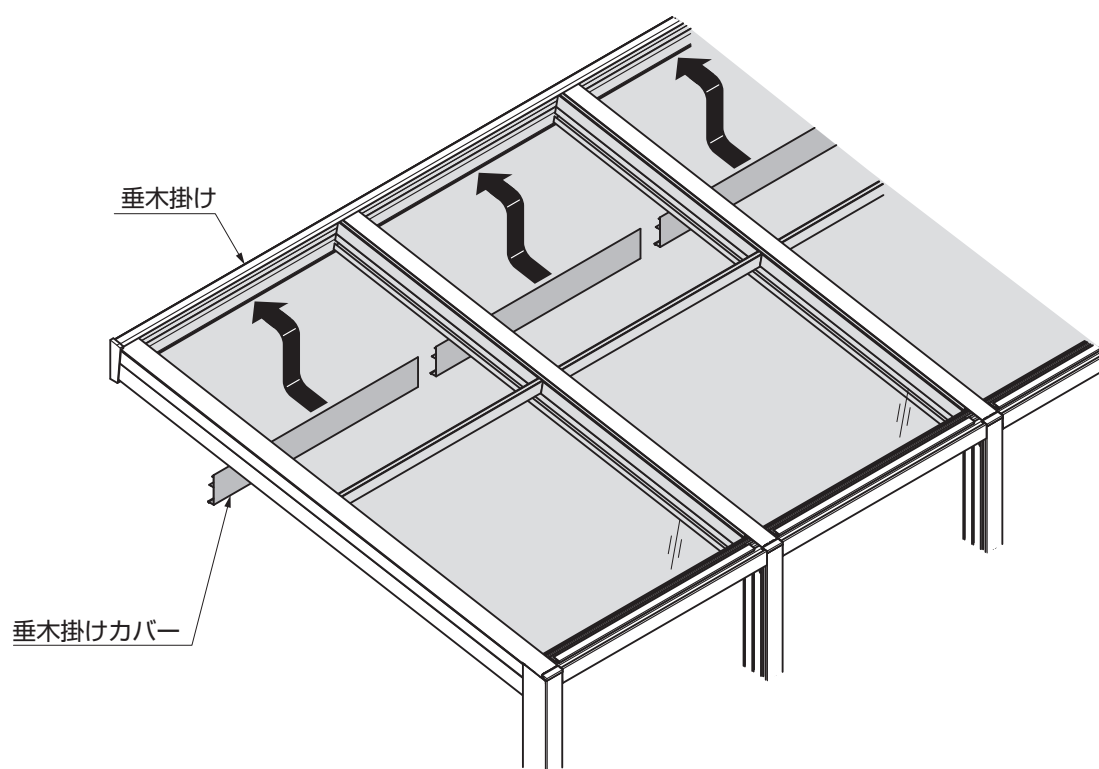


図20-1

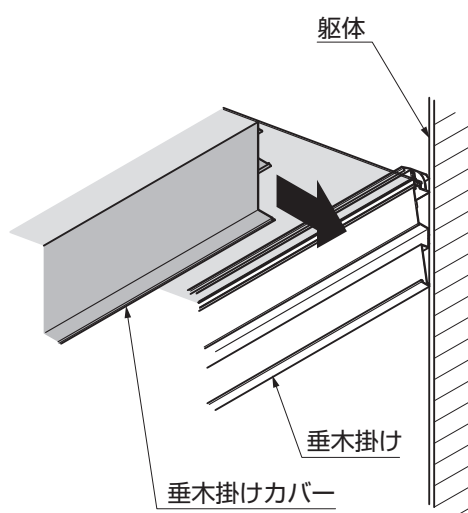


図20-2

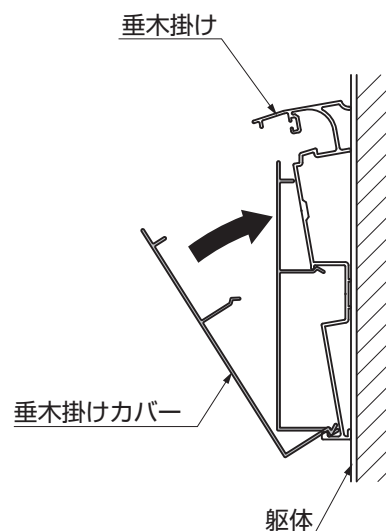


図20-3

ポイント

●内部日除けを取付ける場合は、先に取付けてください。

①垂木掛けカバーを、垂木掛けにはめ込んでください。

ポイント

●垂木掛けカバーを取付ける際に、端部で化粧部をキズつけないようにしてください。

21. テラス用上枠の取付け

21-1 テラス用上枠の取付け

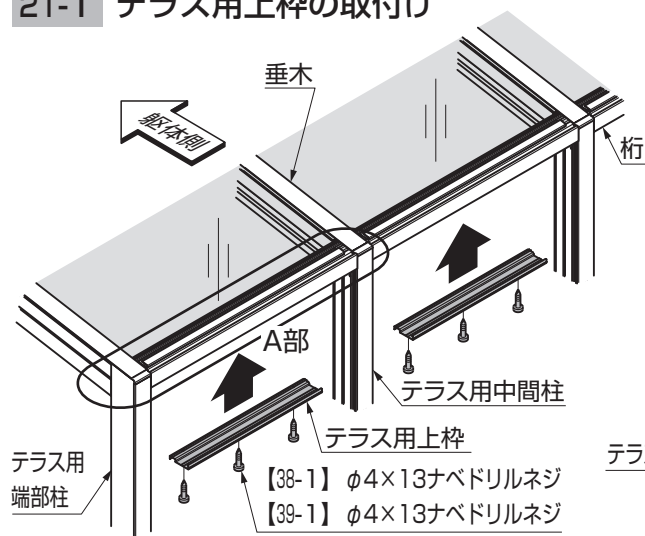


図21-1

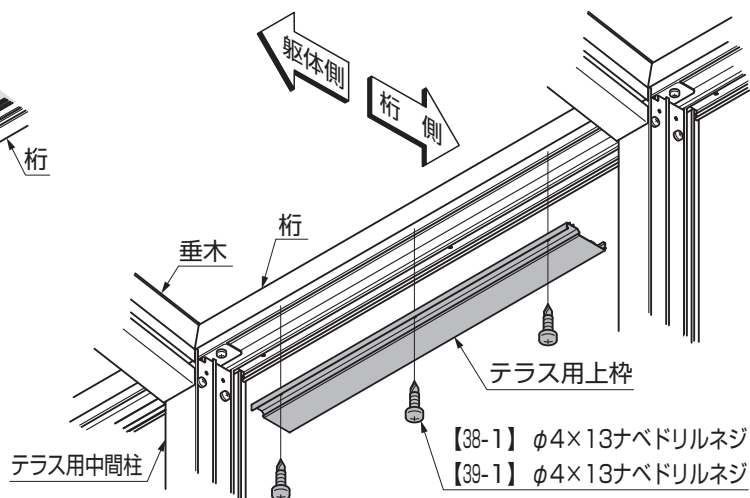


図21-2 A部詳細図

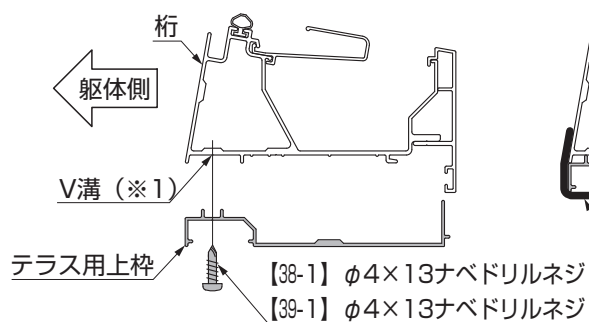


図21-3

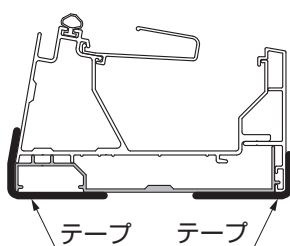


図21-4

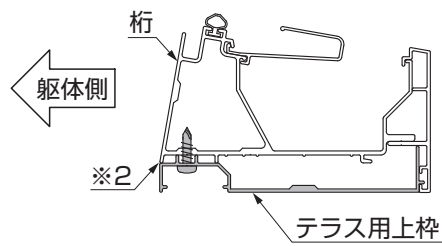


図21-5

①テラス用上枠を桁のV溝(※1)に、【38-1】または【39-1】で取付けてください。

ポイント

- テラス用上枠を取付ける際は、テープ等で仮止めして取付けてください。(図21-4参照)
- テラス用上枠と桁のコーナー目地部(※2)に、段差がつかないように取付けてください。(図21-5参照)

21-2 パネル枠フタの取付け

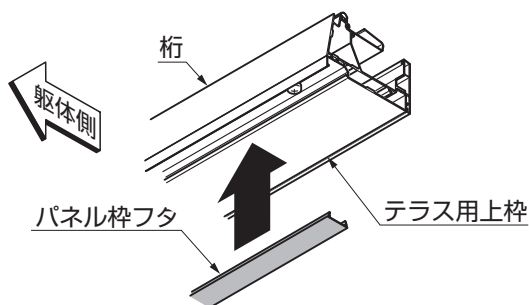


図21-6

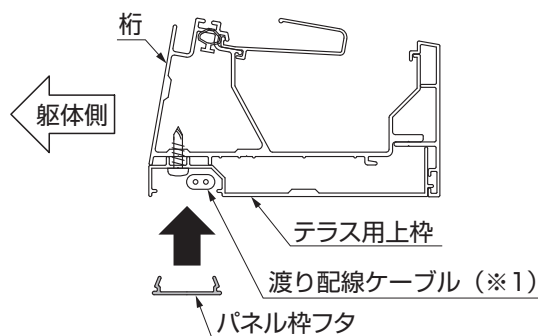


図21-7

①パネル枠フタをテラス用上枠にはめ込んでください。

ポイント

- LED照明 **オプション** を取付ける場合は、「5 本体の施工 2. 基本仕様の配線工事 **オプション**」、3. 腰壁仕様の配線工事 **オプション**」を参照してください。

22. 柱フタの取付け

※図は、基本タイプの場合を示します。

※柱を埋込む場合は、すでにフタがされているので雪下ろしシールの貼付けのみしてください。

22-1 端部柱への取付け

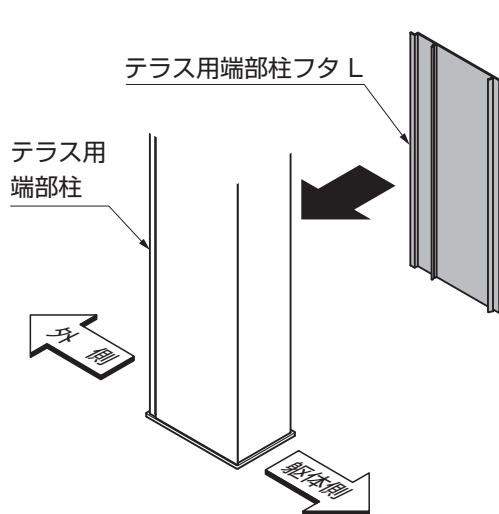


図22-1

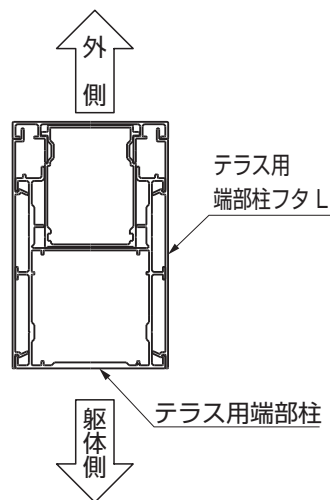


図22-2

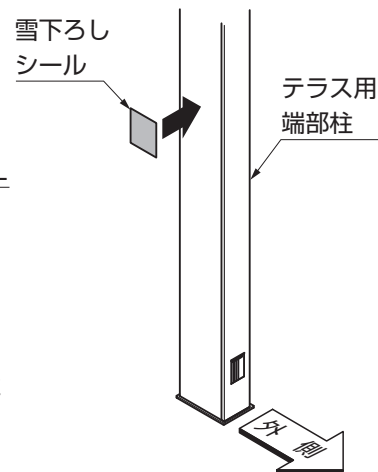


図22-3

- ①テラス用端部柱フタをテラス用端部柱の内側からはめ込んでください。
- ②テラス用端部柱の見やすい位置に雪下ろしシールを貼付けてください。(図22-3参照)

⚠ 注意

●雪下ろしシールは、施主様に安全に使用していただくために必要です。

22-2 中間柱への取付け ※柱固定ベースを使用した場合の作業です。

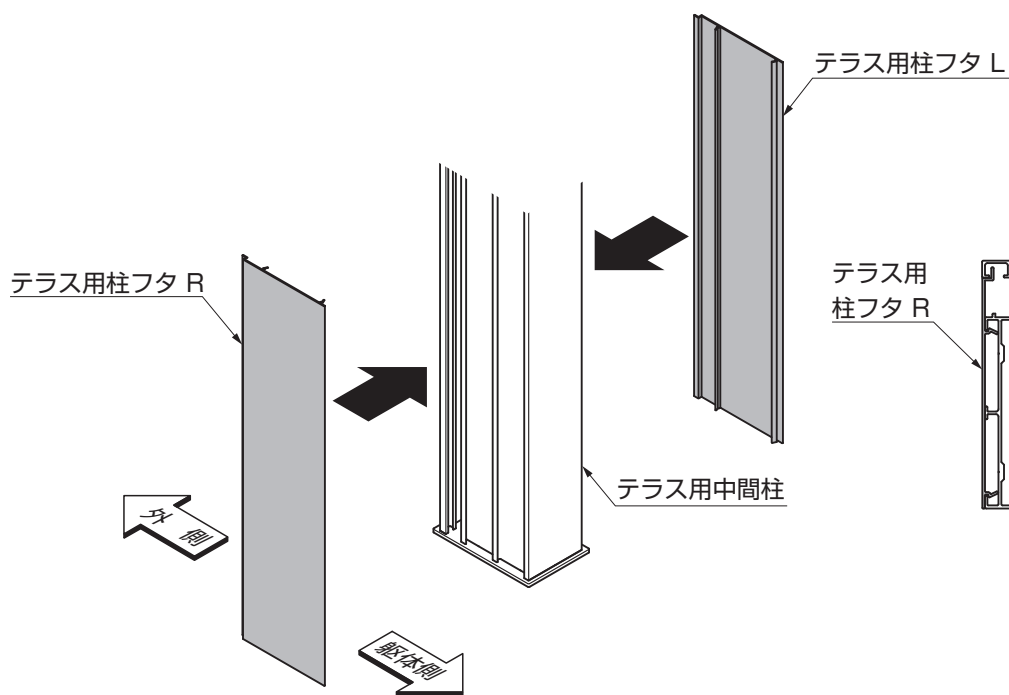


図22-4

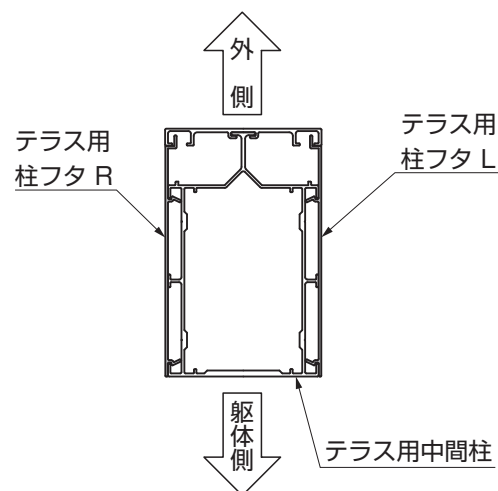


図22-5

- ①テラス用柱フタを、テラス用中間柱にはめ込んでください。

23. パネル下枠カバーの取付け

※腰壁タイプの場合の作業です。

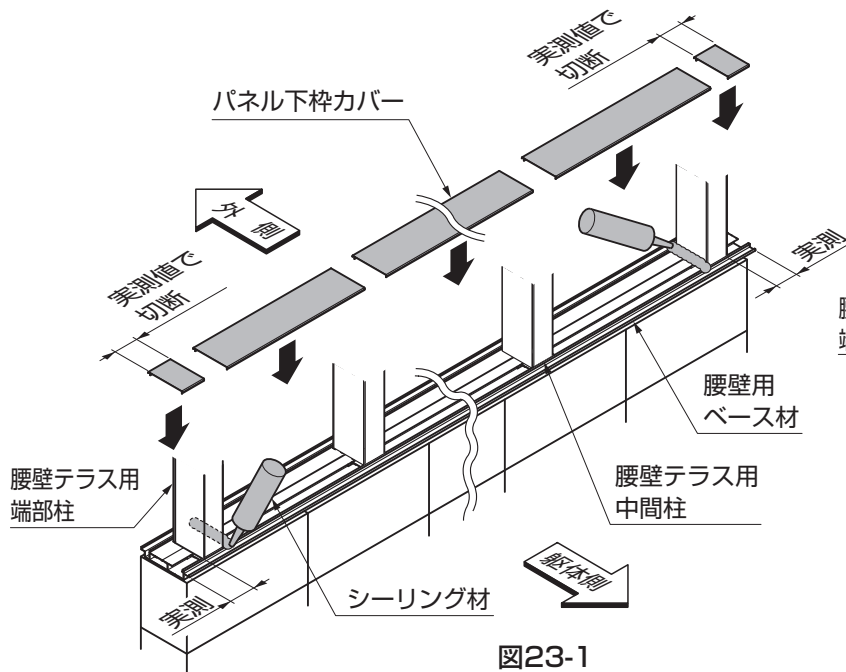


図23-1

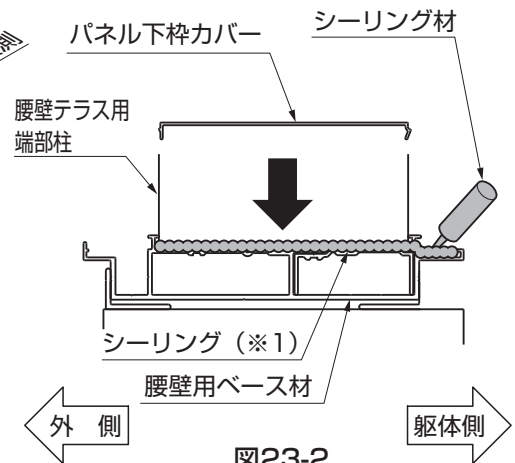


図23-2

- ①腰壁テラス用端部柱の内側と腰壁用ベース材の合わせ面にシーリングをしてください。（※1）

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

- ②パネル下枠カバーを、腰壁用ベース材にはめ込んでください。

- ③端部のパネル下枠カバーを現場実測の寸法に合わせ切断し、腰壁用ベース材にはめ込んでください。

24. 腰壁笠木キャップの取付け

※腰壁タイプの作業です。

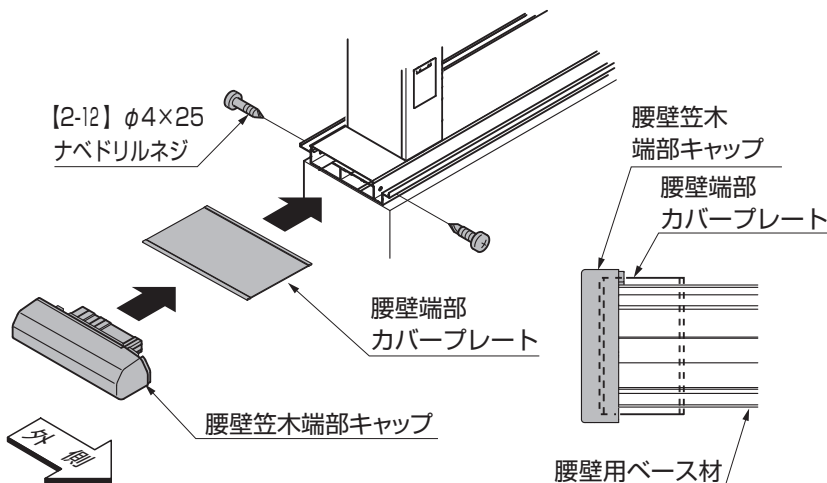


図24-1

図24-2

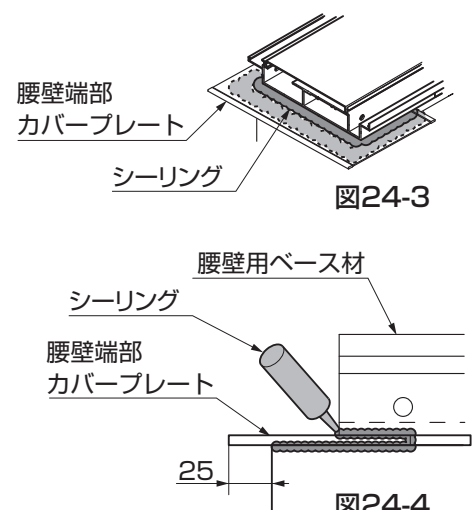


図24-3

図24-4

- ①腰壁端部カバープレートの下側にシーリングをし、コンクリートブロックと腰壁用ベース材の間にはめ込んでください。

- ②腰壁笠木端部キャップを、【2-2】で取付けてください。

- ③腰壁用ベース材の中を流れる水がせきとめないように、腰壁端部カバープレートとの接合部をシーリングしてください。

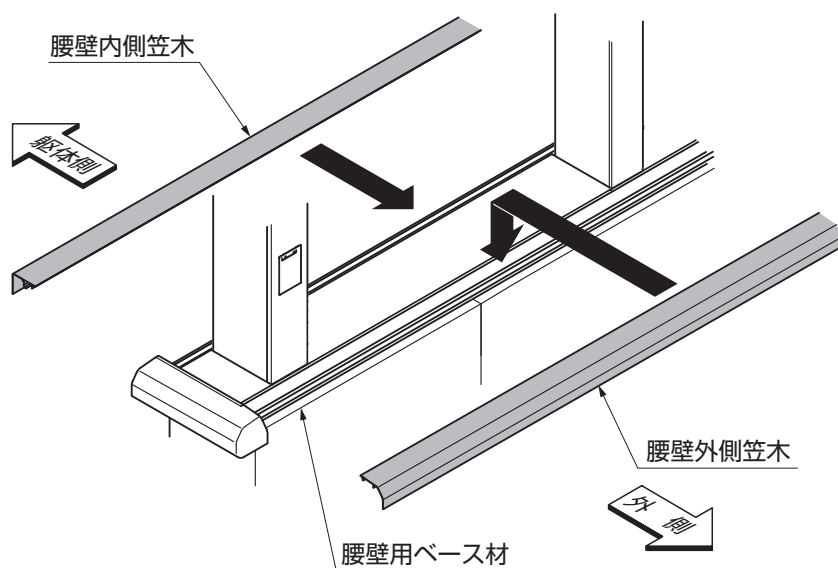
ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

25. 腰壁笠木の取付け

※腰壁仕様の場合の作業です。

※連棟の場合は「28. 連棟の場合の腰壁笠木の取付け」と同時に行なう作業です。



- ①腰壁外側笠木を、腰壁用ベース材にはめ込んでください。
- ②腰壁内側笠木を、腰壁用ベース材にはめ込んでください。

図25-1

26. 連棟の場合の腰壁笠木の取付け

※腰壁連棟仕様の場合の作業です。

※「5 本体の施工 27. 腰壁笠木の取付け」と同時に行なう作業です。

26-1 腰壁笠木の加工

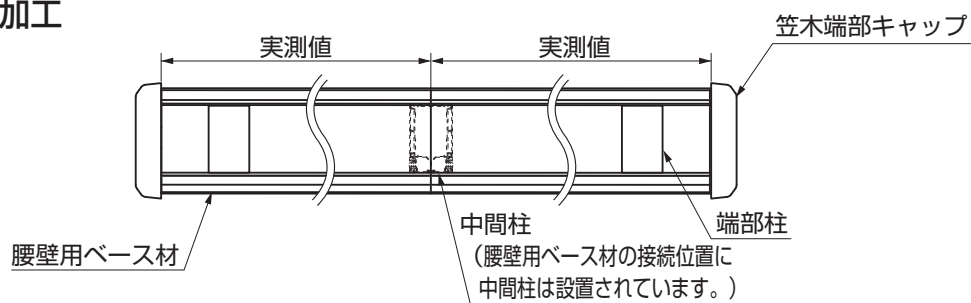


図26-1

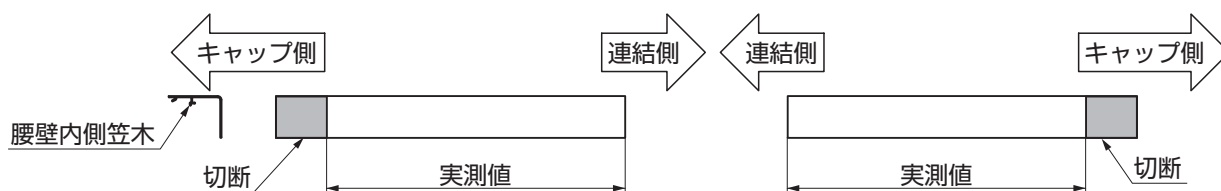


図26-2 腰壁内側笠木の加工

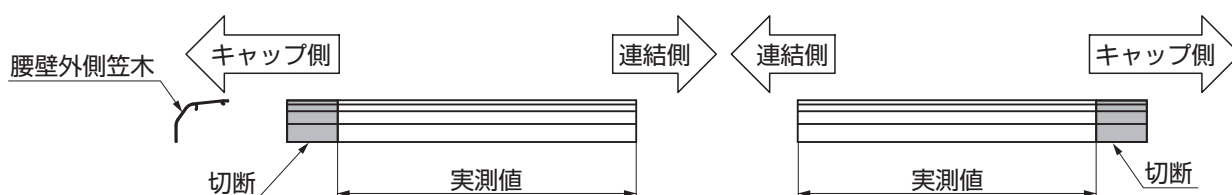


図26-3 腰壁外側笠木の加工

26. (つづき)

26-2 腰壁笠木の取付け

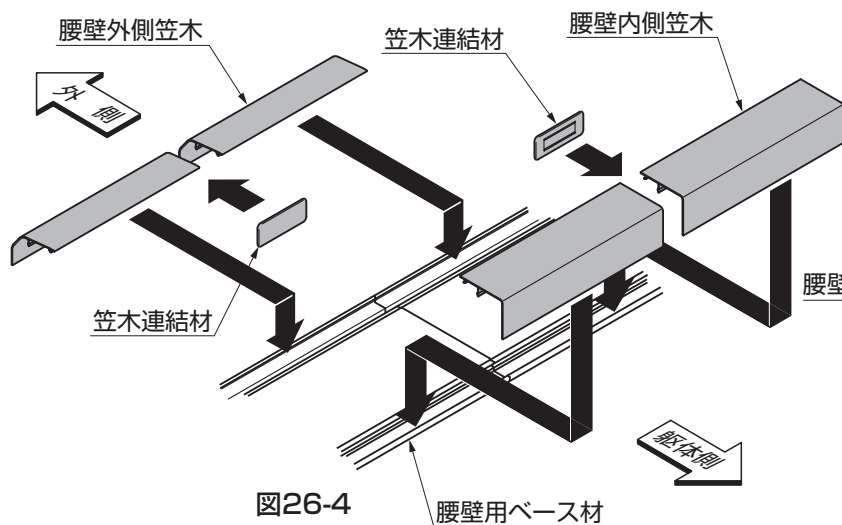


図26-4

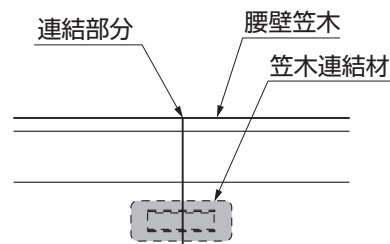


図26-5

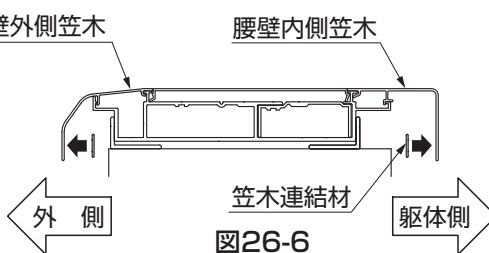


図26-6

- ①腰壁笠木連結キャップを取付けた腰壁用ベース材に、腰壁内側笠木と腰壁外側笠木をはめ込み取付けてください。
- ②笠木連結材を腰壁外側笠木と腰壁内側笠木の連結部分に貼付けてください。

27. 雨樋受け部品の取付け ※正面から排水する場合の作業です。

27-1 雨樋受け部品の取付け

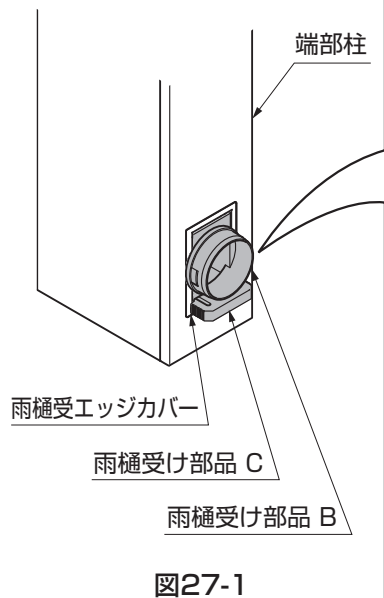


図27-1

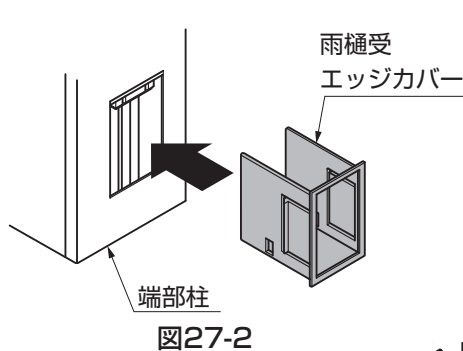


図27-2

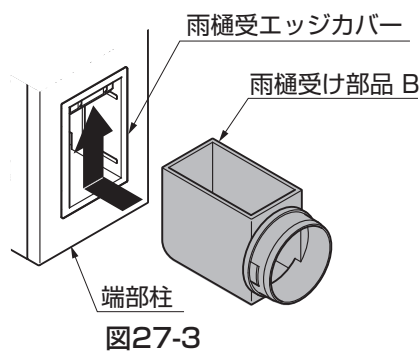


図27-3

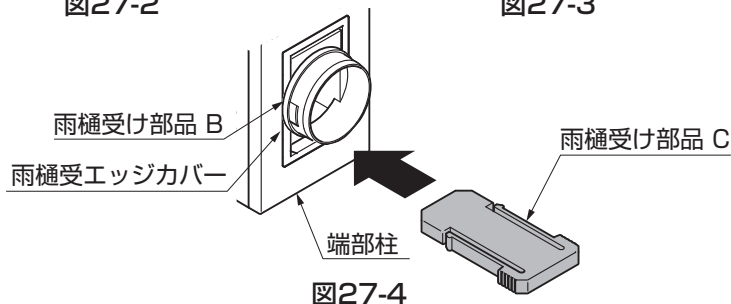


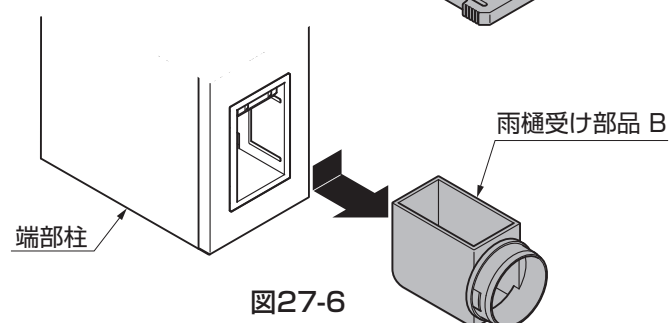
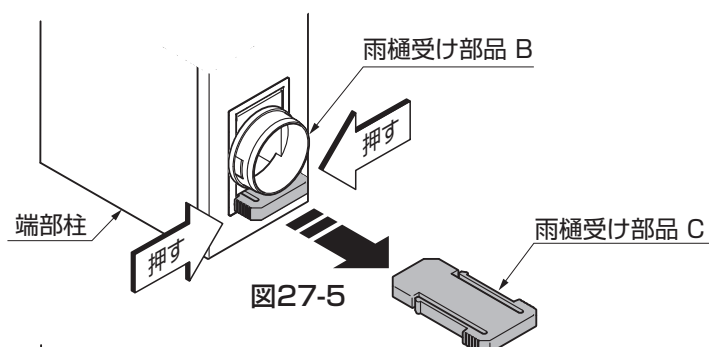
図27-4

- ①端部柱に、雨樋受エッジカバーをはめ込んでください。(図27-2参照)
- ②雨樋受け部品 Bを端部柱にはめ込み、上に少し持ち上げてください。(図27-3参照)
- ③雨樋受け部品 Cを端部柱にはめ込んでください。(図27-4参照)

ポイント

- 雨樋受け部品 B、雨樋受け部品 Cは接着しないでください。

27-2 雨樋受け部品の取外し



補足

●雨樋受けは、ゴミがたまったとき等に取外することができます。

- ①雨樋受け部品 C を取外してください。(図27-5参照)
- ②雨樋受け部品 B を取外してください。(図27-6参照)

28. 丸樋の取付け ※本体施工完了後でも取付け可能です。

28-1 オープンテラス腰壁タイプ正面排水の場合

※正面排水の場合の作業です。

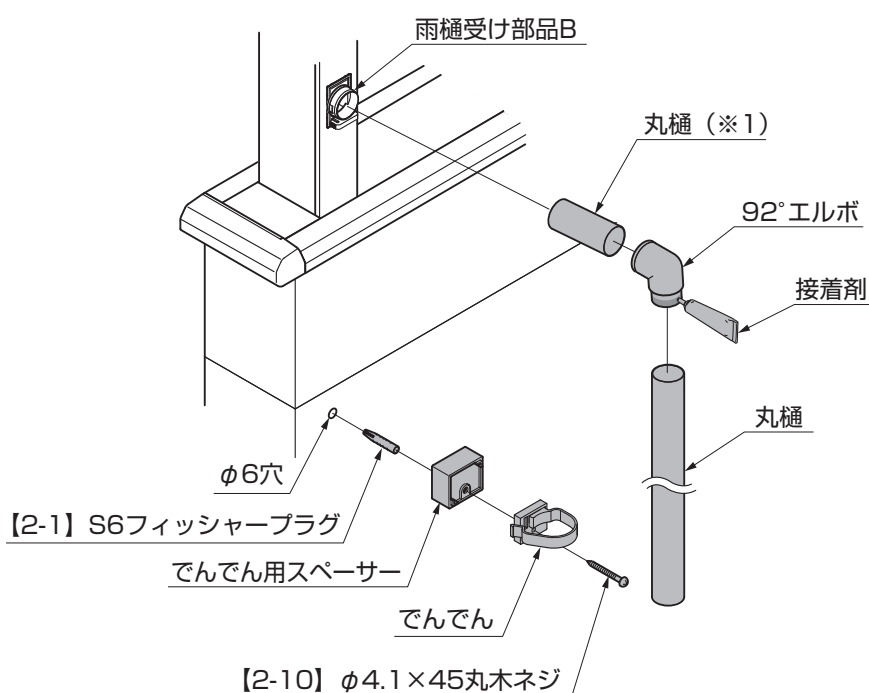


図28-1

- ①丸樋を92° エルボに取付け、でんでん、でんでん用スペーサーと【2-1】および【2-10】で腰壁に取付けてください。
- ②92° エルボを、雨樋受け部品 B に接着剤で取付けてください。

ポイント

- 【2-1】を固定する際は、腰壁の強度を確認してください。
- 清掃時には、取外す必要があるので丸樋 (※1) は接着しないください。

28. (つづき)

28-2 オープンテラス腰壁タイプ側面排水の場合

※側面排水の場合の作業です。

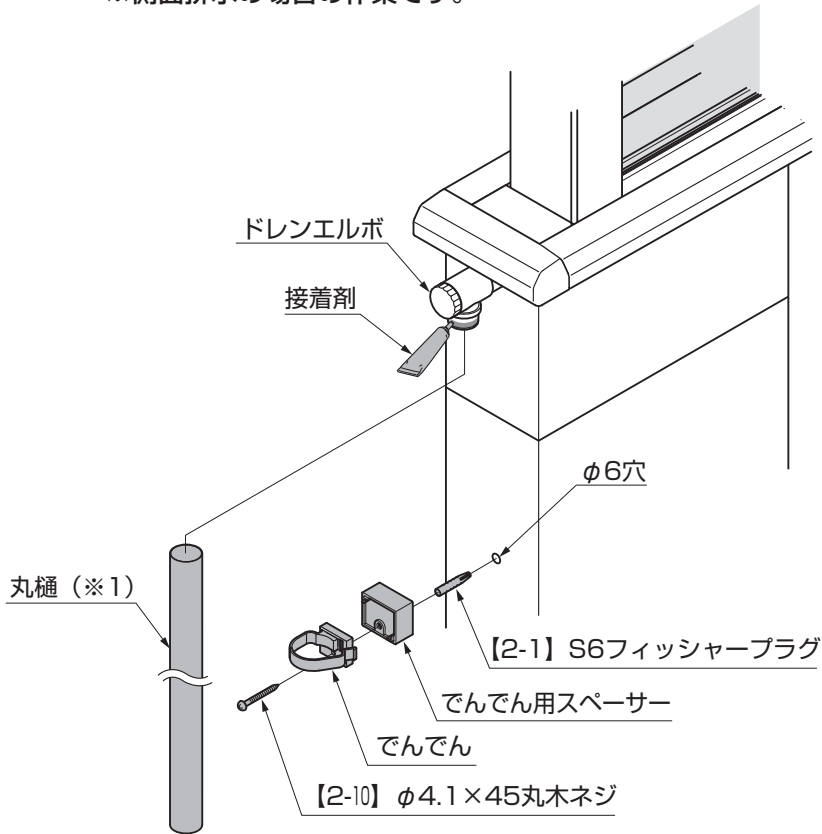


図28-2

- ①丸樋をドレンエルボに接着剤で取付け、でんでん、でんでん用スペーサーと【2-1】および【2-10】で腰壁に取付けてください。

ポイント

- 【2-1】を固定する際は、腰壁の強度を確認してください。
- 清掃時には、取外す必要があるの
で丸樋(※1)の下側は接着しない
でください。

28-3 オープンテラスタイプの場合

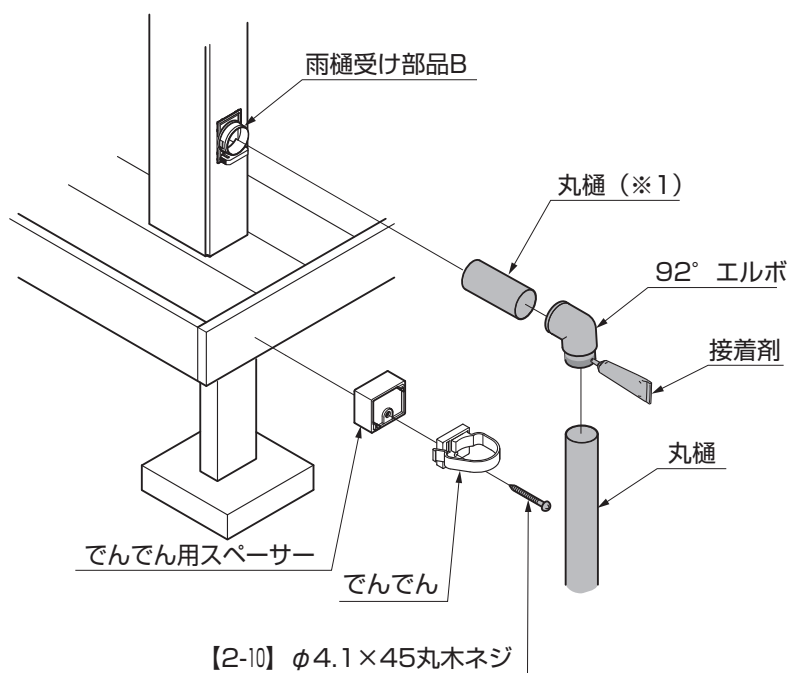


図28-3

- ①丸樋を92° エルボに取付け、でんでん、でんでん用スペーサーと【2-10】で幕板等に取付けてください。

- ②92° エルボを、雨樋受け部品Bに接着剤で取付けてください。

ポイント

- 清掃時には、取外す必要があるの
で丸樋(※1)は接着しないでくだ
さい。

29. コンクリートブロックの表面仕上げ

※腰壁仕様の場合の作業です。
※本体施工完了後でも仕上げ可能です。

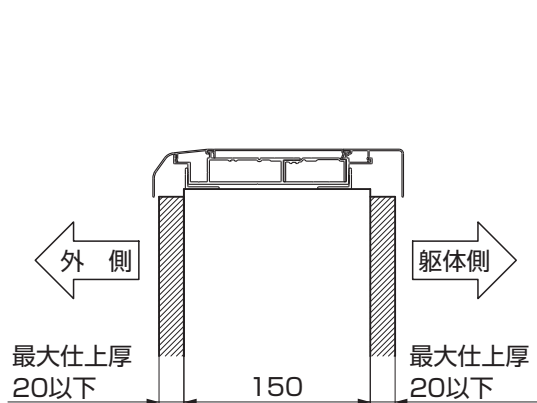


図29-1 内側笠木にLED照明を取付ない場合

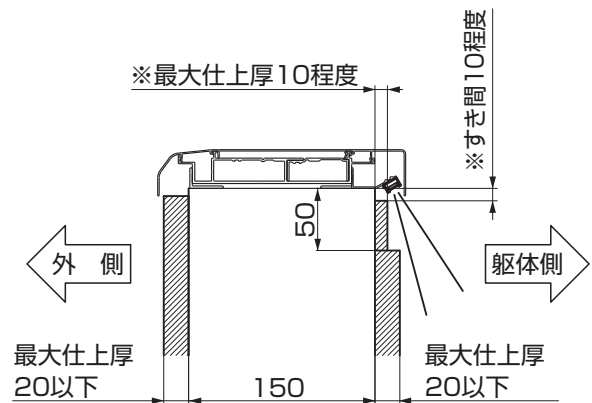


図29-2 内側笠木にLED照明を取付ける場合

①コンクリートブロックの表面仕上げは、図29-1、図29-2にしたがってください。

ポイント

- LED照明付近のタイル厚さとすき間の関係は、上記寸法を目安に施工現場で決めてください。
- コンクリートブロック自体の防水の為、必ずタイルまたは塗りにて仕上げをしてください。

メモページ

6 妻梁上部フィックスパネルの取付け

※妻梁上部フィックスパネルを取付ける場合の作業です。

1. 垂木掛け-上部方立取付金具の取付け

※「5 本体の施工 4. 垂木掛けの取付け」と同時に行う作業です。

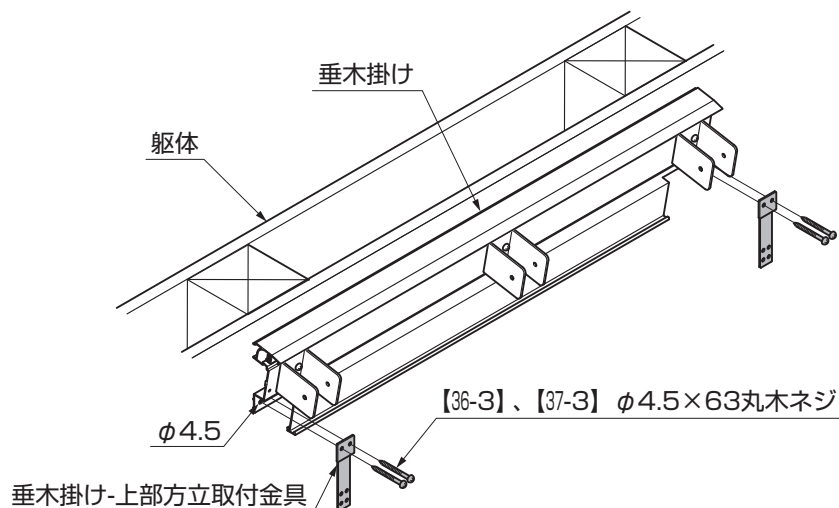


図1-1

①垂木掛け-上部方立取付金具を垂木掛けに【36-3】、【37-3】で取付けてください。

2. 上部方立の取付け

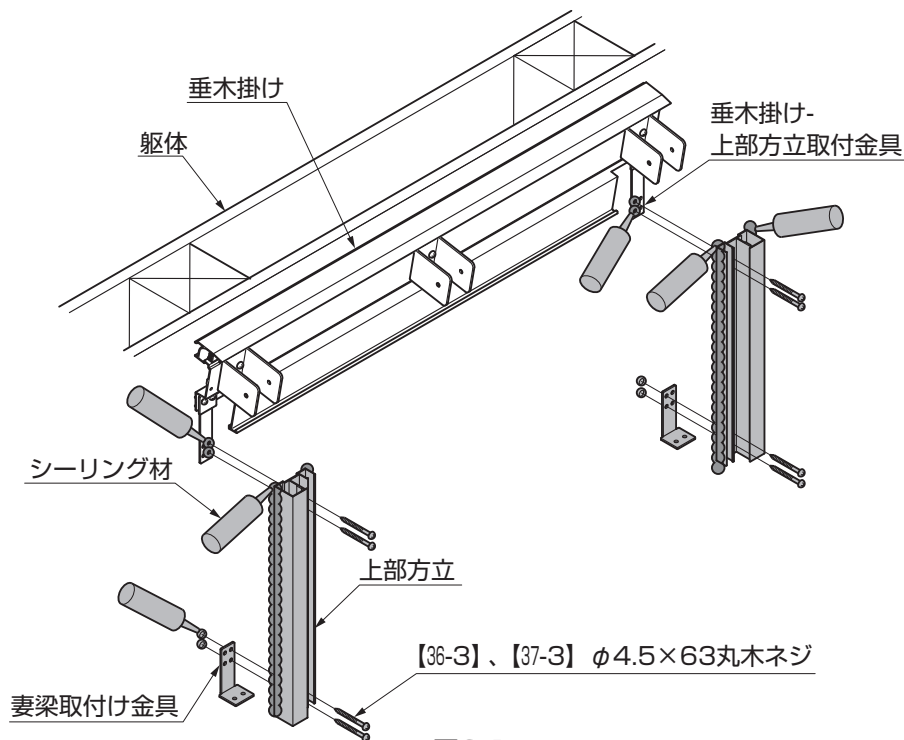


図2-1

①上部方立を垂木掛け-上部方立取付金具、妻梁取付金具と躯体と垂直に【36-3】、【37-3】で取付けてください。

ポイント

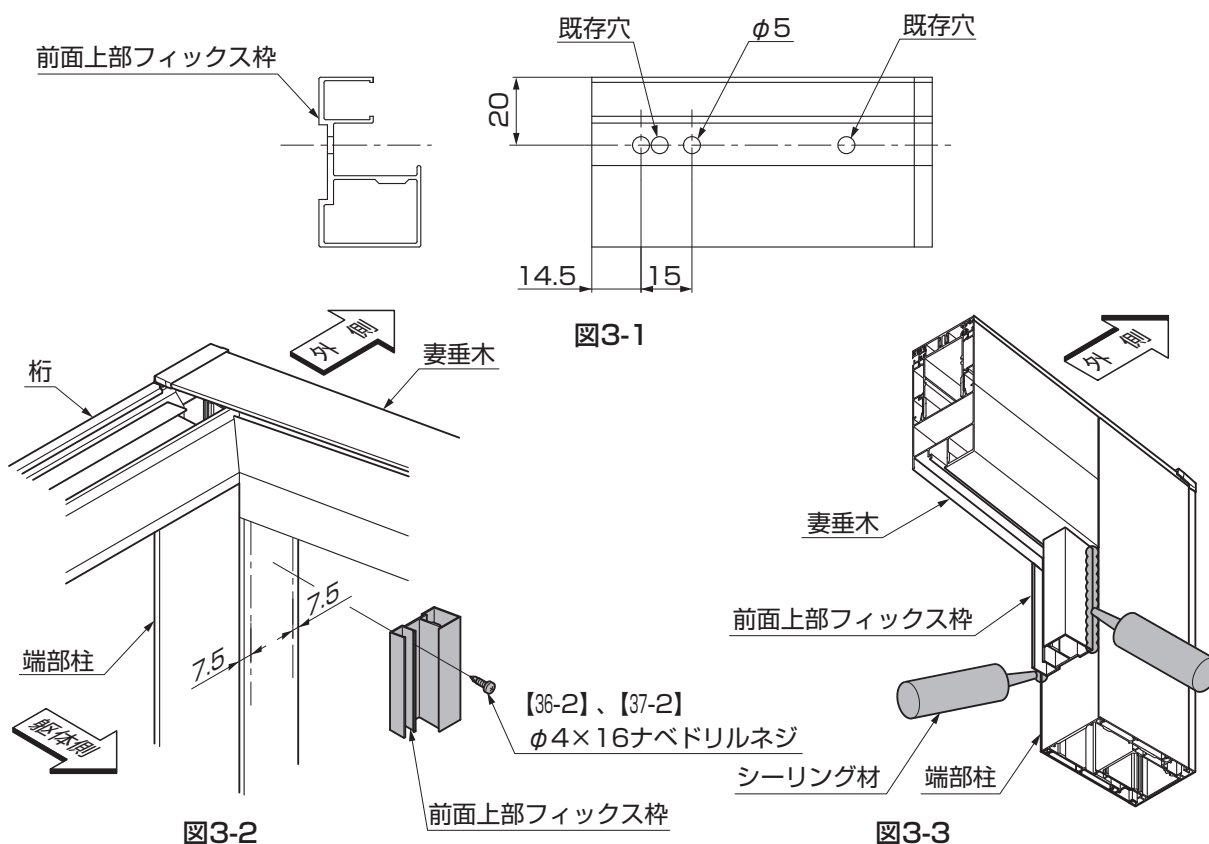
●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

3. オープンテラスタイプへの妻梁の取付け

※図は左妻側を示します。

※妻梁上部フィックスパネルを取付ける場合の作業です。

3-1 前面上部フィックス枠の取付け ※図は左妻側を示します。



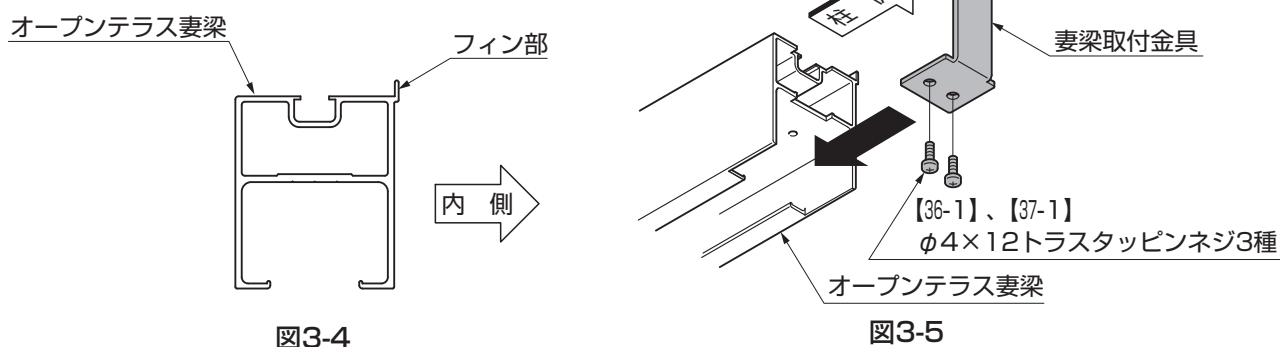
- ①前面上部フィックス枠を加工してください。
- ②前面上部フィックス枠を端部柱に、【36-2】、【37-2】で上部1箇所を取付けてください。（図3-2参照）
- ③前面上部フィックス枠と柱の接合部に、シーリングをしてください。

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。（図3-3参照）

3-2 妻梁の取付け

(1) 妻梁取付金具の取付け



- ①梁取付金具をオープンテラス妻梁に、【36-1】、【37-1】で取付けてください。（図3-5参照）

ポイント

- オープンテラス妻梁は、フィン部を内側に向けて取付けます。（図3-4参照）

3. (つづき)

3-2 つづき

(2) 妻梁の取付け

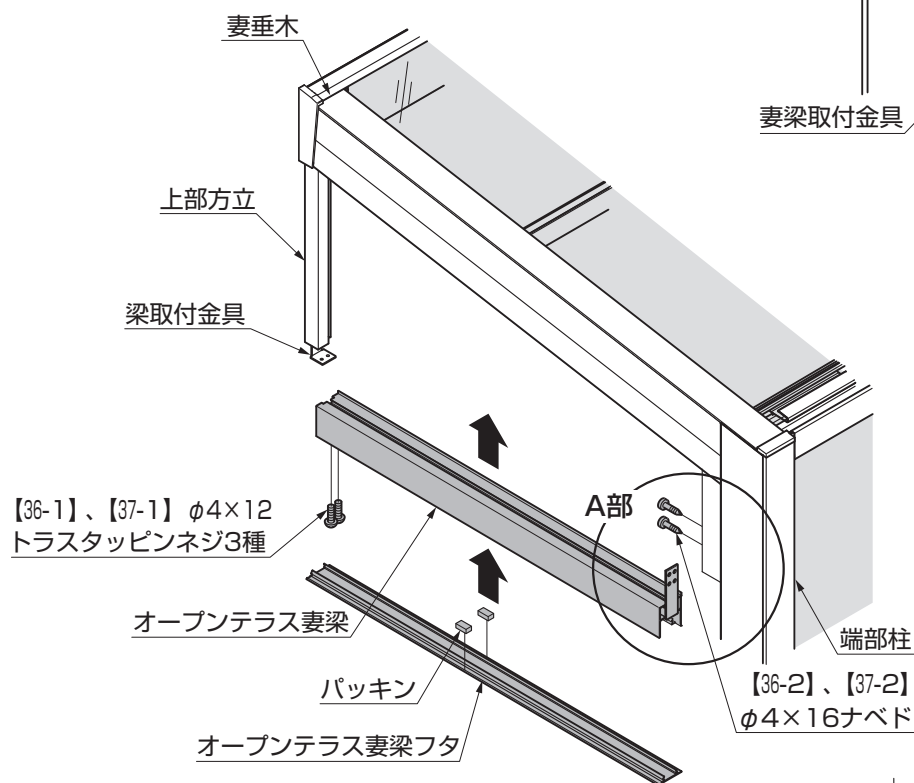


図3-6

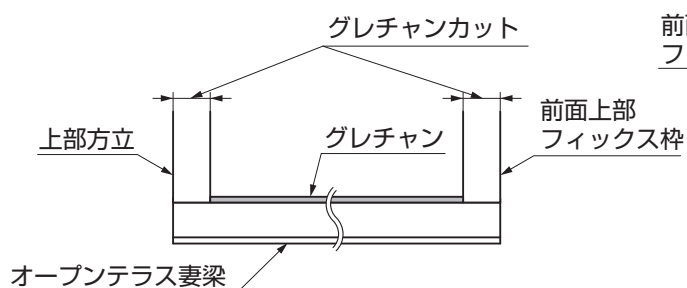


図3-9

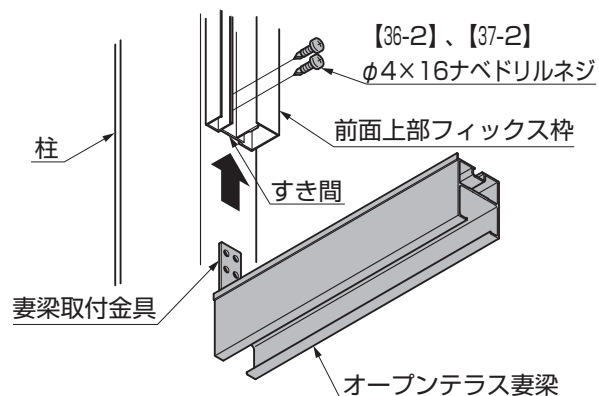


図3-7 A部詳細図

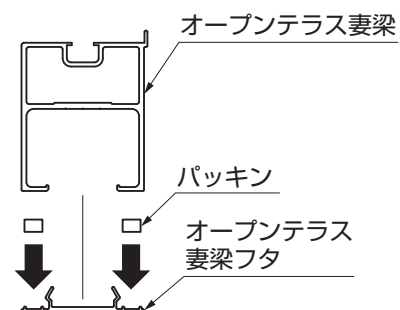


図3-8

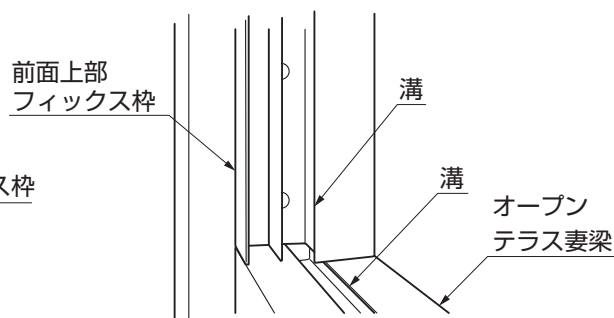


図3-10

ポイント

- オープンテラス妻梁に取付けるグレチャンが上部方立、前面上部フィックス枠に干渉する場合は、切断してください。（図3-9参照）

- ① オープンテラス妻梁を端部柱と前面上部フィックス枠のすき間にスライドさせ、はめ込み【36-2】または【37-2】で取付けてください。（図3-6、図3-7参照）
- ② オープンテラス妻梁を上部方立に取付いている梁取付金具に、【36-1】または【37-1】で取付けてください。（図3-6参照）
- ③ パッキンをガタツキ防止の為、適量にカットしてオープンテラス妻梁に貼付けてください。（図3-8参照）
- ④ オープンテラス妻梁フタをオープンテラス妻梁にはめ込んでください。

ポイント

- 妻梁取付金具を柱に取付ける場合は、【36-2】または【37-2】を内側の2箇所に取り付けてください。（図3-7参照）
- オープンテラス妻梁は、端部柱側につき当てるように取付けてください。

4. 妻梁上部フィックスパネルの取付け ※図は左妻梁側を示します。

4-1 フィックスパネルの取付け

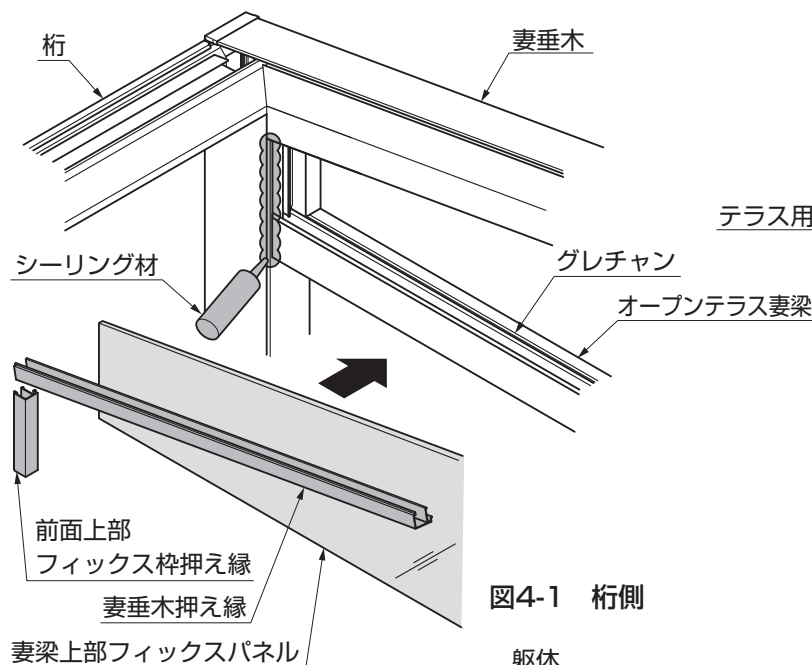


図4-1 桁側

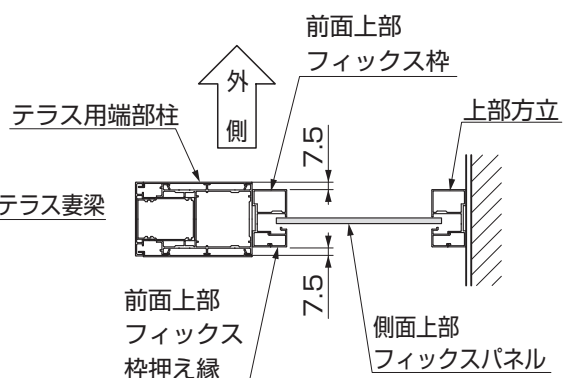


図4-3 横断面図

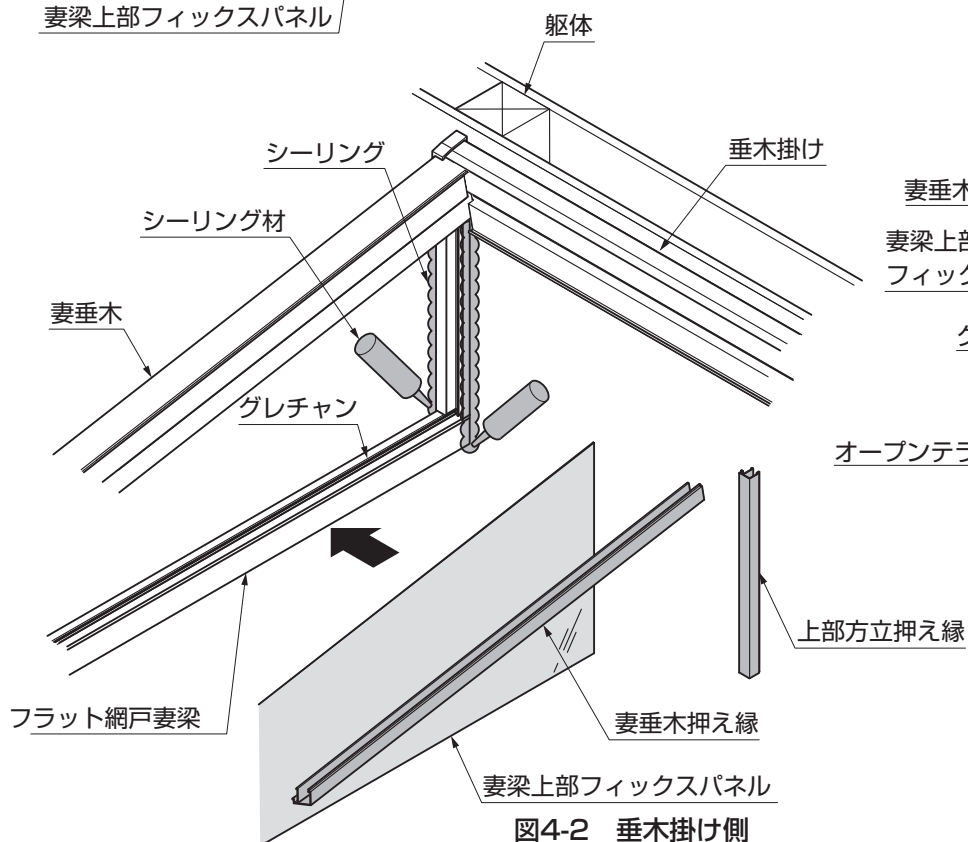


図4-2 垂木掛け側

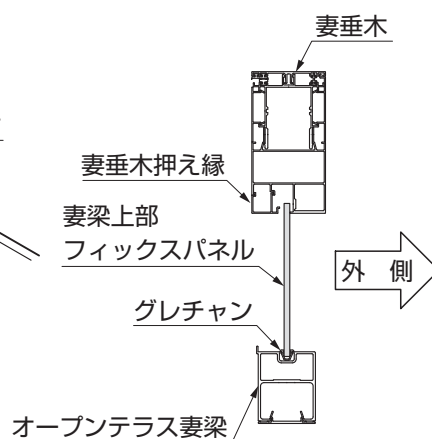


図4-4 縦断面図

- ①妻梁上部フィックスパネルを、オープンテラス妻梁のグレチャン部にはめ込んでください。
- ②前面上部フィックス枠押え縁・妻垂木押え縁・上部方立押え縁をはめ込んでください。

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

4. (つづき)

4-2 後付けビート材の取付け

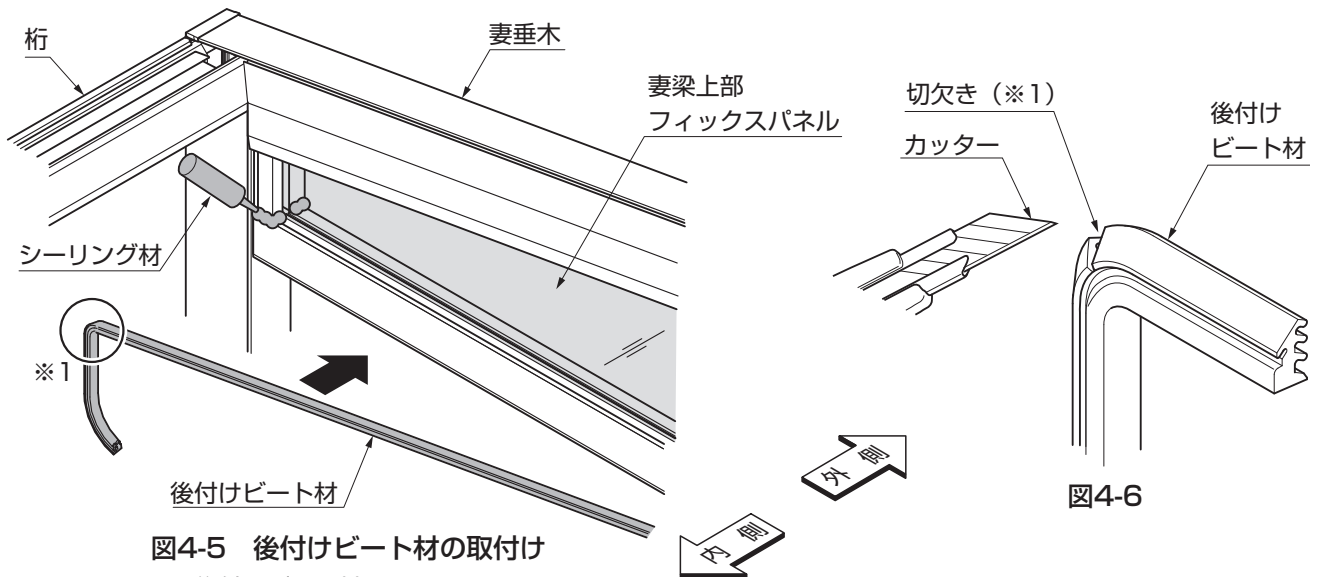


図4-5 後付けビート材の取付け

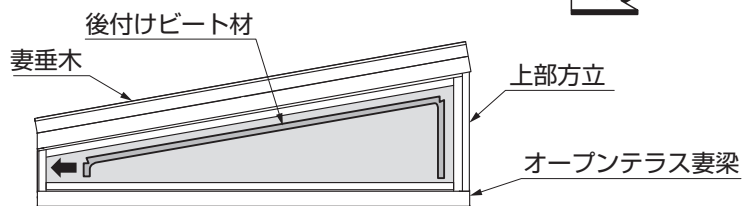


図4-7 側面図

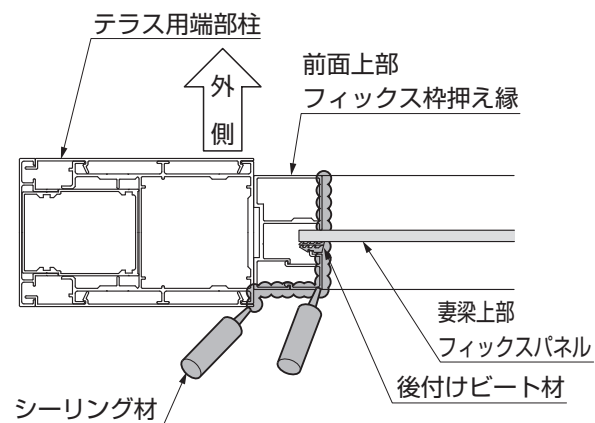


図4-8 横断面図

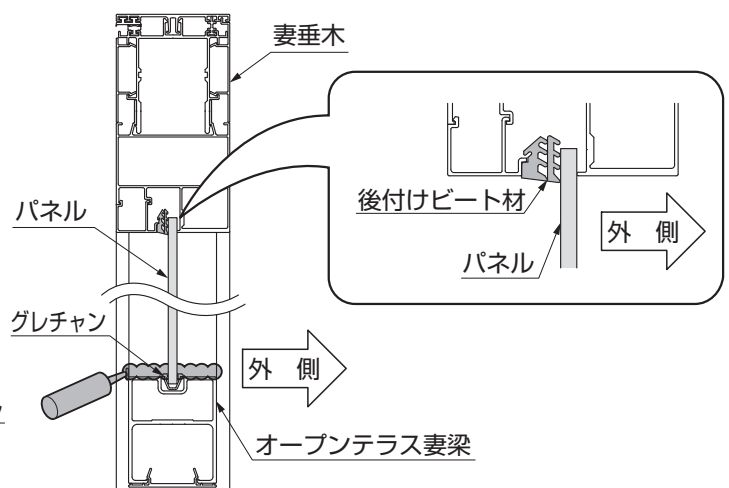


図4-9 縦断面図

③後付けビート材をはめ込んでください。(図4-5、図4-7参照)

④図4-8、図4-9を参照して、シーリングをしてください。

ポイント

- 後付けビート材を折り曲げる箇所(※1)に、カッター等で切欠きを入れてください。(図4-6参照)
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

取説コード

E233

JZZ613740F
200703A_1039
201210F_1039